

平成25年度  
学習状況調査

調査結果報告書

平成26年3月  
秋田県教育委員会

# ま え が き

県教育委員会では、平成25年12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。この調査は、学習指導要領の内容等の定着の程度を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫・改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資することをねらいとして実施しているものです。

この調査では、小学校第4学年が国語、算数、理科の3教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、小学校第5学年、第6学年が国語、社会、算数、理科の4教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、中学校第1学年、第2学年が国語、社会、数学、理科、英語の5教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。内容等の特色として、教科の調査においては、全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題を、国語と算数・数学のみならず全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするために複数学年にわたる共通問題を出題しております。また、本県で重視している“「問い」を発する子ども”の育成に関して、その基盤づくりに資する問題や、高校入試と関連した問題も出題いたしました。学習の意欲等に関する質問紙調査においては、全国学力・学習状況調査の質問項目等も一部取り入れるなど、児童生徒が主体的に学習に取り組む態度についての実態を捉え、学習指導の一層の改善に役立てることができるよういたしました。

さて、現行学習指導要領が全面実施となってから、小学校は3年、中学校は2年が過ぎようとしており、教育課程の円滑な実施という視点に、質的な充実という視点を加えた取組が求められております。このような取組の一つとして、県内の各小・中学校では、諸調査等の結果を基に、自校の児童生徒の学習状況等の実態を多面的に捉え、日々の授業の工夫・改善に生かしているものと認識しております。

このたび、本年度の調査結果がまとまりました。この報告書には、学習状況調査集計・分析システムによる各種データに基づいた全県的な状況等に加え、授業改善に向けた提言を各教科ごとにまとめております。

各小・中学校においては、自校の集計結果を分析し、改善策等の具現に向けて、具体的な取組を始めていただいているところですが、本報告書及び学習状況調査問題を積極的に活用し、児童生徒の一層の学力向上に役立てていただくことを期待しております。

終わりに、本調査の実施に御協力いただいた県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校に深く感謝の意を表します。

平成26年3月

秋田県教育委員会

# 目 次

1	調査の概要	1
2	調査の特徴、用語等	2
3	調査結果の概要	3
	(1) ペーパーテストの結果	
	① 設定通過率との比較	3
	② 過去の類似問題との比較	4
	③ 各教科の観点別の設定通過率との比較	4
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較	6
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果	
	① 学習全般についての結果概要	11
	② 教科等の好き嫌いについての結果概要	11
	③ 学習全般について	12
	④ 生活全般について	14
	⑤ 家庭学習について	18
	⑥ 授業について	19
	⑦ 教科の好き嫌いについて	21
	⑧ 読書について	30
4	結果と考察	31
<p>本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。</p>		
	(1) 国語	
	・小学校第4学年	31
	・小学校第5学年	35
	・小学校第6学年	39
	・中学校第1学年	43
	・中学校第2学年	47
	(2) 社会	
	・小学校第5学年	51
	・小学校第6学年	55
	・中学校第1学年	59
	・中学校第2学年	63
	(3) 算数、数学	
	・小学校第4学年	67
	・小学校第5学年	71
	・小学校第6学年	75
	・中学校第1学年	79
	・中学校第2学年	83
	(4) 理科	
	・小学校第4学年	87
	・小学校第5学年	91
	・小学校第6学年	95
	・中学校第1学年	99
	・中学校第2学年	103
	(5) 英語	
	・中学校第1学年	107
	・中学校第2学年	111
5	平均通過率の度数分布グラフ	115

## 1 調査の概要

### (1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

### (2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

校種・学年 実施教科等	小 学 校			中 学 校	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	7 8 7 2	8 1 2 0	8 4 5 2	8 4 5 1	8 6 8 9
社 会		8 1 2 0	8 4 5 2	8 4 5 1	8 6 7 9
算数・数学	7 8 7 3	8 1 2 0	8 4 5 0	8 4 5 0	8 6 7 7
理 科	7 8 7 5	8 1 2 0	8 4 5 3	8 4 5 0	8 6 7 6
英 語				8 4 5 2	8 6 7 9
学習の意欲等に関するアンケート	7 8 7 8	8 1 2 3	8 4 5 7	8 4 6 1	8 6 9 9

### (3) 出題内容

#### ① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

#### ② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

### (4) 調査実施日

小学校 平成25年12月4日（水）

中学校 平成25年12月5日（木）

## 2 調査の特徴、用語等

### (1) 特徴

- ① 評価規準の設定
  - ・観点別評価の実施
  - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
  - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ ペーパーテストと学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
  - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
  - ・学力の推移の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
  - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
  - ・県の課題について改善状況の把握
- ⑥ 記述式や読解力に関する問題
  - ・全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題
  - ・現在求められている学力の把握
  - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 調査結果の活用の工夫
  - ・各校における結果分析に基づいた指導の改善
  - ・報告書の作成

### (2) 用語

- ① 通過率
  - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合  
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
  - ・全問題の通過率の平均  
(100点満点に換算したときの平均点とみることができる。)
- ③ 設定通過率
  - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足できる状況」とするかをあらかじめ定めた値（本県が独自に取り入れているもので、分析する上での参考として示している。)
- ④ 正答数別度数分布
  - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
  - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

### (3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各校の教科に関する調査結果及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

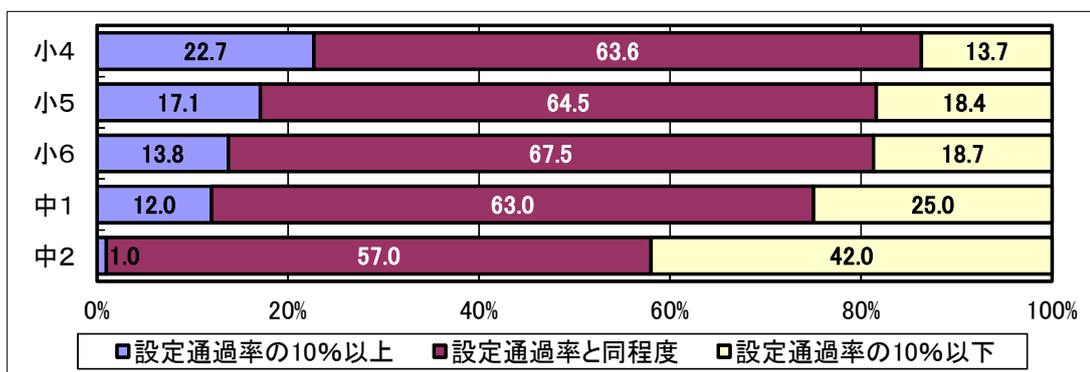
### 3 調査結果の概要

#### (1) ペーパーテストの結果

##### ① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が86.3%、小学校第5学年が81.6%、小学校第6学年が81.3%、中学校第1学年が75.0%、中学校第2学年が58.0%であった。中学校第2学年の通過割合が他の学年よりも低くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第4学年国語、第5学年社会、第4～6学年理科、中学校では第1学年英語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、小学校では第5学年国語、中学校では第2学年国語、数学、理科であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	75.5	73.8	1.7	83.3%
		第5学年	58.5	70.0	-11.5	56.3%
		第6学年	65.4	70.3	-4.9	75.0%
	社会	第5学年	78.4	72.5	5.9	95.0%
		第6学年	69.4	72.0	-2.6	80.0%
	算数	第4学年	70.4	71.5	-1.1	80.0%
		第5学年	62.4	71.0	-8.6	75.0%
		第6学年	61.2	70.0	-8.8	70.0%
	理科	第4学年	78.3	74.6	3.7	100.0%
第5学年		74.4	70.8	3.6	95.0%	
第6学年		75.0	74.8	0.2	100.0%	
中学校	国語	第1学年	63.4	70.3	-6.9	65.0%
		第2学年	58.6	70.0	-11.4	60.0%
	社会	第1学年	65.8	70.0	-4.2	75.0%
		第2学年	63.1	70.0	-6.9	70.0%
	数学	第1学年	65.1	70.0	-4.9	85.0%
		第2学年	49.0	70.0	-21.0	40.0%
	理科	第1学年	60.1	70.0	-9.9	70.0%
		第2学年	50.5	70.0	-19.5	45.0%
英語	第1学年	73.3	70.3	3.0	80.0%	
	第2学年	61.5	70.0	-8.5	75.0%	

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点別の設定通過率との比較

- ・通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題の割合を観点別に見ると、80%を超えたのは、小学校では国語の「書くこと」、社会の「技能」と「知識・理解」、算数の「技能」、理科の全観点であった。中学校では、国語の「書くこと」、社会の「知識・理解」、英語の「理解の能力」と「言語や文化についての知識・理解」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題は、各教科の思考・判断・表現に係る観点の内容に多かった。

<小学校>

教科名	観 点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	1 ( 33.3% )	1 ( 33.3% )	1 ( 33.3% )
	書くこと	3	0 ( 0.0% )	3 ( 100.0% )	0 ( 0.0% )
	読むこと	14	1 ( 7.1% )	6 ( 42.9% )	7 ( 50.0% )
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	28	7 ( 25.0% )	15 ( 53.6% )	6 ( 21.4% )
社会	思考・判断・表現	12	2 ( 16.7% )	6 ( 50.0% )	4 ( 33.3% )
	技能	14	4 ( 28.6% )	10 ( 71.4% )	0 ( 0.0% )
	知識・理解	14	1 ( 7.1% )	12 ( 85.7% )	1 ( 7.1% )
算数	考え方	18	0 ( 0.0% )	12 ( 66.7% )	6 ( 33.3% )
	技能	23	2 ( 8.7% )	18 ( 78.3% )	3 ( 13.0% )
	知識・理解	19	3 ( 15.8% )	10 ( 52.6% )	6 ( 31.6% )
理科	思考・表現	23	4 ( 17.4% )	19 ( 82.6% )	0 ( 0.0% )
	技能	13	4 ( 30.8% )	8 ( 61.5% )	1 ( 7.7% )
	知識・理解	16	5 ( 31.3% )	11 ( 68.8% )	0 ( 0.0% )

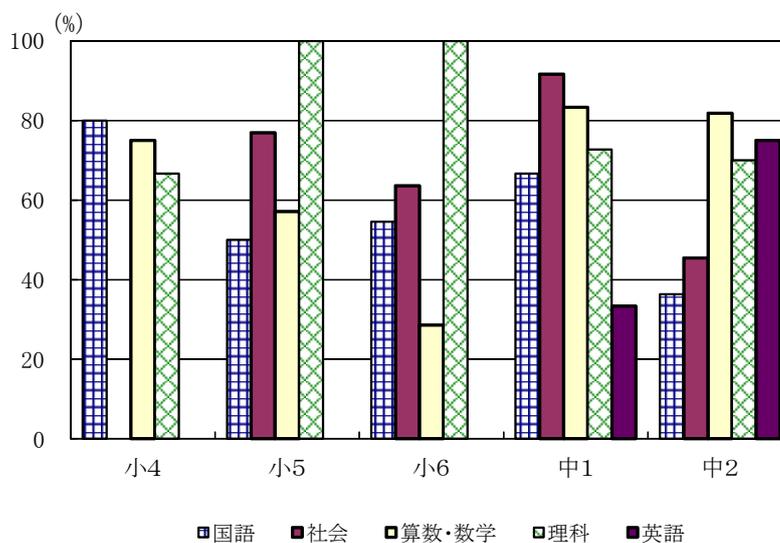
<中学校>

教科名	観 点	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	1 ( 20.0% )	3 ( 60.0% )	1 ( 20.0% )
	書くこと	2	0 ( 0.0% )	2 ( 100.0% )	0 ( 0.0% )
	読むこと	12	0 ( 0.0% )	3 ( 25.0% )	9 ( 75.0% )
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	21	2 ( 9.5% )	14 ( 66.7% )	5 ( 23.8% )
社会	思考・判断・表現	13	0 ( 0.0% )	8 ( 61.5% )	5 ( 38.5% )
	技能	10	1 ( 10.0% )	6 ( 60.0% )	3 ( 30.0% )
	知識・理解	17	1 ( 5.9% )	13 ( 76.5% )	3 ( 17.6% )
数学	考え方	14	0 ( 0.0% )	6 ( 42.9% )	8 ( 57.1% )
	技能	15	0 ( 0.0% )	11 ( 73.3% )	4 ( 26.7% )
	知識・理解	11	0 ( 0.0% )	8 ( 72.7% )	3 ( 27.3% )
理科	思考・表現	15	0 ( 0.0% )	8 ( 53.3% )	7 ( 46.7% )
	技能	10	0 ( 0.0% )	5 ( 50.0% )	5 ( 50.0% )
	知識・理解	15	0 ( 0.0% )	10 ( 66.7% )	5 ( 33.3% )
英語	表現の能力	8	0 ( 0.0% )	3 ( 37.5% )	5 ( 62.5% )
	理解の能力	24	5 ( 20.8% )	16 ( 66.7% )	3 ( 12.5% )
	言語や文化についての知識・理解	8	3 ( 37.5% )	4 ( 50.0% )	1 ( 12.5% )

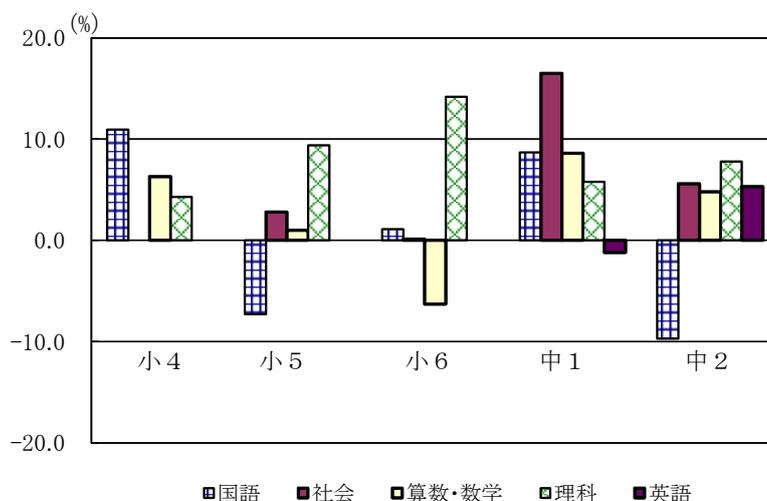
③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では112問中75問（67.0%）、中学校では104問中69問（66.3%）であった。
- ・学年・教科別に見ると、類似問題の過去の通過率を上回った問題数の割合が70%を超えたのは、小学校では第4学年の国語、算数、第5学年の社会、理科、第6学年の理科であった。中学校では、第1学年の社会、数学、理科、第2学年の数学、理科、英語であった。
- ・類似問題の通過率の平均で比較すると、ほとんどの学年・教科で過去の通過率の平均を上回っている。小学校第4学年国語及び第6学年算数、中学校第1学年英語及び第2学年国語は下回っているものの、その差は-10ポイント以内である。

類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題における過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	90	99.2	
小4	2)	85	99.2	
小4	3)	80	94.1	
小4	4)	75	82.2	
小4	5)	75	85.5	
小4	6)	65	56.0	90.0
小4	7)	70	71.3	53.5
小4	8)	70	65.4	41.9
小4	9)	60	49.7	
小4	10)	60	38.9	
小4	11)	80	92.4	54.0
小4	12)	75	72.0	63.0

設定通過率	73.8		
平均通過率		75.5	
類似問題		71.4	60.5

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	94.6	
小5	2)	80	87.9	
小5	3)	80	73.5	
小5	4)	75	75.7	
小5	5)	60	27.0	61.8
小5	6)	75	56.1	85.9
小5	7)	60	44.9	
小5	8)	60	53.5	48.0
小5	9)	80	78.0	39.8
小5	10)	65	57.0	
小5	11)	60	44.0	33.4
小5	12)	60	38.1	
小5	13)	60	18.9	
小5	14)	75	49.6	83.0
小5	15)	75	67.7	
小5	16)	75	69.3	

設定通過率	70.0		
平均通過率		58.5	
類似問題		51.4	58.7

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	85	95.7	
小6	2)	85	97.4	
小6	3)	70	69.1	
小6	4)	75	52.5	
小6	5)	80	88.5	77.9
小6	6)	80	87.8	
小6	7)	60	51.2	81.3
小6	8)	70	61.0	
小6	9)	60	53.8	
小6	10)	70	61.4	87.6
小6	11)	80	93.6	74.3
小6	12)	70	80.7	47.3
小6	13)	60	33.6	33.4
小6	14)	80	81.9	
小6	15)	60	54.0	68.7
小6	16)	60	35.9	68.7
小6	17)	60	38.8	74.5
小6	18)	65	61.7	22.9
小6	19)	65	33.0	
小6	20)	70	76.9	27.5

設定通過率	70.3		
平均通過率		65.4	
類似問題		61.5	60.4

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	94.0	
中1	2)	75	68.9	
中1	3)	70	68.7	
中1	4)	75	79.8	
中1	5)	70	64.0	30.7
中1	6)	80	79.2	
中1	7)	60	26.5	9.2
中1	8)	60	47.9	34.8
中1	9)	60	37.3	50.7
中1	10)	80	78.9	96.4
中1	11)	60	51.7	
中1	12)	80	91.5	54.7
中1	13)	80	72.6	90.5
中1	14)	80	87.6	
中1	15)	75	81.0	
中1	16)	60	42.0	41.1
中1	17)	60	47.0	
中1	18)	60	35.3	
中1	19)	60	25.3	
中1	20)	80	88.7	63.0

設定通過率	70.3		
平均通過率		63.4	
類似問題		61.0	52.3

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	74.9	56.5
中2	2)	60	44.9	
中2	3)	65	59.4	
中2	4)	85	80.0	68.3
中2	5)	85	95.4	
中2	6)	70	69.9	
中2	7)	70	70.2	
中2	8)	85	86.6	88.1
中2	9)	65	48.7	30.7
中2	10)	70	60.5	64.9
中2	11)	60	42.3	
中2	12)	75	72.4	85.7
中2	13)	85	80.3	92.5
中2	14)	60	27.0	
中2	15)	60	7.5	62.1
中2	16)	70	52.0	
中2	17)	70	49.6	
中2	18)	60	52.4	77.5
中2	19)	60	24.0	75.6
中2	20)	75	73.9	65.7

設定通過率	70.0		
平均通過率		58.6	
類似問題		60.1	69.8

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	97.2	60.2
小5	2)	75	79.4	
小5	3)	85	96.8	91.7
小5	4)	75	86.8	73.0
小5	5)	75	80.2	80.5
小5	6)	70	77.9	
小5	7)	70	77.7	62.1
小5	8)	75	84.1	79.3
小5	9)	75	88.2	84.3
小5	10)	75	91.4	
小5	11)	70	85.8	
小5	12)	60	55.6	
小5	13)	70	63.8	73.0
小5	14)	80	89.3	83.3
小5	15)	70	78.7	67.2
小5	16)	60	46.1	
小5	17)	80	88.6	83.0
小5	18)	70	78.5	68.5
小5	19)	60	50.6	
小5	20)	75	71.9	78.7

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	98.1	66.0
小6	2)	75	83.8	
小6	3)	65	55.8	60.2
小6	4)	65	31.4	82.2
小6	5)	60	43.5	
小6	6)	75	79.0	67.8
小6	7)	75	80.3	73.7
小6	8)	75	77.9	78.6
小6	9)	90	94.5	93.3
小6	10)	90	92.3	89.5
小6	11)	80	80.8	77.9
小6	12)	70	76.6	86.1
小6	13)	70	74.3	
小6	14)	75	71.3	
小6	15)	65	61.9	
小6	16)	80	82.8	72.8
小6	17)	60	29.0	
小6	18)	70	75.5	
小6	19)	60	39.7	
小6	20)	60	60.0	

設定通過率	72.5		
平均通過率		78.4	
類似問題		79.7	76.9

設定通過率	72.0		
平均通過率		69.4	
類似問題		77.2	77.1

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	75	72.0	
中1	2)	65	49.8	74.9
中1	3)	70	84.6	39.7
中1	4)	80	80.3	73.9
中1	5)	90	91.1	84.1
中1	6)	70	65.7	
中1	7)	75	79.2	
中1	8)	65	65.6	52.5
中1	9)	60	27.5	
中1	10)	70	63.0	61.8
中1	11)	60	53.3	
中1	12)	60	40.5	
中1	13)	90	93.2	86.2
中1	14)	60	74.7	47.3
中1	15)	60	43.0	
中1	16)	70	74.7	26.9
中1	17)	65	49.5	38.7
中1	18)	75	75.7	45.6
中1	19)	65	57.3	
中1	20)	75	74.8	47.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.8	
類似問題		73.1	56.6

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	73.2	30.9
中2	2)	60	53.6	70.1
中2	3)	60	36.7	59.4
中2	4)	60	36.1	40.4
中2	5)	70	60.1	68.5
中2	6)	70	74.1	48.1
中2	7)	85	80.3	
中2	8)	60	39.4	
中2	9)	80	80.0	48.0
中2	10)	75	73.0	
中2	11)	60	54.9	64.6
中2	12)	80	82.7	59.1
中2	13)	65	63.9	
中2	14)	75	72.2	
中2	15)	60	45.9	
中2	16)	60	37.4	
中2	17)	90	91.1	
中2	18)	60	48.9	51.4
中2	19)	80	81.5	
中2	20)	80	77.0	75.6

設定通過率	70.0		
平均通過率		63.1	
類似問題		61.6	56.0

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	80	87.0	
小4	2)	90	95.5	
小4	3)	90	93.3	
小4	4)	70	70.2	54.3
小4	5)	70	81.1	72.4
小4	6)	70	82.5	
小4	7)	70	89.5	41.3
小4	8)	70	73.6	63.3
小4	9)	60	58.4	51.5
小4	10)	70	66.4	
小4	11)	80	56.4	89.5
小4	12)	60	51.8	59.9
小4	13)	70	80.7	63.3
小4	14)	70	52.5	
小4	15)	70	86.1	73.4
小4	16)	70	60.8	71.4
小4	17)	70	75.5	68.9
小4	18)	70	69.1	68.4
小4	19)	70	46.3	
小4	20)	60	31.2	

設定通過率	71.5		
平均通過率		70.4	
類似問題		71.1	64.8

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	90	88.3	89.5
小5	2)	80	74.2	87.0
小5	3)	80	80.4	80.7
小5	4)	80	80.8	54.8
小5	5)	70	71.4	61.4
小5	6)	70	60.6	
小5	7)	60	43.8	52.4
小5	8)	60	32.6	56.7
小5	9)	70	66.1	
小5	10)	60	64.5	55.4
小5	11)	60	20.3	
小5	12)	80	75.0	87.5
小5	13)	90	93.7	88.6
小5	14)	70	72.2	60.9
小5	15)	80	85.6	
小5	16)	60	16.1	
小5	17)	70	75.3	72.4
小5	18)	70	70.0	64.1
小5	19)	60	53.9	50.2
小5	20)	60	22.3	

設定通過率	71.0		
平均通過率		62.3	
類似問題		69.7	68.7

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	87.3	92.9
小6	2)	90	91.2	92.6
小6	3)	70	54.0	
小6	4)	70	68.3	54.3
小6	5)	75	49.2	
小6	6)	85	76.6	74.4
小6	7)	80	77.2	
小6	8)	70	71.5	37.8
小6	9)	65	58.3	68.8
小6	10)	60	29.5	
小6	11)	60	52.9	73.3
小6	12)	60	41.1	52.6
小6	13)	80	80.2	83.2
小6	14)	60	57.9	
小6	15)	60	58.6	
小6	16)	70	60.7	85.9
小6	17)	60	33.8	81.2
小6	18)	60	61.5	56.8
小6	19)	70	70.3	75.9
小6	20)	60	43.5	56.1

設定通過率	70.0		
平均通過率		61.2	
類似問題		64.1	70.4

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	94.5	
中1	2)	80	85.5	80.5
中1	3)	75	67.3	68.5
中1	4)	70	53.6	
中1	5)	60	43.9	
中1	6)	60	66.9	54.6
中1	7)	60	28.6	61.8
中1	8)	70	71.6	59.6
中1	9)	70	70.0	56.1
中1	10)	80	80.1	
中1	11)	60	63.6	45.8
中1	12)	90	94.2	
中1	13)	60	52.7	45.2
中1	14)	60	56.2	31.1
中1	15)	70	60.4	
中1	16)	65	56.8	
中1	17)	70	60.1	
中1	18)	90	86.3	80.0
中1	19)	60	58.3	43.4
中1	20)	60	52.0	30.1

設定通過率	70.0		
平均通過率		65.1	
類似問題		63.3	54.7

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	73.2	67.1
中2	2)	80	71.2	
中2	3)	85	79.4	
中2	4)	65	25.5	
中2	5)	75	67.2	48.5
中2	6)	60	19.3	47.9
中2	7)	70	48.3	46.2
中2	8)	85	84.7	
中2	9)	85	82.6	71.7
中2	10)	60	36.9	25.2
中2	11)	65	18.8	
中2	12)	60	54.3	49.3
中2	13)	70	42.1	37.4
中2	14)	65	23.5	
中2	15)	60	53.5	49.6
中2	16)	70	36.2	
中2	17)	75	33.0	
中2	18)	60	42.4	23.8
中2	19)	70	39.9	
中2	20)	60	47.0	54.4

設定通過率	70.0		
平均通過率		49.0	
類似問題		51.5	47.4

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	94.5	77.7
小4	2)	80	85.3	
小4	3)	75	74.9	76.7
小4	4)	70	69.7	65.8
小4	5)	70	75.5	61.8
小4	6)	80	79.8	79.7
小4	7)	70	73.6	
小4	8)	60	54.9	61.8
小4	9)	60	55.7	
小4	10)	85	94.5	
小4	11)	80	93.1	
小4	12)	80	88.3	

設定通過率	74.6		
平均通過率		78.3	
類似問題		74.9	70.6

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	80	89.4	
小5	2)	60	54.5	
小5	3)	70	62.1	60.6
小5	4)	65	56.6	
小5	5)	60	57.5	43.6
小5	6)	75	81.7	75.0
小5	7)	70	87.9	56.2
小5	8)	70	80.2	69.9
小5	9)	80	92.6	
小5	10)	70	82.0	
小5	11)	70	55.2	
小5	12)	80	83.7	
小5	13)	75	77.6	
小5	14)	60	60.5	
小5	15)	70	78.6	71.6
小5	16)	80	92.1	91.6
小5	17)	70	68.8	
小5	18)	60	70.8	52.5
小5	19)	80	83.6	82.7
小5	20)	70	71.9	68.4

設定通過率	70.8		
平均通過率		74.4	
類似問題		76.6	67.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	60	68.1	51.8
小6	2)	85	91.9	
小6	3)	70	77.6	63.9
小6	4)	70	86.8	62.5
小6	5)	75	68.8	59.3
小6	6)	60	52.6	
小6	7)	75	71.6	70.6
小6	8)	65	56.7	
小6	9)	70	79.7	59.2
小6	10)	85	86.4	83.6
小6	11)	75	86.3	59.1
小6	12)	75	84.0	
小6	13)	80	89.2	76.4
小6	14)	70	83.0	
小6	15)	85	95.6	
小6	16)	85	85.8	
小6	17)	85	97.4	
小6	18)	65	56.9	
小6	19)	65	76.1	
小6	20)	70	78.9	64.6

設定通過率	73.5		
平均通過率		78.7	
類似問題		79.3	65.1

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	86.0	80.3
中1	2)	60	38.6	40.3
中1	3)	75	69.7	
中1	4)	80	71.1	72.9
中1	5)	70	62.6	
中1	6)	75	76.6	
中1	7)	75	75.7	59.1
中1	8)	85	56.9	
中1	9)	65	58.5	46.3
中1	10)	70	61.9	46.3
中1	11)	60	54.8	59.8
中1	12)	65	43.4	39.3
中1	13)	60	54.5	48.7
中1	14)	65	53.0	41.8
中1	15)	60	53.9	
中1	16)	70	41.6	
中1	17)	60	52.0	
中1	18)	90	91.5	
中1	19)	60	51.6	
中1	20)	65	48.4	46.8

設定通過率	70.0		
平均通過率		60.1	
類似問題		58.7	52.9

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	65	58.5	35.6
中2	2)	75	34.0	
中2	3)	65	35.8	
中2	4)	75	38.3	
中2	5)	60	34.9	
中2	6)	70	63.2	55.3
中2	7)	90	81.0	76.4
中2	8)	80	64.1	
中2	9)	75	33.9	
中2	10)	60	46.3	
中2	11)	80	70.3	62.5
中2	12)	60	52.3	55.8
中2	13)	60	17.5	
中2	14)	70	27.8	
中2	15)	60	50.6	
中2	16)	75	68.9	69.1
中2	17)	60	54.0	39.1
中2	18)	70	53.8	46.1
中2	19)	75	52.7	61.0
中2	20)	75	72.4	48.3

設定通過率	70.0		
平均通過率		50.5	
類似問題		62.7	54.9

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	99.6	
中1	2)	70	85.2	90.1
中1	3)	75	96.7	75.9
中1	4)	80	62.8	
中1	5)	70	75.6	
中1	6)	75	86.8	45.8
中1	7)	75	66.8	85.2
中1	8)	70	71.4	
中1	9)	70	82.1	
中1	10)	75	85.7	85.6
中1	11)	70	78.1	
中1	12)	70	91.3	
中1	13)	70	80.5	
中1	14)	60	36.2	39.6
中1	15)	60	39.9	71.5
中1	16)	60	46.4	49.7
中1	17)	60	61.8	72.9
中1	18)	70	80.6	
中1	19)	60	64.9	
中1	20)	75	74.1	

設定通過率	70.3		
平均通過率		73.3	
類似問題		67.3	68.5

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	99.4	
中2	2)	65	48.3	
中2	3)	80	77.6	
中2	4)	60	47.5	
中2	5)	60	53.2	44.2
中2	6)	60	58.7	61.8
中2	7)	90	95.4	
中2	8)	80	82.3	
中2	9)	60	53.4	69.9
中2	10)	75	67.2	
中2	11)	75	74.7	50.3
中2	12)	60	52.6	
中2	13)	60	56.0	
中2	14)	70	37.6	29.7
中2	15)	65	30.4	
中2	16)	70	65.0	59.2
中2	17)	60	54.1	50.9
中2	18)	85	84.1	72.6
中2	19)	60	24.7	
中2	20)	75	67.1	

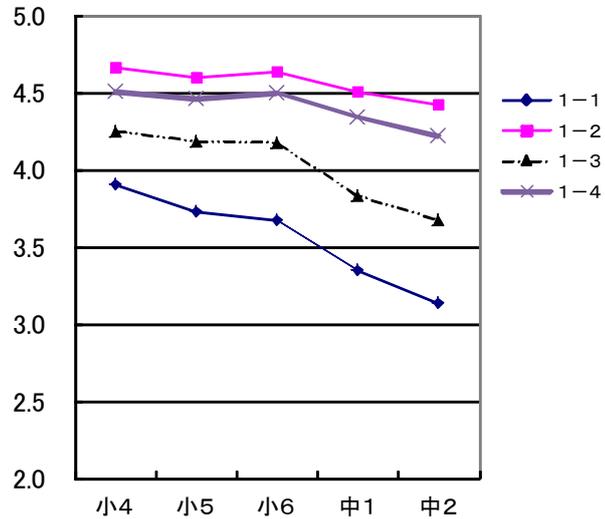
設定通過率	70.0		
平均通過率		61.5	
類似問題		60.1	54.8

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

① 学習全般についての結果概要（5点換算による県平均）

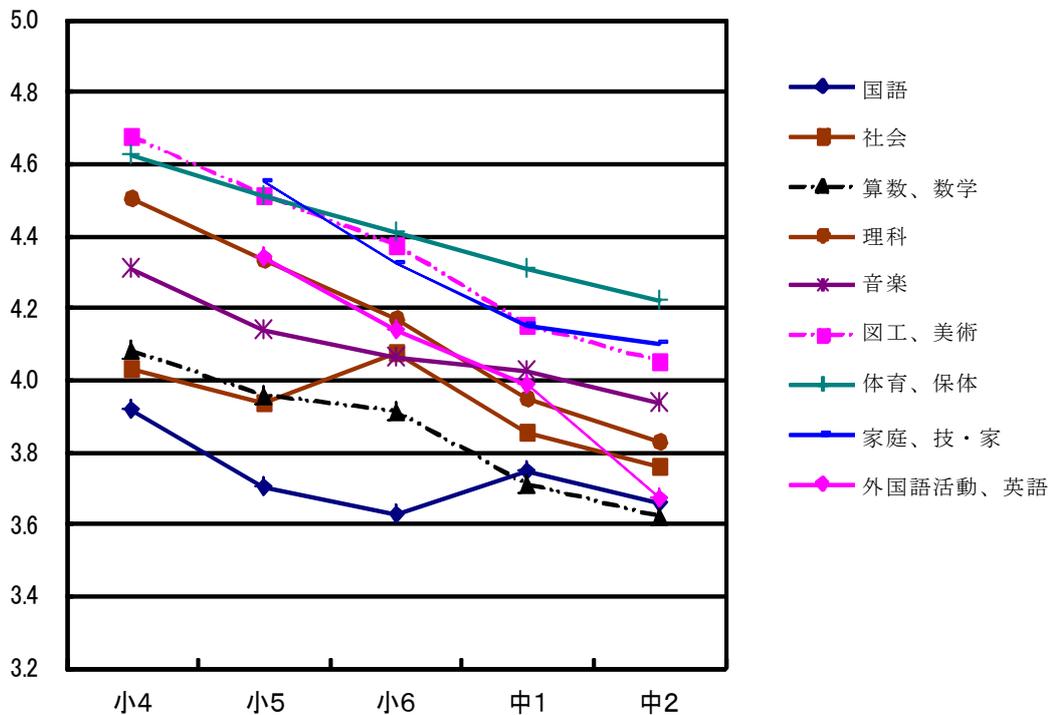
つよくそう思う…5点　　そう思う…4点　　そう思わない…2点  
 まったくそう思わない…1点　　分からない・どちらでもない…3点

質問項目	
1-1	勉強が好きだ
1-2	勉強は大切だ
1-3	学校の勉強がよく分かる
1-4	ふだんの生活や社会に出て 役立つよう、勉強したい



② 教科等の好き嫌いについての結果概要（5点換算による県平均）

大好き…5点　　好き…4点　　きらい…2点  
 大きらい…1点　　分からない・どちらでもない…3点



③ 学習全般について

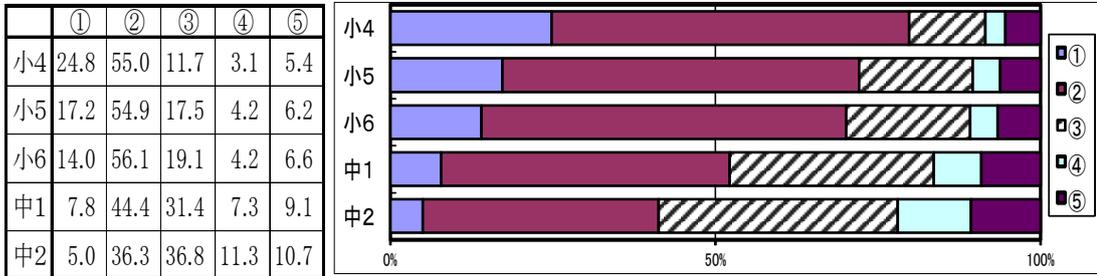
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

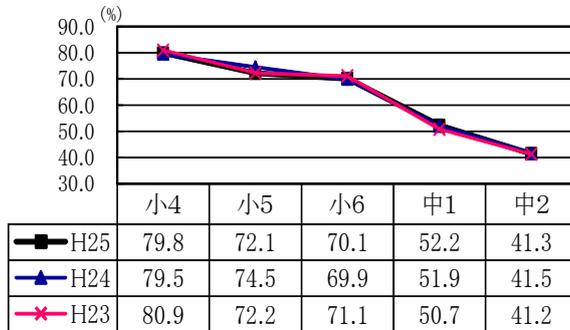
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からないどちらでもない



「つよくそう思う」「そう思う」の割合



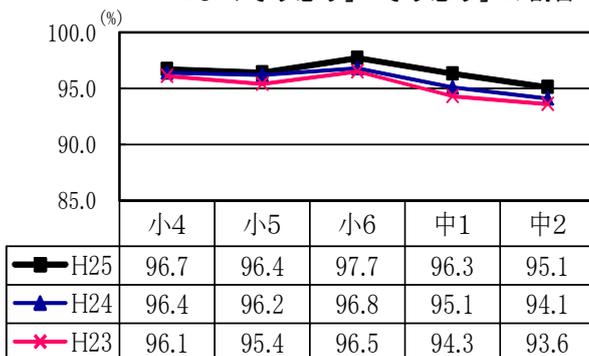
「つよくそう思う」「そう思う」と肯定的に回答した割合は、昨年度とほぼ同じ程度であった。また、その割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られるが、中学校第1学年では、平成23年度から少しずつ高くなってきている。

[1-2] 勉強は大切だ

①つよくそう思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からないどちらでもない



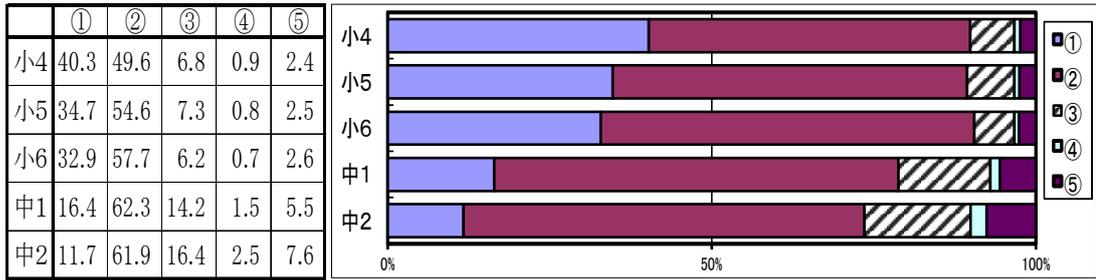
「つよくそう思う」「そう思う」の割合



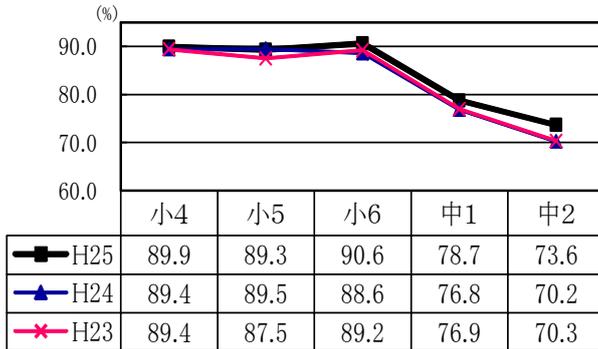
肯定的な回答の割合は、平成23年度から継続して高く、今年度は全ての学年で95%を超えた。「分からない、どちらでもない」の割合も、他の質問項目に比べて極めて低く、学習することの重要性に対する意識の高さがうかがえる。

[ 1 - 3 ] 学校の勉強がよくわかる

①つよく思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からないどちらでもない



「つよく思う」「そう思う」の割合



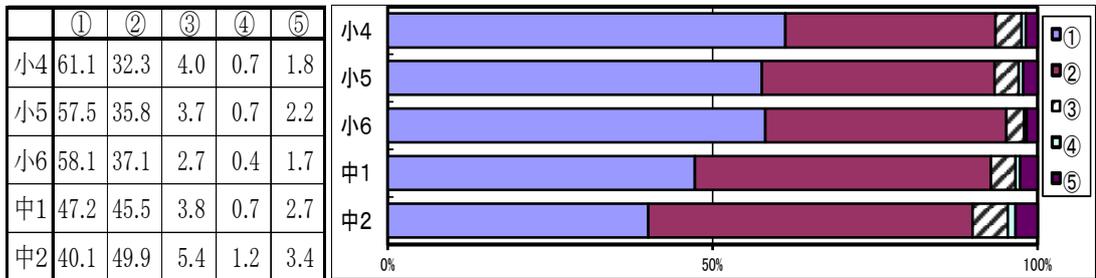
小学校では、ほぼ9割が肯定的な回答をしている。そのうち3割以上が、「つよく思う」と回答しており、良い傾向を示している。

中学校においても7割以上の生徒が肯定的な回答をしており、その割合も昨年度に比べて微増している。

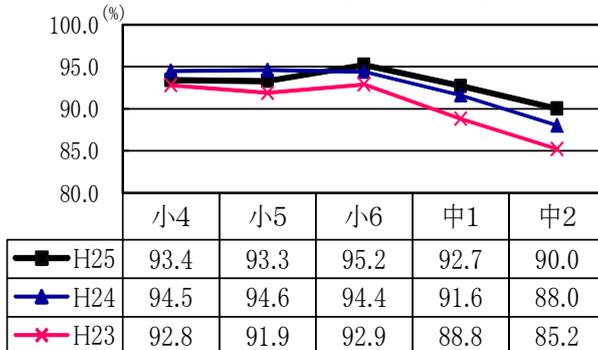
しかし、依然として小学校と中学校の意識の差が10ポイント以上ある。

[ 1 - 4 ] ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

①つよく思う ②そう思う ③そう思わない ④まったくそう思わない ⑤分からないどちらでもない



「つよく思う」「そう思う」の割合



中学校における数値が、平成23年度から少しずつ上昇してきており、今年度は小・中学校とも、9割以上が肯定的な回答をしている。勉強する目的意識を明確にもっている児童生徒が多いことがうかがえる。

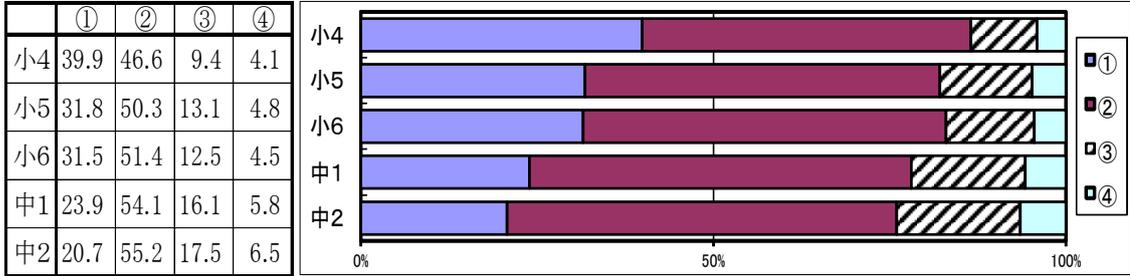
④ 生活全般について

[グラフ等の見方]

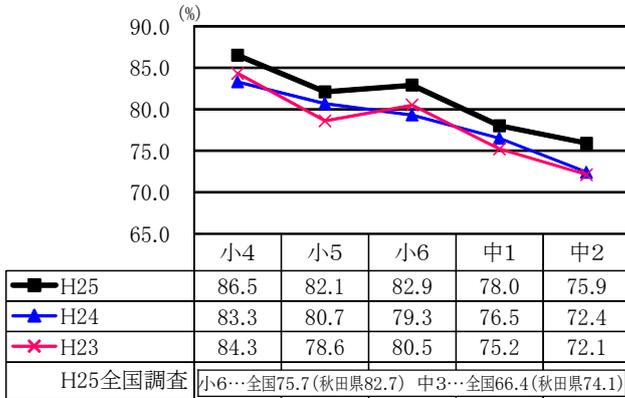
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)  
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[2-1] 自分にはよいところがあると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



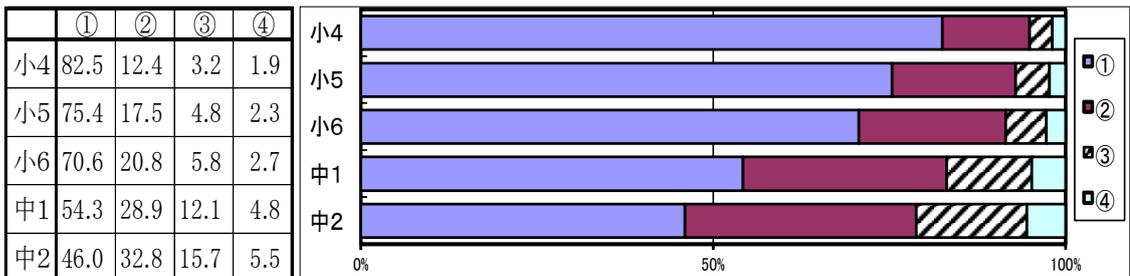
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



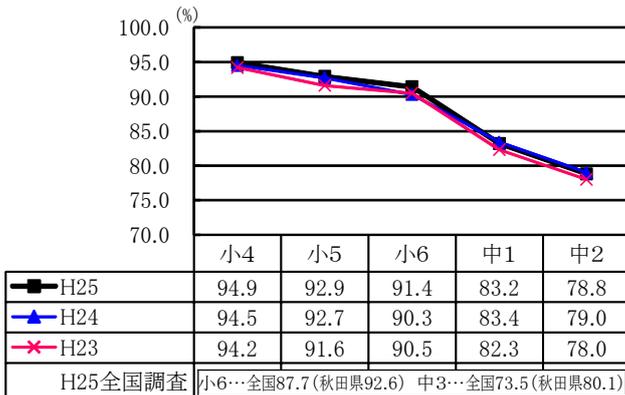
小学校では80%以上、中学校では75%以上が、肯定的な回答をしている。平成24年度と比較すると、全ての学年で数値が高くなっている。児童生徒は、学校生活等の様々な場面で、自己存在感や自己有用感を感じている様子が見られる。

[2-2] 将来の夢や目標をもっている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



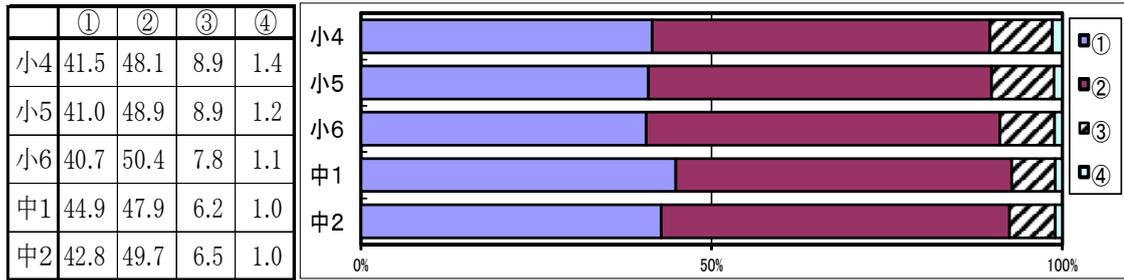
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



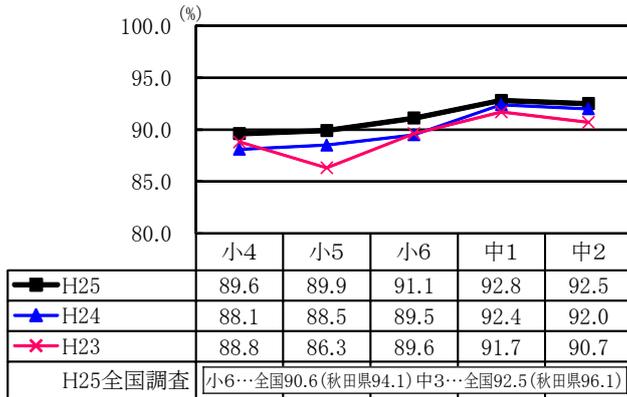
小学校では、90%以上が肯定的な回答をしており、平成23年度から高い値で推移している。中学校でも、80%程度が肯定的な回答をしているが、小学校第6学年から学年が上がるに従ってその割合は低くなっている。同様の傾向は、全国学力・学習状況調査の結果にも見られる。

## [ 2 - 3 ] 学校のきまりを守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



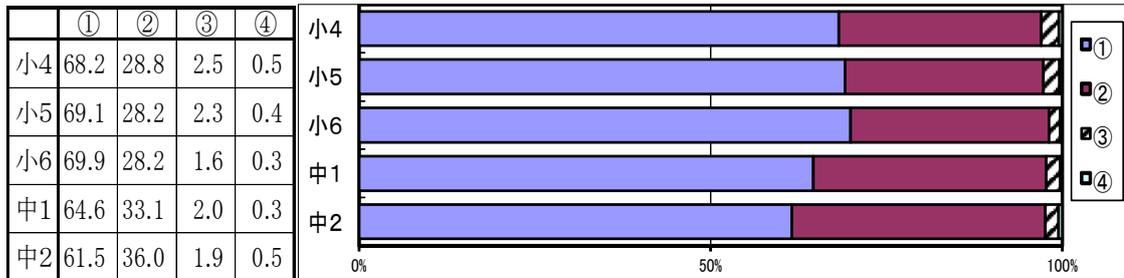
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



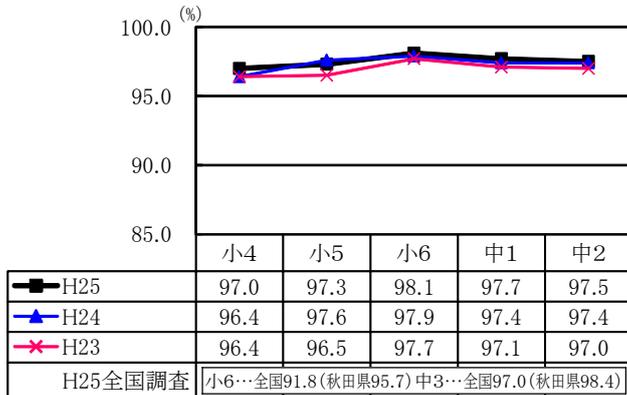
肯定的な回答が、全ての学年で90%程度と高い割合である。小学校に比べて中学校の数値が高く、全般的に良い傾向を示している。児童生徒は、規範意識を高くもって学校生活を送っている様子うかがえる。

## [ 2 - 4 ] 友達との約束を守っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



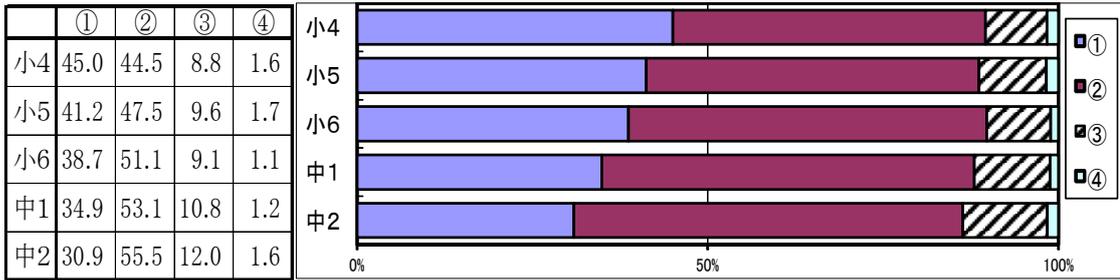
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



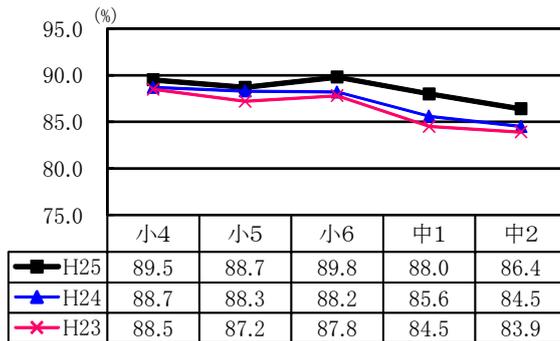
肯定的な回答のうち、「当てはまる」が全ての学年で60%を超えている。児童生徒は、友達との良好な人間関係を築くため、約束を守って生活しようとしている様子うかがえる。

[2-5] 人が困っているときは進んで助けている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



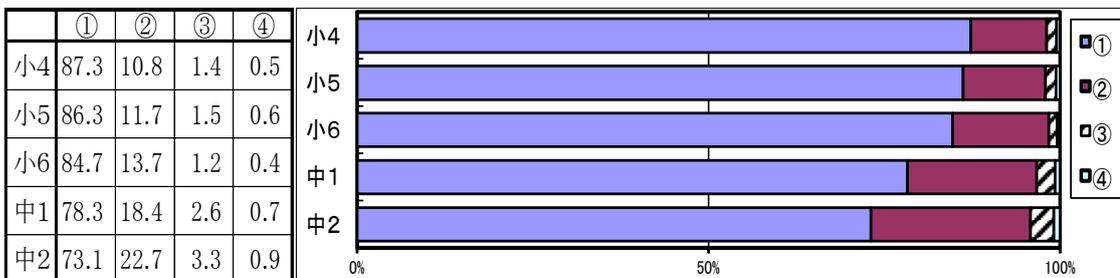
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



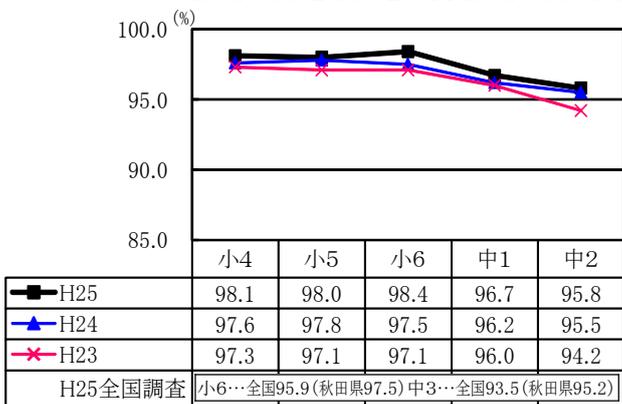
全ての学年で、児童生徒の9割近くが肯定的な回答をしている。その数値も平成23年度から少しずつ高くなってきている。

[2-6] いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



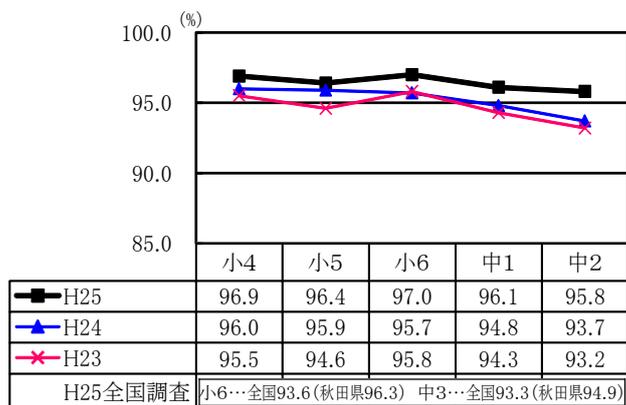
全ての学年で、肯定的な回答の割合が極めて高い。肯定的な回答のうち、「当てはまる」と回答している割合は、小学校では80%以上、中学校では70%以上となっており、他の質問に比べて高い数値となっている。

## [ 2 - 7 ] 人の役に立つ人間になりたいと思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

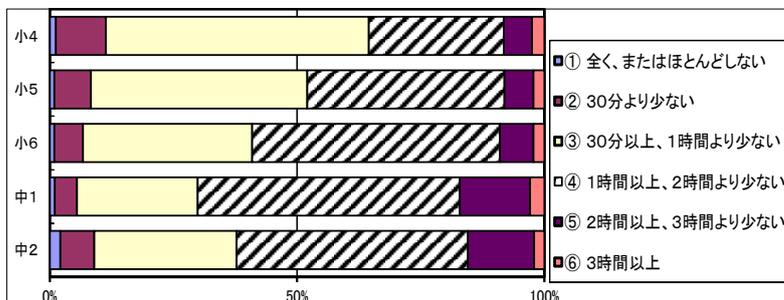


例年と同様に、肯定的な回答の割合が高い数値を示しており、今年度は全ての学年で95%を超えている。同学年における数値を経年比較すると、学年が上がるに従って、前年度からの数値の伸びが大きい傾向が見られる。

⑤ 家庭学習について

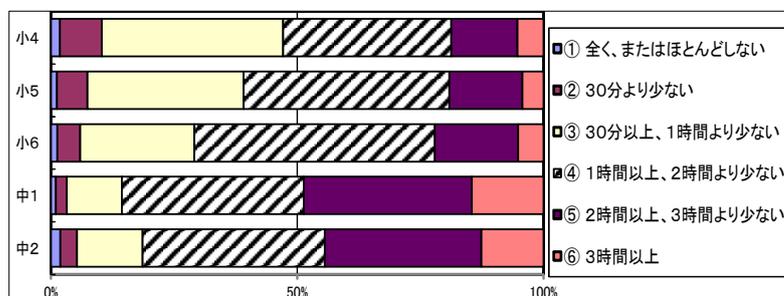
[グラフ等の見方]  
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

学校がある日の家庭学習の時間



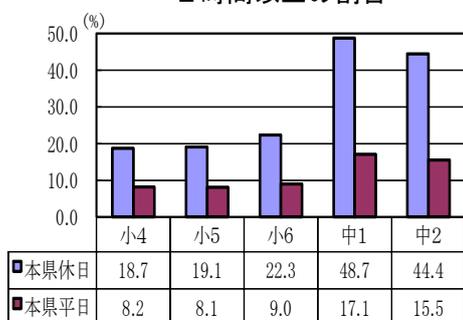
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.2	10.1	53.2	27.3	5.7	2.5
小5	0.9	7.4	43.7	39.8	5.9	2.2
小6	0.9	5.8	34.2	50.1	6.8	2.2
中1	1.0	4.5	24.4	53.0	14.2	2.9
中2	2.1	6.9	28.8	46.8	13.4	2.1

土曜日や日曜日の家庭学習の時間

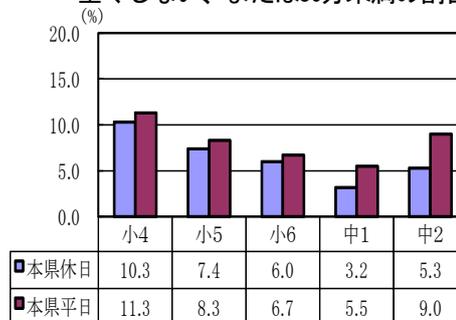


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.8	8.5	36.8	34.1	13.4	5.3
小5	1.2	6.2	31.7	41.7	14.8	4.3
小6	1.3	4.7	23.4	49.3	17.1	5.2
中1	1.0	2.2	11.2	37.0	34.1	14.6
中2	1.9	3.4	13.3	37.0	31.8	12.6

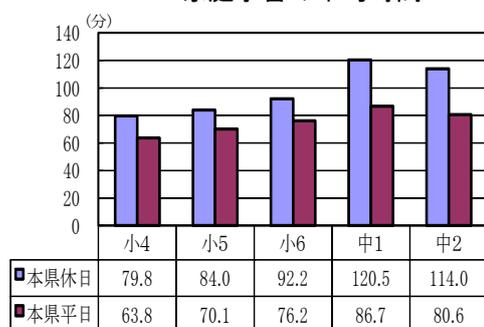
2時間以上の割合



全くしない、または30分未満の割合



家庭学習の平均時間



平日の家庭学習の平均時間は、1時間から1時間20分程度であることが分かった。また、家庭学習を全くしない、または家庭学習時間が30分未満の児童生徒の割合が、全ての学年で低いことから、これまでの諸調査から明らかになっているように、家庭学習の習慣がよく身に付いていることがうかがえる。

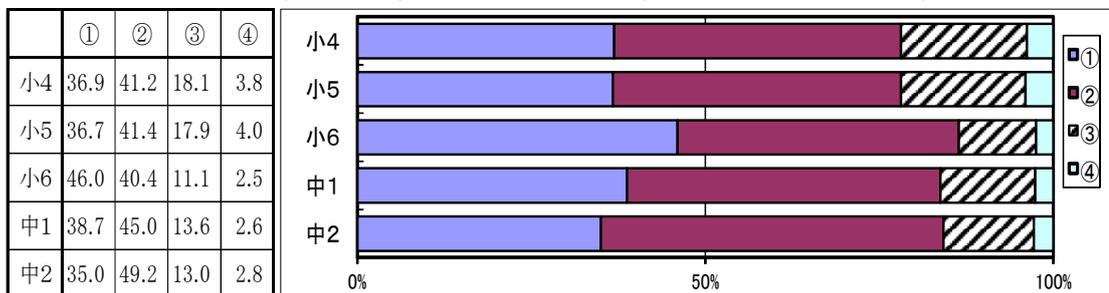
休日に2時間以上の学習をしている児童生徒の割合は、全ての学年において平日に比べて高く、中学生ではその傾向が顕著に見られる。

⑥ 授業について

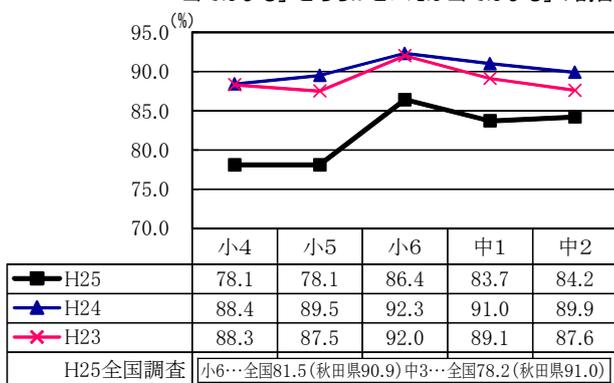
[グラフ等の見方]  
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合(%)  
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会がよくあると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

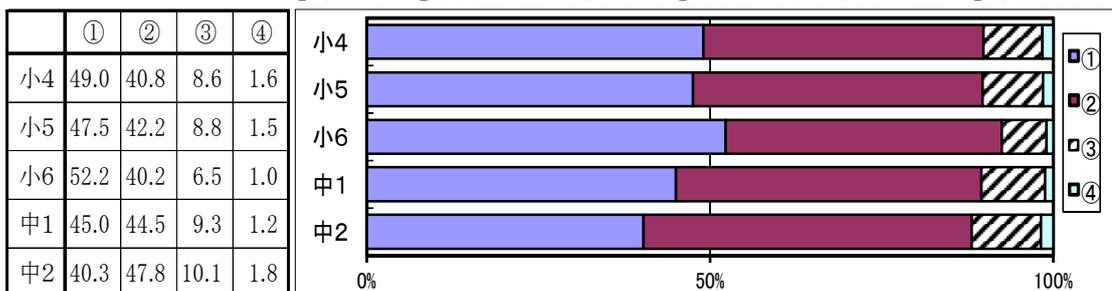


全ての学年において、ほぼ8割が肯定的な回答をしている。また、中学校における割合の平均が、小学校に比べて高くなっている。小・中学校のいずれにおいても、児童生徒の発言を生かした授業が展開されていることがうかがえる。

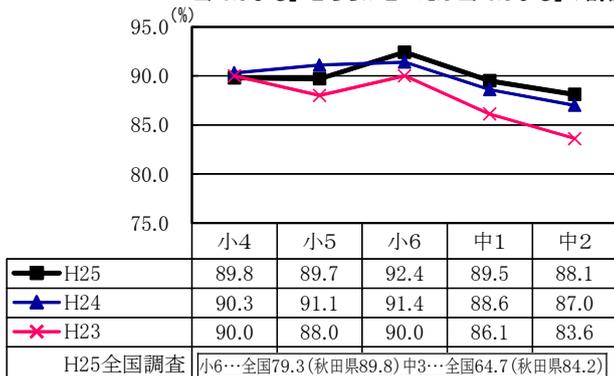
しかし、質問の仕方を昨年度の「機会が与えられている」から、「機会がよくある」に変えたところ、数値が下がった。自分の考えを主体的に表現する態度を一層養うことが必要である。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



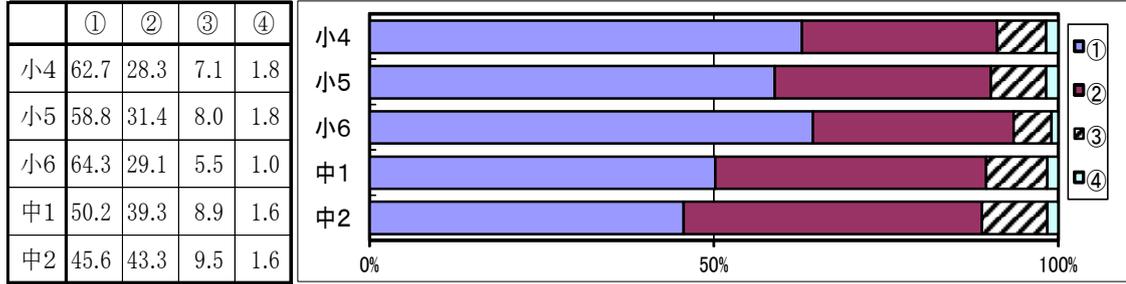
「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



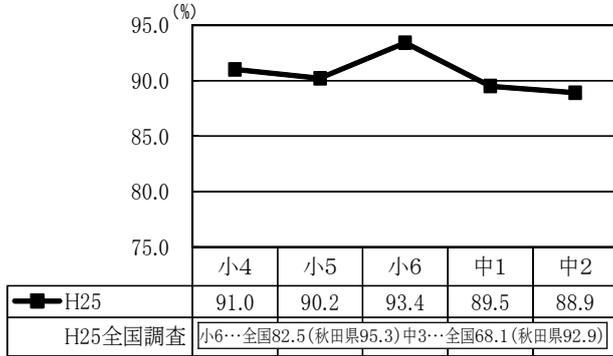
肯定的な回答の割合が、全ての学年で9割程度と高い数値を示しており、中学校では平成23年度から少しずつ増えてきている。教科の別にかかわらず、授業においては、日常的に話し合う活動が取り入れられていることがうかがえる。

[4-3] ふだんの授業では、はじめに授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合

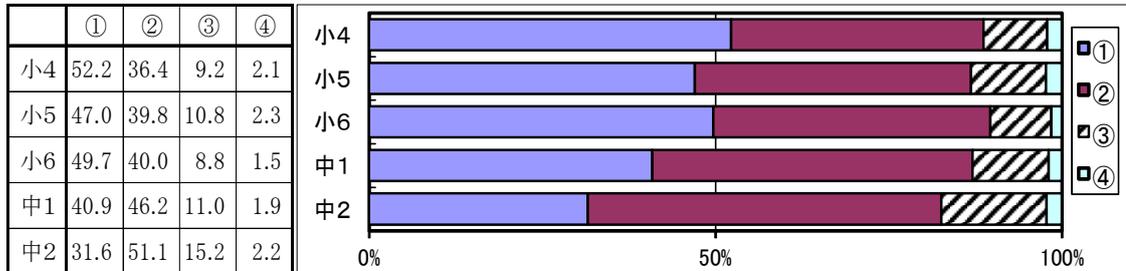


全国学力・学習状況調査の質問項目を参考に、本調査で新しく取り入れた質問項目である。

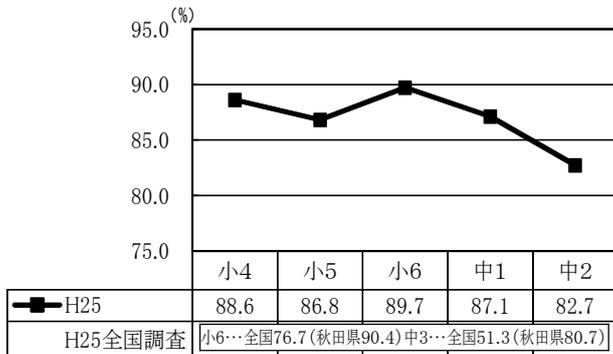
肯定的な回答の割合が、全ての学年でほぼ90%と高い数値となった。学年間の意識に大きな差がないことから、小・中学校のいずれにおいても、授業の導入では本時の目標等が児童生徒と共につくられ、学習が開かれていることがうかがえる。

[4-4] ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない



「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」の割合



全国学力・学習状況調査の質問項目を参考に、本調査で新しく取り入れた質問項目である。

全ての学年で、80%以上の児童生徒が肯定的な回答をしている。授業の終わりには、児童生徒が自分の学びを振り返り、分かったことや次に考えてみたいことなどを明らかにしている様子が見られる。

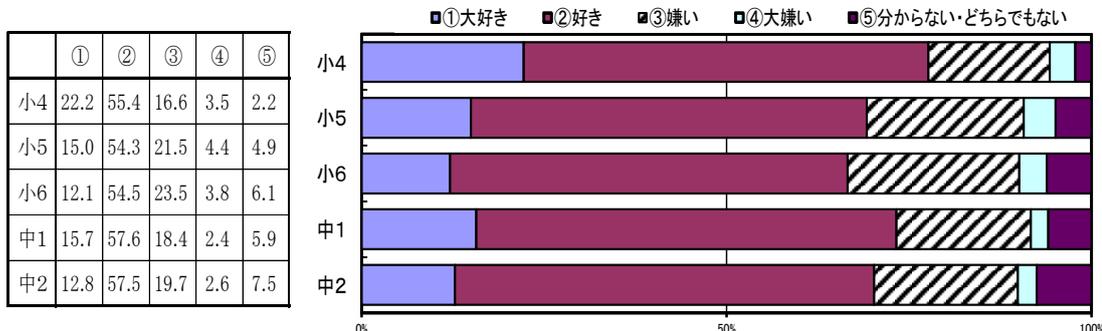
⑦ 教科の好き嫌い

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合 (%)

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】

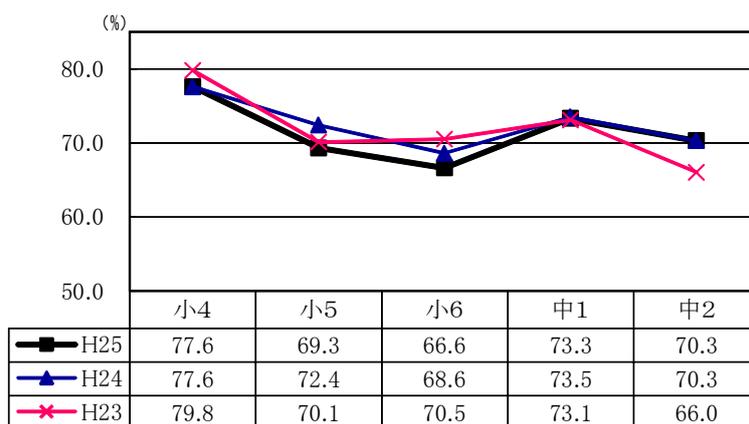


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

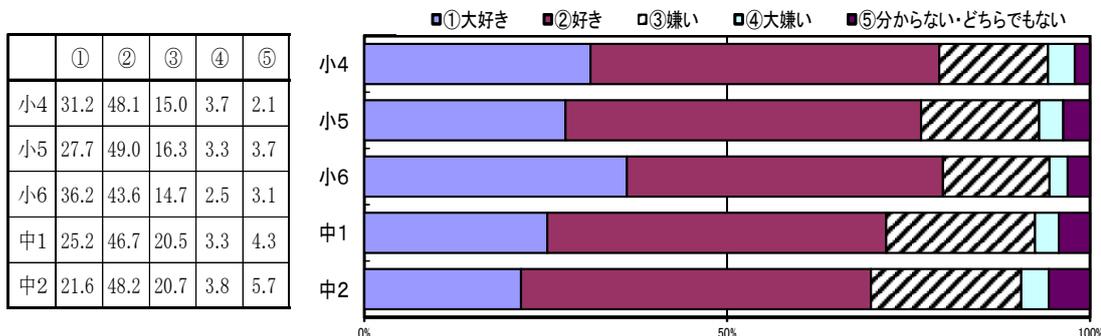
		国語	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい		18.3%	15.0%	13.7%	25.8%	23.3%
	② 分かりやすい		18.0%	14.5%	11.5%	14.0%	13.9%
	③ 将来のためになる		10.9%	12.5%	14.1%	10.9%	10.8%
	④ 生活の中で役立つ		11.6%	12.5%	15.1%	12.0%	11.2%
	⑤ 考えるのが好き		10.2%	8.6%	8.0%	6.3%	5.8%
	⑥ 得意		6.5%	5.6%	4.3%	5.8%	7.2%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない		4.5%	6.2%	6.6%	5.5%	5.9%
	⑧ 分かりにくい		5.0%	5.2%	4.7%	3.7%	4.7%
	⑨ 将来のためにならない		0.2%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%
	⑩ 生活の中で役立たない		0.1%	0.2%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ		2.2%	2.8%	3.0%	1.9%	2.5%
	⑫ 不得意		7.2%	11.6%	13.6%	9.6%	9.6%
	⑬ その他・不明		5.2%	5.4%	5.3%	4.2%	4.7%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では、肯定的な回答の割合が学年が上がるに従って減少しており、小学校第4学年と第6学年では、10ポイント程度の差がある。しかし、好きな理由として、「将来のためになる」「生活に役立つ」という回答は学年が上がるに従って少しずつ高くなっており、国語を学ぶことの大切さは意識されているものと言える。嫌いな理由としては、「不得意」という意識が比較的高い。中学校では、肯定的な回答の割合が7割程度となっており、小学校の数値よりも高くなっている。

【社会】



[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

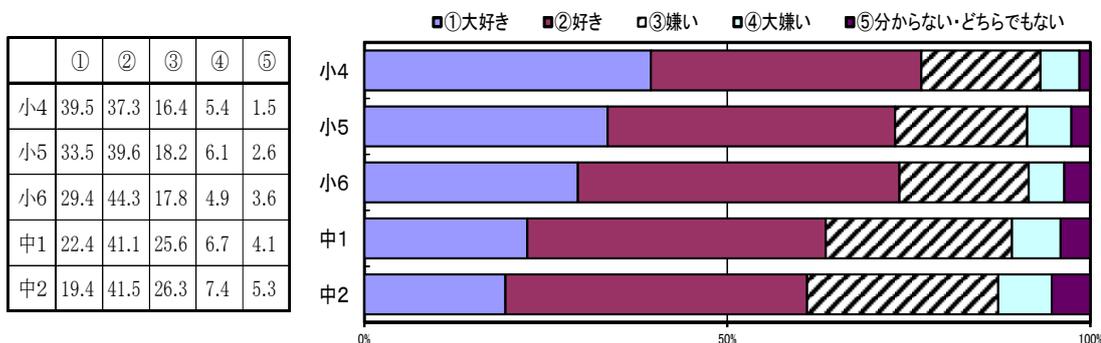
社会		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	19.8%	17.9%	31.7%	32.5%	30.6%
	② 分かりやすい	11.5%	11.3%	11.9%	11.5%	14.1%
	③ 将来のためになる	16.8%	20.8%	13.0%	9.6%	8.2%
	④ 生活の中で役立つ	20.6%	16.7%	7.5%	6.1%	5.4%
	⑤ 考えるのがすき	5.4%	4.8%	6.3%	5.9%	4.8%
	⑥ 得意	4.1%	5.7%	8.7%	6.2%	7.4%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	4.9%	4.7%	3.2%	3.1%	4.3%
	⑧ 分かりにくい	5.1%	4.5%	4.0%	5.9%	6.1%
	⑨ 将来のためにならない	0.2%	0.2%	0.4%	0.9%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.2%	0.3%	0.8%	0.9%
	⑪ 考えるのがめんどう	1.5%	1.6%	0.8%	0.9%	1.2%
	⑫ 不得意	6.3%	8.2%	8.1%	12.3%	11.8%
	⑬ その他・不明	3.6%	3.5%	4.1%	4.4%	4.3%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では8割程度、中学校では7割程度が肯定的な回答をしている。特に、小学校第4・5学年では、「将来のためになる」「生活に役立つ」という意識が比較的高くなっている。一方、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、「楽しい」の数値が高く、学習に対する興味・関心の高さが現れているが、「生活の中で役立つ」という意識は相対して低くなっている。

【算数、数学】

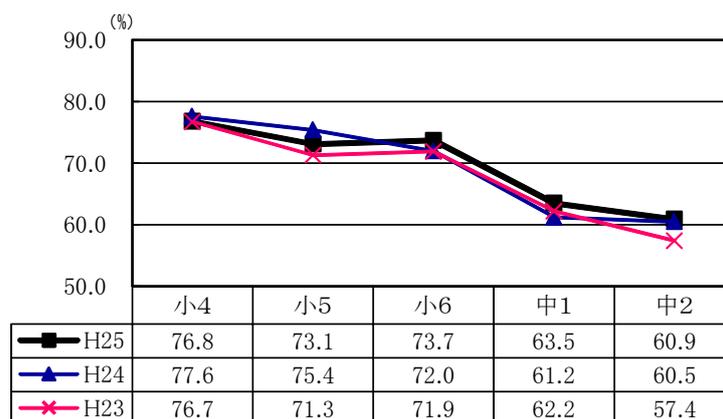


[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

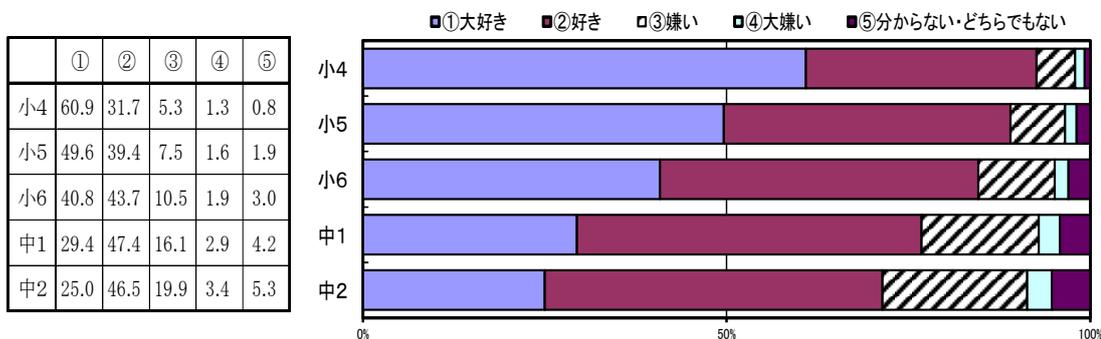
		算数、数学		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい			15.2%	14.9%	13.1%	14.5%	15.9%
	② 分かりやすい			11.4%	10.9%	10.2%	10.5%	9.3%
	③ 将来のためになる			10.2%	10.2%	13.3%	9.3%	8.2%
	④ 生活の中で役立つ			13.2%	12.0%	15.7%	10.4%	7.6%
	⑤ 考えるのが好き			13.2%	13.5%	12.0%	11.4%	13.2%
	⑥ 得意			13.0%	11.2%	10.5%	8.4%	8.1%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない			3.6%	3.9%	3.6%	4.1%	4.4%
	⑧ 分かりにくい			6.1%	5.6%	4.4%	7.8%	7.6%
	⑨ 将来のためにならない			0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立たない			0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ			3.1%	4.0%	3.4%	3.6%	4.7%
	⑫ 不得意			7.9%	10.4%	11.3%	16.8%	17.1%
	⑬ その他・不明			2.9%	3.2%	2.3%	2.8%	3.1%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、中学校では平成23年度からの3年間で最も高い数値となっているものの、小学校と中学校では10ポイント程度の差が見られる。好きな理由としては、全ての学年で、「考えるのが好き」という意識が高く、数学的に思考させる活動の工夫した展開がうかがえる。一方、嫌いな理由としては、「不得意」という意識が学年が上がるに従って高くなる傾向が依然として見られ、他教科における数値と比べても高くなっている。

【理科】

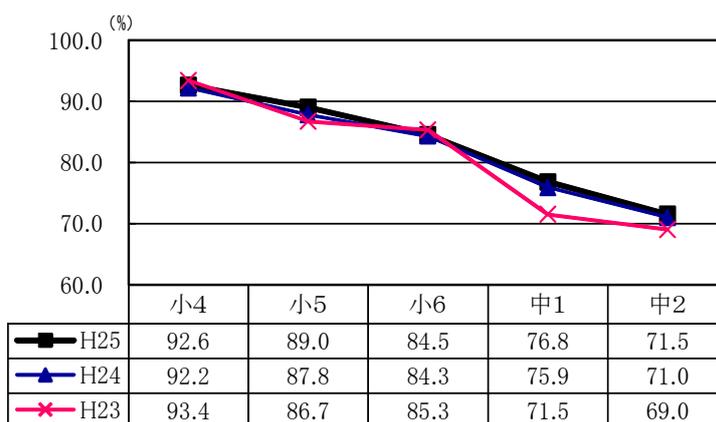


[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

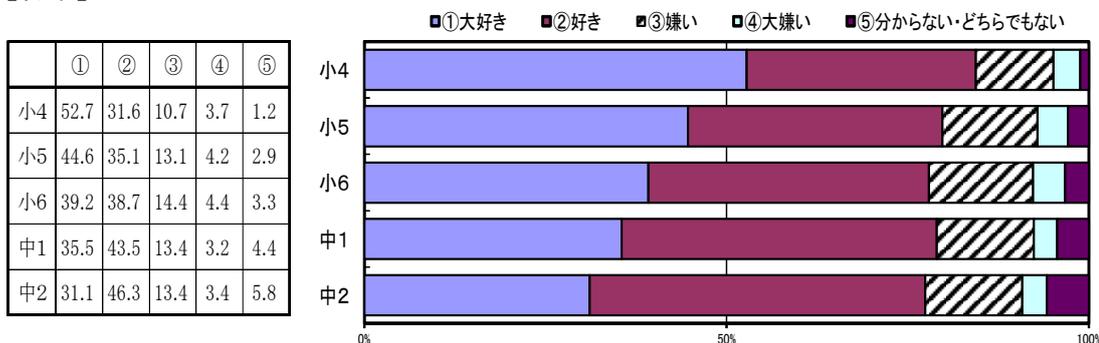
理科		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	44.1%	40.8%	40.4%	41.7%	36.2%
	② 分かりやすい	10.5%	12.2%	11.6%	9.0%	10.6%
	③ 将来のためになる	4.8%	5.2%	5.5%	4.1%	4.6%
	④ 生活の中で役立つ	9.2%	8.3%	8.7%	7.3%	6.1%
	⑤ 考えるのが好き	11.6%	11.7%	9.1%	8.0%	7.3%
	⑥ 得意	10.5%	9.9%	9.0%	7.1%	7.3%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	1.2%	2.0%	2.9%	2.4%	3.4%
	⑧ 分かりにくい	1.7%	1.9%	2.4%	5.4%	6.7%
	⑨ 将来のためにならない	0.3%	0.3%	0.5%	1.1%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.4%	0.6%	0.8%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.6%	0.8%	1.0%	1.4%	1.7%
	⑫ 不得意	2.1%	3.5%	5.1%	8.3%	10.1%
	⑬ その他・不明	3.3%	3.1%	3.5%	3.6%	4.1%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



小学校では肯定的な回答の割合が高く、他の教科と比べても高い数値になっている。しかし、学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなる傾向は、例年と同様に見られる。好きな理由としては、4割程度が「楽しい」という意識をもっており、学習に対する興味・関心が高い様子がうかがえる。また、「将来のためになる」「生活の中で役立つ」という理科を学ぶことの意義や有用性に関する意識は相対して低いものの、昨年度に比べると僅かながら高くなっている。

【音楽】

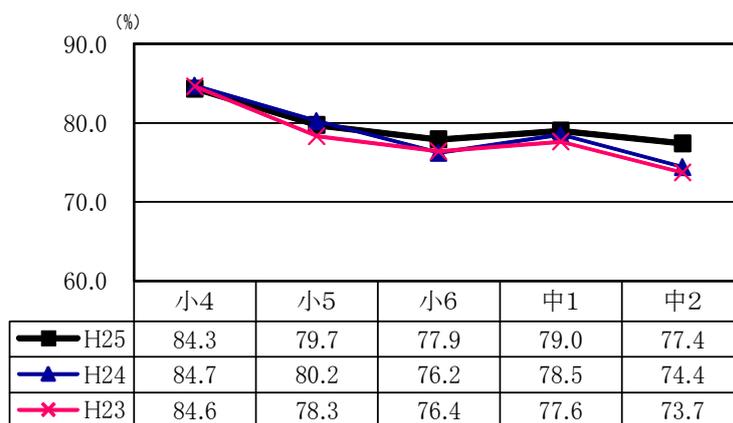


[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

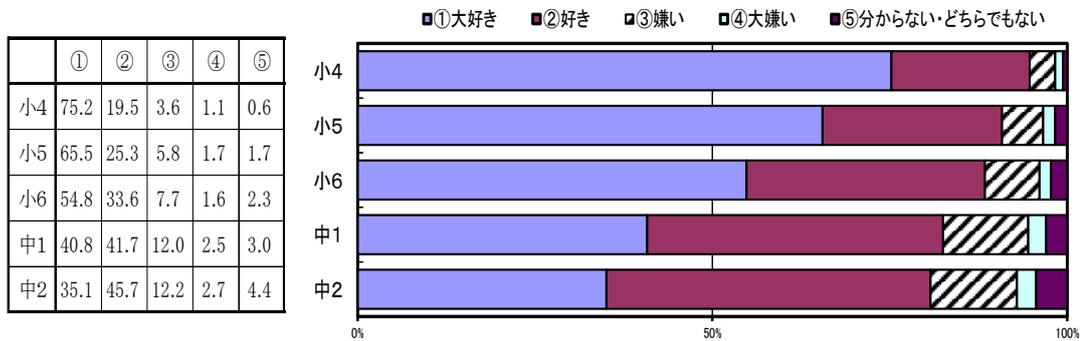
		音楽				
		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	50.1%	52.6%	54.8%	61.3%	63.5%
	② 分かりやすい	7.6%	6.1%	5.3%	4.5%	3.3%
	③ 将来のためになる	2.6%	2.1%	2.0%	1.3%	1.3%
	④ 生活の中で役立つ	2.0%	1.3%	1.4%	1.1%	1.0%
	⑤ 考えるのが好き	1.6%	1.0%	0.5%	1.0%	1.0%
	⑥ 得意	16.7%	13.8%	11.7%	8.5%	7.7%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	2.6%	3.6%	3.2%	3.8%	4.9%
	⑧ 分かりにくい	2.5%	2.1%	2.0%	1.1%	1.0%
	⑨ 将来のためにならない	1.0%	1.2%	1.7%	2.1%	2.2%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.9%	0.9%	1.2%	1.6%	1.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.2%	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%
	⑫ 不得意	6.2%	8.9%	10.3%	7.8%	6.7%
	⑬ その他・不明	6.0%	6.1%	5.8%	5.6%	5.6%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で高く、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、平成23年度から少しずつ数値が上昇している。好きな理由としては、学年が上がるに従って「得意」の割合は低くなっているものの、「楽しい」の割合が高くなり、中学校では6割を超えている。得意または不得意に関わらず、興味・関心をもって学習に取り組んでいる様子が見えてくる。

【図画工作、美術】

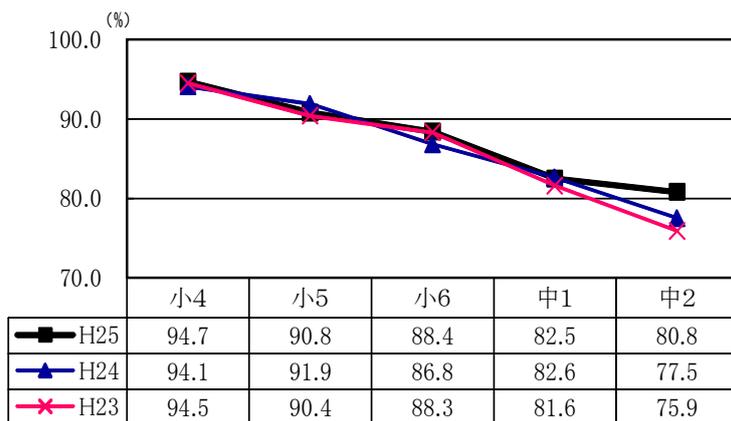


[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

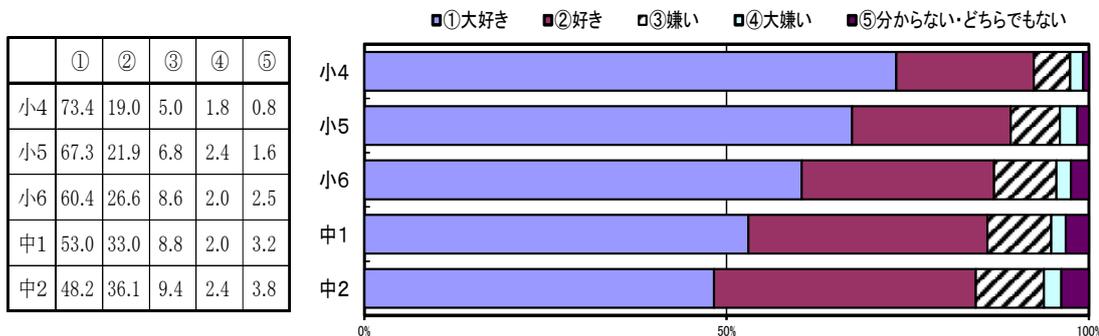
		図画工作、美術	小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい		58.5%	64.6%	65.4%	63.3%	66.9%
	② 分かりやすい		3.0%	2.1%	2.1%	3.2%	2.2%
	③ 将来のためになる		2.5%	1.9%	1.8%	1.5%	1.3%
	④ 生活の中で役立つ		2.6%	2.2%	2.5%	1.5%	1.1%
	⑤ 考えるのが好き		8.4%	6.1%	5.5%	3.6%	2.7%
	⑥ 得意		17.4%	12.8%	10.6%	8.2%	7.0%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない		0.9%	1.4%	1.4%	2.9%	3.6%
	⑧ 分かりにくい		0.4%	0.2%	0.1%	0.6%	0.3%
	⑨ 将来のためにならない		0.2%	0.5%	0.7%	1.8%	1.8%
	⑩ 生活の中で役立たない		0.2%	0.2%	0.6%	1.3%	1.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ		0.3%	0.4%	0.4%	0.5%	0.5%
	⑫ 不得意		2.5%	4.5%	5.8%	7.4%	7.7%
	⑬ その他・不明		3.0%	3.2%	3.0%	4.2%	3.8%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で高く、小学校では9割程度、中学校では8割程度となっている。特に、肯定的な回答のうち「大好き」と回答している割合が、小学校では50%を超えている。また、好きな理由としては、「楽しい」という回答が60%前後となっていることから、学習に対する興味・関心を高くもって取り組んでいる様子が見えてくる。

【体育、保健体育】

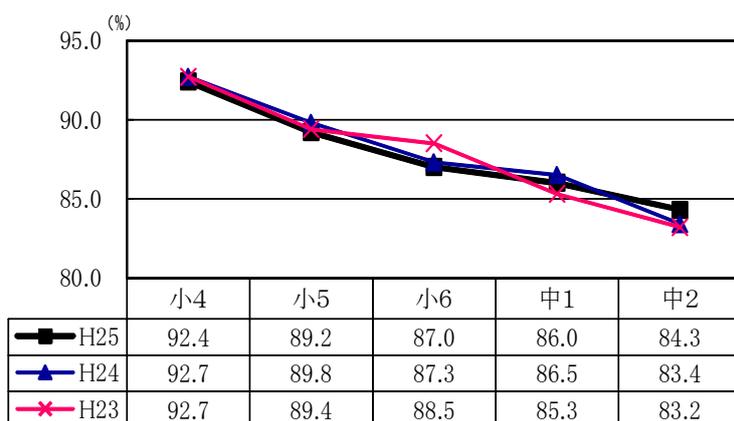


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

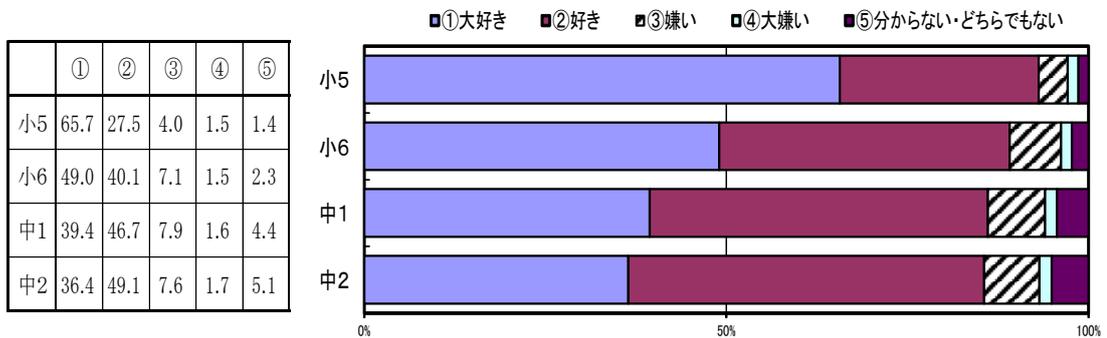
体育、保健体育		小4	小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	49.5%	56.4%	59.2%	62.3%	66.7%
	② 分かりやすい	2.3%	1.7%	1.6%	1.8%	1.3%
	③ 将来のためになる	5.6%	4.2%	3.8%	3.3%	2.1%
	④ 生活の中で役立つ	4.0%	2.7%	2.1%	3.3%	2.8%
	⑤ 考えるのがすき	0.5%	0.3%	0.2%	0.2%	0.3%
	⑥ 得意	26.6%	21.2%	18.9%	14.6%	12.2%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	0.9%	1.2%	1.3%	1.7%	2.3%
	⑧ 分かりにくい	0.2%	0.2%	0.1%	0.3%	0.3%
	⑨ 将来のためにならない	0.2%	0.2%	0.4%	0.5%	0.3%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.2%	0.3%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.2%
	⑫ 不得意	4.6%	7.1%	8.5%	7.8%	8.2%
	⑬ その他・不明	5.4%	4.5%	3.8%	3.8%	3.1%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



全ての学年で肯定的な回答の割合が高く、他の教科には見られない特徴として、「大好き」の割合が「好き」の割合を上回っている。また、学年進行に伴う肯定的な回答の減少の程度は、他の教科に比べて非常に低い。また、好きな理由としては、「楽しい」の割合が学年が上がるに従って高く、中学校第2学年では7割近い数値になっている。得意・不得意にかかわらず、一人一人が学習の楽しさを見いだして取り組んでいる様子が見えてくる。

【家庭、技術・家庭】

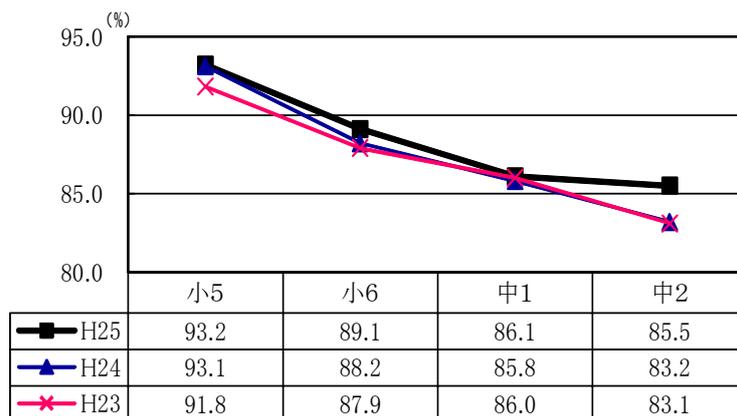


[好きな理由・嫌いな理由]

%は全児童生徒に対する割合

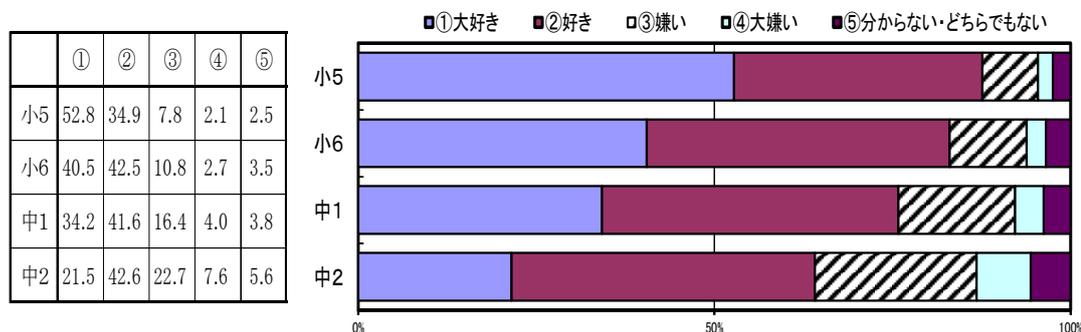
家庭、技術・家庭		小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	36.3%	30.4%	44.4%	49.2%
	② 分かりやすい	3.2%	2.9%	3.1%	2.6%
	③ 将来のためになる	13.7%	13.9%	9.4%	8.8%
	④ 生活の中で役立つ	30.1%	34.5%	22.5%	20.2%
	⑤ 考えるのが好き	0.6%	0.5%	2.1%	1.3%
	⑥ 得意	9.2%	7.7%	6.0%	5.8%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	1.1%	1.6%	2.6%	3.1%
	⑧ 分かりにくい	1.1%	0.8%	1.1%	1.1%
	⑨ 将来のためにならない	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.3%	0.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.2%	0.7%	0.6%
	⑫ 不得意	2.6%	5.4%	4.3%	3.8%
	⑬ その他・不明	1.8%	2.0%	3.0%	2.8%

「大好き」「好き」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は全ての学年で高い数値を示している。中でも、教科の学習が始まる小学校第5学年では、「大好き」と回答している割合が65%を超えている。また、好きな理由として、「生活の中で役立つ」と回答した割合は、小学校では30%以上、中学校では20%以上となっており、他の教科に比べて高い。児童生徒が教科の特性を自覚して学習に取り組み、学習したことを日常生活に生かそうとしている様子が見られる。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】

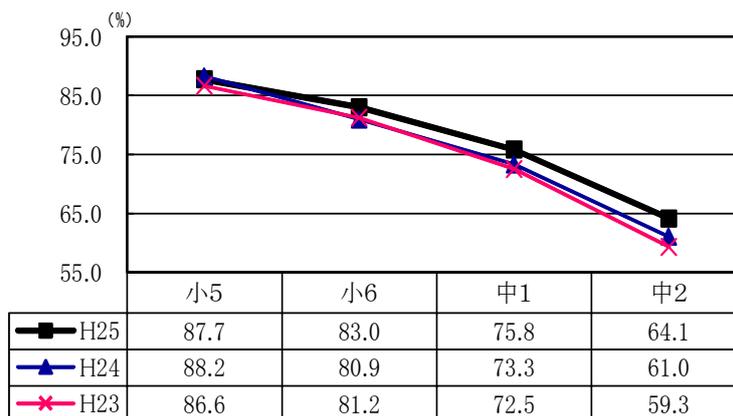


[好きな理由・嫌いな理由]

％は全児童生徒に対する割合

外国語活動、外国語（英語）		小5	小6	中1	中2
好きな理由	① 楽しい	41.4%	37.1%	26.9%	20.4%
	② 分かりやすい	6.9%	6.2%	8.3%	6.9%
	③ 将来のためになる	21.5%	24.7%	22.7%	21.6%
	④ 生活の中で役立つ	8.6%	8.6%	7.7%	6.8%
	⑤ 考えるのが好き	2.6%	1.7%	1.9%	2.0%
	⑥ 得意	5.9%	5.3%	8.9%	7.7%
嫌いな理由	⑦ 楽しくない	1.6%	2.3%	2.8%	4.5%
	⑧ 分かりにくい	3.7%	4.3%	5.2%	7.7%
	⑨ 将来のためにならない	0.1%	0.2%	0.5%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.3%	0.7%	1.1%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.5%	0.6%	0.9%	1.4%
	⑫ 不得意	3.7%	5.6%	10.4%	15.7%
	⑬ その他・不明	3.4%	3.1%	3.0%	3.6%

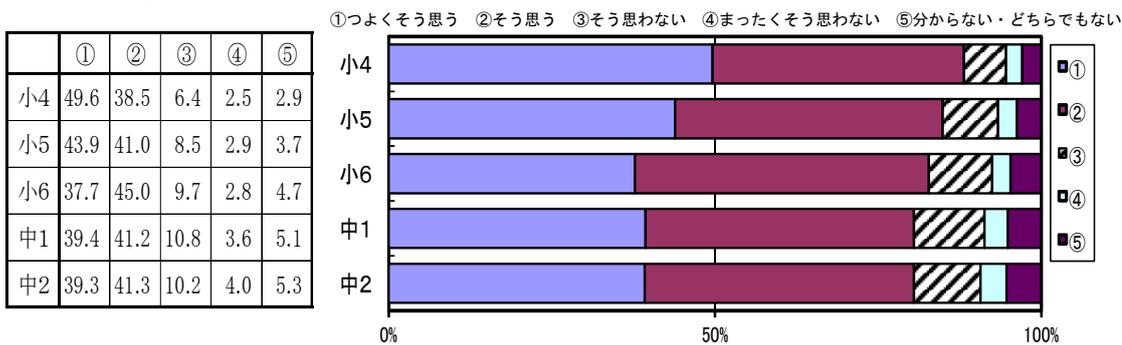
「大好き」「好き」と回答した割合の推移



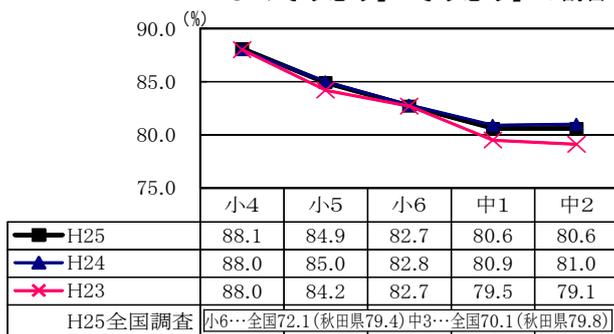
小学校外国語活動については、肯定的な回答が80%以上と高く、好きな理由としては「楽しい」という回答が40%前後となっている。中学校英語については、肯定的な回答の割合が平成23年度から少しずつ高くなってきているものの、肯定的な回答における学年間の減少の程度は、他の教科に比べて大きい。好きな理由として、「将来のためになる」という回答の割合が、全ての学年で20%を超えており、他の教科に比べて高い。外国語活動及び英語を学習する必要感に対する意識を高くもっていることがうかがえる。

⑧ 読書について

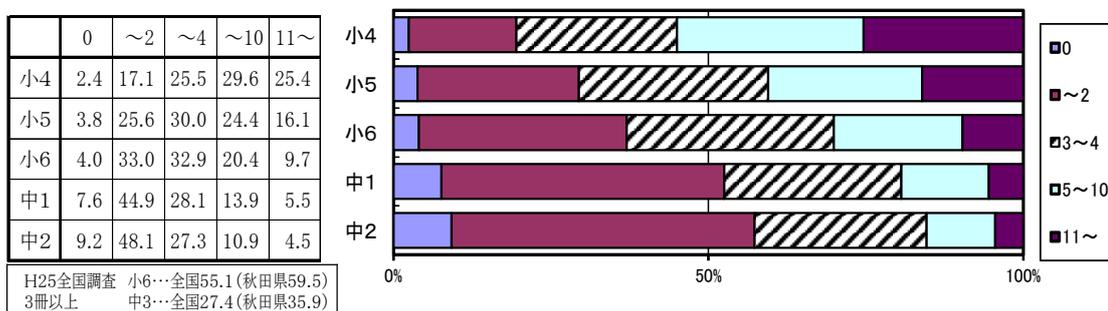
【読書は好きだ】



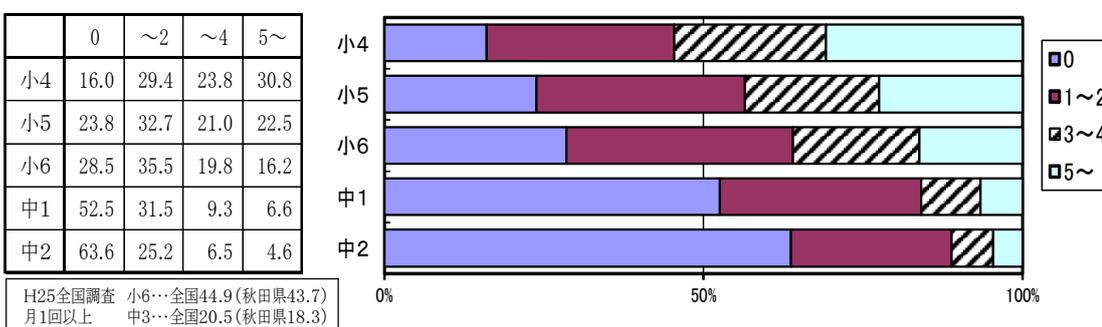
「つよく思う」「そう思う」の割合



【1か月に何冊くらい本を読むか（教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く）】



【1か月に何回くらい図書館を利用するか】



全ての学年において、児童生徒の80%以上が読書が好きだという意識をもっている。また、児童生徒の90%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が30%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館の利用回数については、全国学力・学習状況調査の結果よりも改善傾向が見られる。しかし、小学校ではおよそ7割以上の児童が月に1回以上利用しているが、中学校では大きく減少している。

## 4 結果と考察 (1) 国語

平成25年度小学校学習状況調査 第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 語 ・ に 理 つ 解 い ・ て 技 の 能
第 4 学 年	書 く こ と	イ(3・4年)	・案内状の特性を理解して、自分の考えが明確になるように、手紙に書く内容を構成している。	12)	○		
		ウ(3・4年)	・書こうとする文章の特性を理解し、目的や条件に応じて適切に書いている。		○		
	読 む こ と	ウ(3・4年)	・叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像しながら読んでいる。  ・場面や情景の移り変わりとともに、変化する登場人物の気持ちを捉えて読んでいる。	8)		○	
				9)		○	
				10)		○	
伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(イ) (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字について、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○	
			2)			○	
			3)			○	
		(1)イ(キ) (3・4年)	・第3学年までに配当されている漢字について、文や文章の中で正しく書いている。	4)			○
				5)			○
				6)			○

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

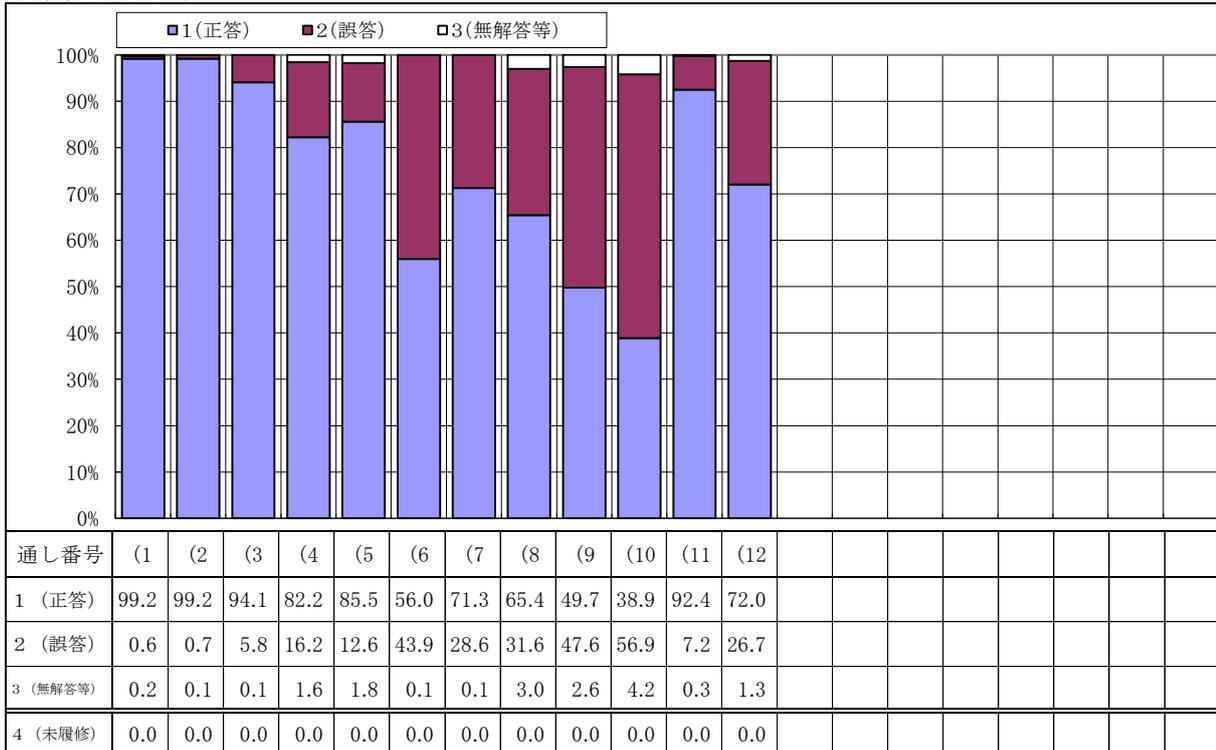
平均通過率 75.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (せき)	99.2%	90.0%	
(2)	漢字の読み (たいけん)	99.2%	85.0%	
(3)	漢字の読み (てじな)	94.1%	80.0%	
(4)	漢字の書き (感動)	82.2%	75.0%	
(5)	漢字の書き (重なる)	85.5%	75.0%	
(6)	修飾・被修飾	56.0%	65.0%	
(7)	内容の理解 (選択)	71.3%	70.0%	
(8)	内容の理解 (抜き出し)	65.4%	70.0%	
(9)	内容の理解 (記述)	49.7%	60.0%	
(10)	内容の理解 (記述)	38.9%	60.0%	
(11)	内容理解 (選択)	92.4%	80.0%	
(12)	招待の手紙文を書く	72.0%	75.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	182	180	83	30	44	10	13	22	3	2	52	32	
90~100%	43	45	111	38	54	7	7	16	1	1	114	20	6
80~90%	2	2	26	71	77	21	39	27	12	4	54	49	62
70~80%			7	61	33	22	72	35	10	7	6	43	126
60~70%				22	16	37	69	60	36	16	1	34	32
50~60%				4	3	48	17	44	54	34		27	1
40~50%				1		32	6	16	58	44		14	
30~40%						20	3	4	31	49		5	
20~30%						17	1	2	15	42		2	
10~20%						9		1	5	17		1	
0~10%						4			2	11			

# 小学校4年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別			計
	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	
+10% より高い	0	1	3	4
±10% の範囲	1	2	3	6
-10% より低い	0	2	0	2
計	1	5	6	12

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。
- ②「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、問題によって通過率にばらつきが見られた。

### (2) 成果

- ①「書くこと」では、書こうとする文章の特性を理解し、目的や条件に応じて書くことに指導の成果が見られる。
- ②「読むこと」では、場面や情景の移り変わりとともに、変化する登場人物の気持ちを捉えて読む問題で、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ①「読むこと」では、叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像して読む力を伸ばしていく必要がある。
- ②「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾・被修飾の関係の理解が十分図られていない。

## 3 今後の指導

「読むこと」では、叙述を基に、登場人物の状況を把握し、気持ちを想像しながら読む力を付ける指導の充実を図る。

- ・登場人物の言動の意味を、文章中の言葉や話の展開に即して考えさせるなど、叙述を基に捉えさせる指導を工夫する。
- ・一つの叙述だけを手がかりとするのではなく前後の叙述を関連させて読み取らせることが有効である。
- ・読み取ったことをお互いに伝え合うなど、交流することにより自分の考えを深める言語活動を取り入れた指導過程を工夫する。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾と被修飾との関係について正しく理解させる指導の充実を図るとともに、文節の関係を意識させる学習活動を意図的、継続的に設定する。

- ・修飾と被修飾との関係については、他の文節を「どのように」「どのくらい」「いつ、どこで、だれと、何を」「どのような」「何の(だれの)」に当たる言葉で、詳しくしたり補ったりしていることを、機会を捉えて繰り返し具体的に説明し、指導する。
- ・文末ではない文節に係る場合、複数の用言に対して、文の意味をしっかりと捉えさせながら、「どのように」の内容に係るかどうか、比較し判断させる指導を積み重ねていく。

10) 泣き笑いの顔とありますが、そのときのおぼやんなの気持ちを次のように説明します。□の中にふさわしい内容を書きなさい。

おじいちゃんがなくなってしまうと悲しい気持ちと

□

気持ちの、二つがまざりあった気持ち。

6) 次の文の、「びよいと」は、どの言葉をくわしくしていますか。ア

オから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ウ 飛び出して、びくのそばへ

エ

ア

イ

オ かけつけました。

ウ

エ

ア

イ

ア

イ

ウ

エ

オ

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点				
					聞 く 能 力	話 す 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 ・ 技 能
第 5 学 年	聞 話 く す こ と	ア(5・6年)	・考えたことや伝えたいことなどから話題を集め、収集した知識や情報を関係付けている。	14)	○				
		エ(3・4年)	・聞いた事柄を基に分からない点や確かめたい点を問い返している。	15)	○				
	こ 書 と く	ウ(5・6年)	・表から読み取った事実を基に自分の考えを整理して書いている。	16)		○			
	読 む こ と	イ(3・4年)	・段落の内容を押さえ、段落相互の関係を考え読んでいる。	10)				○	
		イ(3・4年)	・目的に応じて、中心となる語や文を捉えて読んでいる。	12)				○	
		イ(5・6年)	・目的に応じて文や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫している。	13)				○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1) 2)					○
			・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3) 4)					○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・文脈に即して和語を適切な漢語に直す。	5)					○
		(1)イ(カ) (3・4年)	・国語辞典を利用して、慣用句に用いられた言葉の適切な意味を捉えることができる。	6)					○
		(1)ア(イ) (5・6年)	・俳句の季語の役割を理解し、俳句に詠まれている季節が分かる。	7)					○
		(1)イ(キ) (3・4年)	・文の中での修飾と被修飾との関係について理解している。	8)					○
		(2)ウ (5・6年)	・行の中心に正しく位置付けて毛筆で平仮名を書いている。	9)					○
(1)イ (3・4年)	・文相互の関係を正しく理解し、適切な接続詞を用いて一文を二文に書き分けている。	11)					○		

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

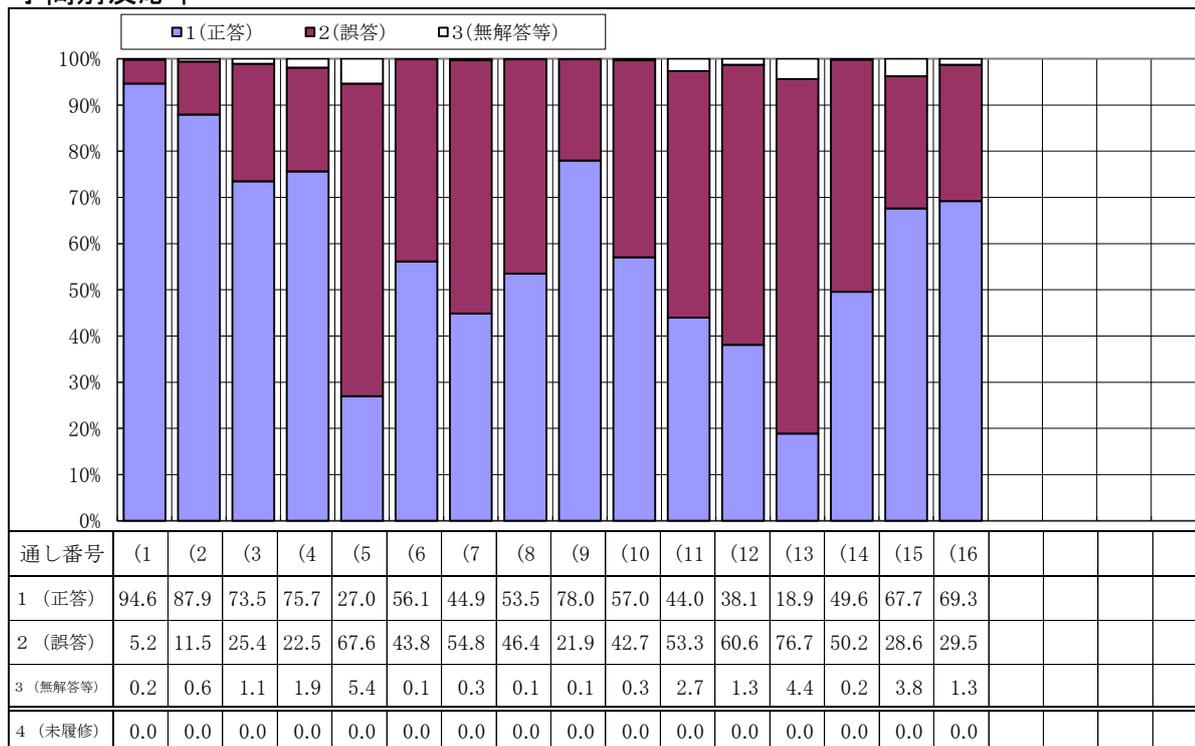
平均通過率 58.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (いちがん)	94.6%	80.0%	
(2)	漢字の読み (なかば)	87.9%	80.0%	
(3)	漢字の書き (勝敗)	73.5%	80.0%	
(4)	漢字の書き (挙げる)	75.7%	75.0%	
(5)	語句の使い方 (漢語・和語)	27.0%	60.0%	
(6)	国語辞典の使い方	56.1%	75.0%	
(7)	俳句の季語	44.9%	60.0%	
(8)	修飾と被修飾との関係	53.5%	60.0%	
(9)	毛筆の文字の中心	78.0%	80.0%	
(10)	段落相互の関係の理解	57.0%	65.0%	
(11)	文の相互関係の理解	44.0%	60.0%	
(12)	内容の理解 (記述)	38.1%	60.0%	
(13)	目的に応じた効果的な読み方の工夫	18.9%	60.0%	
(14)	話題の収集、選材	49.6%	75.0%	
(15)	目的に応じた問い返し	67.7%	75.0%	
(16)	事実と意見を区別して書く	69.3%	75.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	92	51	13	21	1	4	2	5	11	9	6	3	1	5	13	14	
90~100%	90	74	23	51	1	1	3	5	18	4	8		1	1	20	22	
80~90%	37	65	51	43	8	11	6	21	76	11	19	2	1	6	35	46	3
70~80%	7	27	64	47	6	27	15	30	74	25	21	10	1	9	44	43	29
60~70%		5	41	33	7	46	20	42	34	45	28	20	2	35	34	40	77
50~60%	1	4	27	15	12	77	42	46	8	71	35	29	12	62	40	28	97
40~50%			6	10	17	42	46	34	3	31	20	52	14	56	15	15	20
30~40%		1		4	35	13	54	23	2	19	27	50	15	39	13	8	1
20~30%			2	2	47	5	35	12	1	9	35	37	36	12	8	6	
10~20%				1	62	1	1	4		3	19	10	65	2	2	3	
0~10%					31		3	5			9	14	79		3	2	

# 小学校5年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10% より高い	0	0	0	1	1
±10% の範囲内	1	1	1	5	8
-10% より低い	1	0	2	4	7
計	2	1	3	10	16

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」「読むこと」の領域で特に課題が見られる。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」については、和語や漢語、外来語などの語彙指導に課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み、毛筆の中心への位置付けについてはおおむね良好である。
- ② 「書くこと」では、事実と意見を区別して書くことについてはおおむね良好である。

### (3) 課題

- ① 「話すこと・聞くこと」では、話題を集め、収集した知識や情報を関係付ける力を育てる必要がある。
- ② 「読むこと」では、目的に応じて文や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する力が十分でない。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文脈に即して和語を適切な漢語に置き換えることに課題がある。

## 3 今後の指導

「話すこと・聞くこと」では、収集した知識や情報を関係付ける力を高める。

- ・ 日常生活や地域で経験したことなどに関心を持ち、考えたり調べたりしたことを関係付けて、インタビューや討論に活用する場や機会を設定したい。
- ・ 既に知っていることと、調べて獲得した情報とを関係付け、メモやノートに整理することで、新たな課題を見いだすような学習活動の場を保障したい。

「読むこと」では、目的に応じて文や文章を比べて読むなど、効果的な読み方を工夫する指導の充実を図る。

- ・ 課題を解決するために、資料を集めて比べ読みしたり、多くの本を並行して読んだりする場や機会を意図的に設けて指導したい。
- ・ 比べたり並行したりして資料を読む際は、「読むこと」(1)の「ウ 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」と関連付けて指導することも大切である。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文脈に即して、和語や漢語、外来語を適切に選択して用いることができる語彙力を育てる。

- ・ 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の中学年(1)イ(カ)「表現したり理解したりするために必要な文字や語句について、辞書を利用して調べる方法を理解し、調べる習慣を付けること。」との系統性を踏まえて、例えば、文脈に即して、使われている和語と同義の漢語や外来語を想起させるなどの学習も、語彙力を高める上で有効である。
- ・ 「書くこと」(2)の「オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。」と関係付けて、用いた言葉が自分の考えを効果的に伝えているか、表現の曖昧さはないか、ということに配慮して推敲を重ねる指導をすることも大切である。

13) 「表面張力」について、ある辞書を調べたところ、次のような説明がありました。

「乾いた針を静かに水面におくと浮かぶのはこの力による」

本文には、この辞書の説明と食い違いがうかがえますが、それはどんなことでしょうか。本文中の言葉を使って三十文字以内で説明しなさい。

14) 高橋さんが考えた質問には、どのような工夫がありますか。ア～エから一つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

ア 調べたことでは分からなかったことを質問にしている。

イ 調べた内容に相手が反論できるような質問にしている。

ウ 調べたことに自分の感想を加えた質問をしている。

エ 調べた内容から答えが外れないよう質問を考えている。

5) 次の(例)にならない、( )の和語と同じ意味になるように、文の内容にふさわしい漢語を□に書き入れなさい。

(例) 右側の車線を車が( )する。

(見て楽しむ) 走り( )する。

となり町の秋祭りを( )する。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点					
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 の 解 い て の 技 能		
第 6 学 年	聞話 くす ことと	オ(5・6年)	・お互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合っている。	12)	○					
	書 く こと	ウ(5・6年)	・事実と感想、意見などを区別するとともに、条件に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。	20)		○				
	読 む こと	エ(5・6年)	・登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉えている。	14)			○			
				15)			○			
				16)			○			
				17)			○			
				19)			○			
			・優れた叙述について自分の考えをまとめている。	18)			○			
	国伝 語統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 す 化 と 事 項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○		
				2)				○		
				3)	・第5学年までに配当されている漢字を文や文章の中で正しく書いている。	4)				○
						5)				○
				(1)イ(エ) (5・6年)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	9)				○
6)									○	
(1)イ(カ) (5・6年)				・表現したり理解したりするために必要な語句について辞書を使って調べている。	7)				○	
					8)	・語句の係り方や照応の仕方に気付き、文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。	13)			○
(1)イ(ク) (5・6年)	・日常よく使われている敬語の使い方に慣れている。	10)						○		
		11)				○				

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

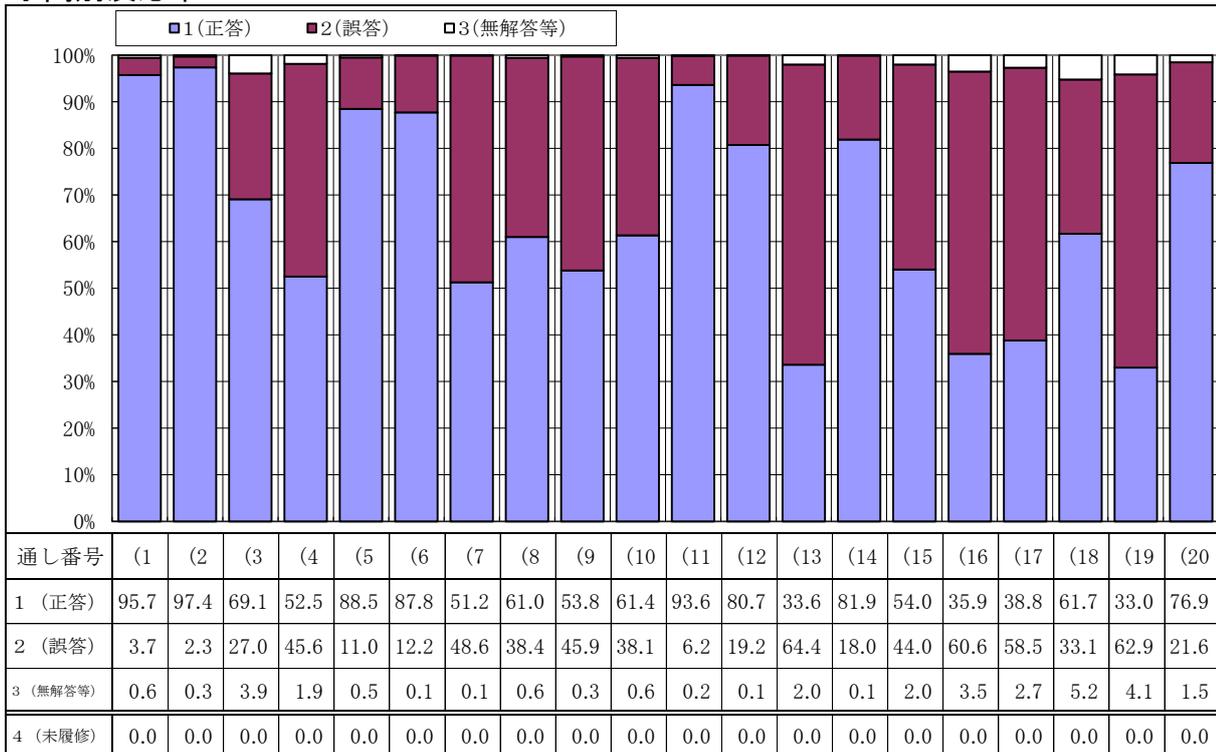
平均通過率 65.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (うたがい)	95.7%	85.0%	
(2)	漢字の読み (せいか)	97.4%	85.0%	
(3)	漢字の書き (負う)	69.1%	70.0%	
(4)	漢字の書き (関心)	52.5%	75.0%	
(5)	漢字の書き・正しい送り仮名 (短い)	88.5%	80.0%	
(6)	熟語の構成	87.8%	80.0%	
(7)	慣用的な表現	51.2%	60.0%	
(8)	文の構成	61.0%	70.0%	
(9)	語句の使い方 (漢語・和語)	53.8%	60.0%	
(10)	敬語 (記述)	61.4%	70.0%	
(11)	敬語 (記述)	93.6%	80.0%	
(12)	計画的な話し合い	80.7%	70.0%	
(13)	文の相互関係の理解	33.6%	60.0%	
(14)	内容の理解 (選択)	81.9%	80.0%	
(15)	内容の理解 (記述)	54.0%	60.0%	
(16)	内容の理解 (記述)	35.9%	60.0%	
(17)	内容の理解 (記述)	38.8%	60.0%	
(18)	内容の理解 (記述)	61.7%	65.0%	
(19)	内容の理解 (記述)	33.0%	65.0%	
(20)	文章を比べて読み、自分の考えを書く	76.9%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	82	120	10	4	42	43	3	8	1	7	75	15	14	15	6			8		24	
90~100%	123	98	17	7	75	70	2	4	3	8	104	24	3	33	1		1	7	1	43	
80~90%	21	9	31	13	84	82	14	16	6	18	40	97	24	101	8	7	3	19	1	57	5
70~80%	1		48	24	20	20	13	40	18	37	6	68	13	54	31	4	4	46	7	43	64
60~70%			43	51	6	10	33	61	33	53	1	20	21	22	48	8	8	58	11	28	122
50~60%			47	41		1	60	62	84	49	1	3	21	2	63	31	35	40	27	17	36
40~50%			17	34		1	54	26	56	25			18		33	43	51	26	32	6	
30~40%			11	30			34	8	17	14			11		22	59	77	11	55	7	
20~30%			3	18			9	2	9	14			10		11	48	32	3	53	2	
10~20%				4			5			1			22		3	18	11	4	26		
0~10%				1						1			70		1	9	5	5	14		

# 小学校6年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10% より高い	1	0	0	3	4
±10% の範囲内	0	1	3	7	11
-10% より低い	0	0	3	2	5
計	1	1	6	12	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。
- ② 「読むこと」「伝統的な言語文化と国語に特質に関する事項」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ① 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、熟語の構成と敬語による適切な表現についてはおおむね良好である。
- ② 「話すこと・聞くこと」では、前年度の課題であった、話合いを円滑に進めるための司会の役割の理解について、指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ① 「読むこと」では、登場人物が置かれた状況や立場を多面的に理解する力や、人物の心情の変化等を物語全体を通じて場面と関連付けながら解釈する力を付ける必要がある。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、接続語を用いて一文を二文に分けて書くといった文の構成についての理解が十分でない。

## 3 今後の指導

「読むこと」では、物語全体を読み通して文章の内容や構成の効果を捉え、自分の考えをまとめたり表現したりする学習内容を工夫する。

- ・物語全体を読み通して捉えた人物の心情の変化等を、場面を関連付けながら説明する必要性が生じるような単元を貫く言語活動を設定する。
- ・人物の、置かれた状況や直接的に描写されていない心情などについて、他の解釈が可能かどうかを多様に想像し、より妥当な解釈を導くなどの話合いを効果的に取り入れる。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文の定義の理解、接続詞の役割の理解、文の構成の理解について系統的に指導する。

- ・二つ以上の文を必要に応じて一文にまとめたり、二つ以上の内容が含まれた一文を内容ごとに複数にまとめたりするなど、場面を捉えて言語操作を日常的に行うよう指導する。
  - ・「文と文との意味のつながりを考えながら分かりやすい文にする」といった「書くこと」の推敲をイメージさせながら、文章を書き直したり表現の効果を工夫したりする指導を行う。
- (「平成25年度 全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた授業アイディア例 小学校」P7～P8参照)

19) ぼくのかたちは後半部では明らかに変わっています。どのように変化したのかを考え、  
□の中に書きなさい。

15) 意外な展開とありますが、ぼくが、この時までどのような展開になると思っていたのかを想像し、  
□の中に考えられることを二つ、  
□の中に書きなさい。

小5との共通問題

(二文目)  
つなぎ言葉

13) おじさんは、さつきあみをはねてにげられたので、今度はいつそう注  
意深くあみをたぐっていたの文を、  
適切につなぎ言葉を用いて、それぞ  
れ主語・述語のある二文に分けて書  
きなさい。

(二文目)

平成25年度中学校学習状況調査 第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点				
					聞 話 く す こ こ と と	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 識 語 に 理 解 い て 技 能	
中 学 校 第 1 学 年	聞 話 く す こ こ と と	(1)オ(小5・6)	・互いの立場や意図をはっきりさせながら、計画的に話し合いを進めている。	12)	○				
		(1)オ(中1)	・話し合いの方向を捉えて的確に話したり、相手の発言を注意して聞いたりして自分の考えをまとめている。	13)	○				
	こ 書 と く	(1)ウ(中1)	・伝えたい事柄について、根拠を明確にして自分の考えを書いている。	20)		○			
	読 む こ と	(1)ア(中1)	・文脈の中における語句の意味を正確に捉え理解している。	14)			○		
		(1)エ(中1)	・文章の構成や展開、表現の特徴を捉え、その工夫や効果について自分の考えをもっている。	15)			○		
		(1)ウ(小5・6)	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえている。	16)			○		
		(1)ア(中1)	・文脈の中における語句の意味を正確に捉え理解している。	17)			○		
		(1)ウ(小5・6)	・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえている。	18)			○		
		(1)イ(中1)	・文章の中心的な部分と付加的な部分を読み分け、目的や必要に応じて要旨を捉えている。	19)			○		
	国 語 統 的 特 質 に 語 関 文 化 と 事 項	(1)ウ(ア)(小5・6)	・学年別配当表に示されている漢字を正しく読んでいる。	1)				○	
				2)				○	
		(1)ウ(イ)(中1)	・学年別配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)					○
				4)					○
(1)ウ(イ)(中1)		・文脈に即して、漢字を適切に使っている。	5)				○		
(1)イ(ウ)(小5・6)		・送り仮名や仮名遣いについて、正しく理解している。	6)				○		
(1)イ(エ)(中1)		・文節の区切り方について理解している。	7)				○		
(1)イ(ウ)(中1)		・四字熟語の意味を理解している。	8)				○		
(1)ア(ア)(中1)		・歴史的仮名遣いを理解している。	9)				○		
(2)イ(中1)	・漢字の行書の基礎的な書き方を理解している。	10)				○			
(1)イ(ア)(中1)	・音声の働きについて理解している。	11)				○			

中学校 1年 国語 小問別通過率と設定通過率

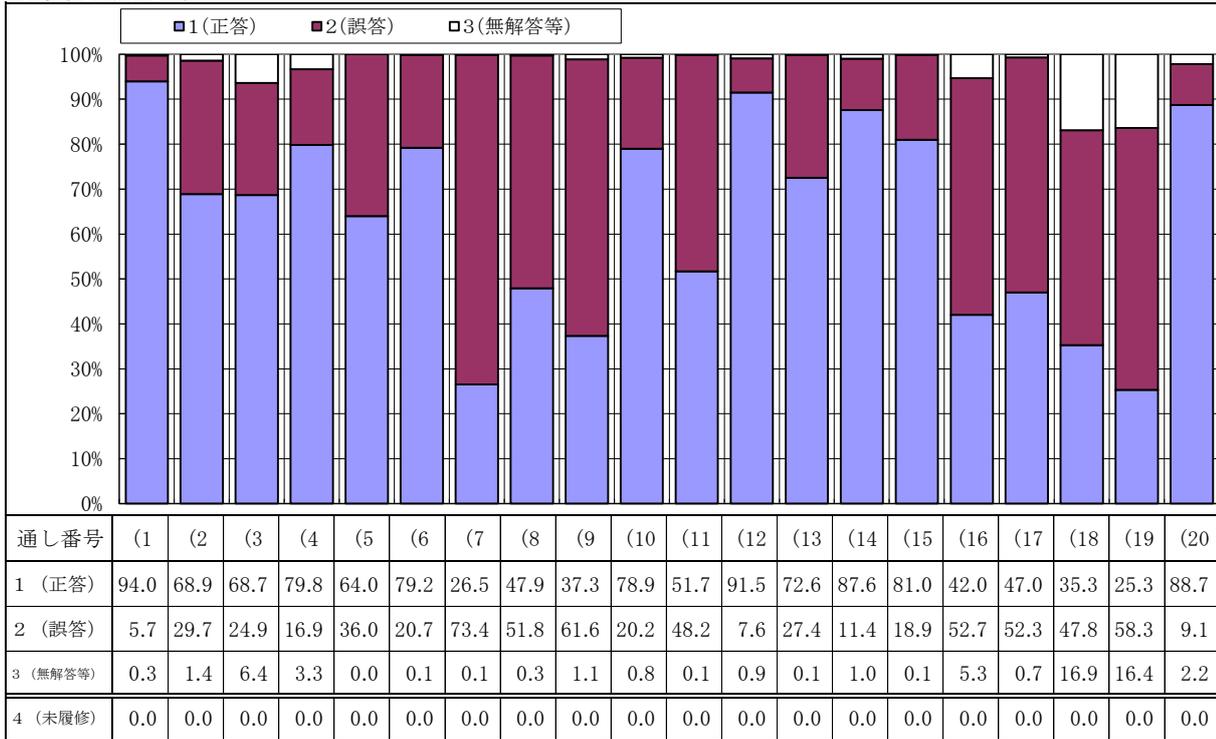
平均通過率 63.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	漢字の読み (除く一のぞく)	94.0%	80.0%	
(2)	漢字の読み (順延—じゅんえん)	68.9%	75.0%	
(3)	漢字の書き (補う)	68.7%	70.0%	
(4)	漢字の書き (筋道)	79.8%	75.0%	
(5)	同訓の漢字 (図る)	64.0%	70.0%	
(6)	漢字の読み (おう—おお)	79.2%	80.0%	
(7)	文節の区切り方	26.5%	60.0%	
(8)	四字熟語の意味	47.9%	60.0%	
(9)	歴史的仮名遣いの読み	37.3%	60.0%	
(10)	書写 (行書の書き方)	78.9%	80.0%	
(11)	音声の働き	51.7%	60.0%	
(12)	計画的に話合いを進める	91.5%	80.0%	
(13)	話題や方向を捉えて話す	72.6%	80.0%	
(14)	語句の意味の理解	87.6%	80.0%	
(15)	段落構成の理解	81.0%	75.0%	
(16)	文章表現の効果	42.0%	60.0%	
(17)	語句の意味の理解	47.0%	60.0%	
(18)	文章の要約	35.3%	60.0%	
(19)	筆者の主張の理解	25.3%	60.0%	
(20)	根拠を明確にして考えを書く	88.7%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	17			5	1	1				4		13	2	6	4				1	9	
90~100%	83	4	5	10	2	9			1	17		67	6	35	9					50	
80~90%	20	17	22	50	7	44		1	2	43	2	31	17	66	49					53	
70~80%	1	33	40	42	24	55		1	3	39	2	6	48	14	52	2	1			4	7
60~70%		42	32	11	36	9		3	7	16	20	4	35		7	11	7	4	3	2	91
50~60%		21	14	2	42	2	5	44	18	2	43		12			25	32	11	4	2	23
40~50%		4	7	1	6	1	8	49	18		37		1			36	50	17	13	1	
30~40%			1		1		29	18	35		14					28	26	48	17		
20~30%					1		47	4	18		2					14	4	35	33		
10~20%							27	1	12		1					5	1	4	32		
0~10%					1		5		7									2	18		

# 中学校1年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10% より高い	1	0	0	1	2
±10% の範囲内	1	1	2	7	11
-10% より低い	0	0	4	3	7
計	2	1	6	11	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」についての学習状況はおおむね良好である。
- ② 「読むこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、問題によって正答率にばらつきが見られた。特に、新しい傾向の問題では正答率が低かった。

### (2) 成果

- ① 「話すこと・聞くこと」では、話し合いにおける司会の役割について考える問題で、指導の成果が見られる。
- ② 「書くこと」では、自らの立場を明確にするとともに、自らの意見を支える根拠を明らかにして書くことに指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ① 「読むこと」では、文章の構成や展開の仕方を捉えることや、その工夫や効果について考えることが十分とはいえない。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、正確な知識の獲得が課題である。特に四字熟語、文節の見分け方、歴史的仮名遣いについては、確実に身に付けさせる必要がある。

## 3 今後の指導

「読むこと」の説明的文章の指導においては、文章全体の構成や展開の仕方を捉えさせるとともに、目的に応じて必要な内容を読み取る指導を充実させる。

- ・ 目的に応じて必要な情報を読み取り、条件に応じて表現する活動の充実を図る。その際、主体的な学習が可能になるよう、適切な言語活動を位置付ける。
- ・ 文章の構成や展開の仕方に着目し、その工夫や効果について話し合い、自分の考えをまとめる学習活動を設定する。
- ・ 課題に沿って本を選び、必要な情報を読み取ったり、読み比べたりする読書活動を取り入れる。

19) この「問い」に対する「答え」を本文中の言葉を使って、二十字以内で書きなさい。

「問い」  
なぜ、根拠だけでは説文に説得力をもたせることができないのか。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、単に知識の理解のみにとどまらず、他の3領域の内容と関連させた指導や実生活での場面を想定した指導を行う。

- ・ 歴史的仮名遣いの指導においては、古典の文章を繰り返し音読して、その独特のリズムに気付かせることで正しい読み方を習得させる。
- ・ 文法の指導では、自校の指導計画で定めた時間のほか、折に触れて復習する機会を意図的に設定したり、家庭学習と関連させたりするなどして、定着を図るようにする。

9) 部を現代仮名遣いに直し、ひらがなで書きなさい。

あやしうこそ

7) 次の文は、いくつの文節に分けられますか。空を飛ぶ鳥のように、自由でありたい。

平成25年度中学校学習状況調査 第2学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 の 技 能
中 学 校 第 2 学 年	聞 話 く す こ こ と	イ（中2）	・話の中心的な部分と付加的な部分などに注意し、話の内容を正確に聞き取っている。	1)	○			
				2)	○			
		エ（中1）	・必要に応じて質問しながら聞き取り、自分の考えとの共通点や相違点を整理している。	3)	○			
	書 く こ と	ウ（中1）	・伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを明確にして書いている。	20)		○		
	読 む こ と	ア（中1）	・文脈における語句の意味を正確にとらえ、内容を理解している。	14)			○	
				16)			○	
		イ（中2）	・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。	15)			○	
				17)			○	
		ウ（中2）	・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を基にして自分の考えをまとめている。	18)			○	
				19)			○	
国 語 統 的 な 質 言 に 語 関 文 化 と 事 項	(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いを理解している。	13)				○	
	(1)ウ(ア)(中2)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4)				○	
				5)				○
	(1)ウ(イ)(中1)	・学年別配当表に示されている漢字のうち900字程度について、正しく書いている。	6)					○
		・文脈に即して漢字を適切に使っている。	7)					○
			9)					○
	(1)イ(ア)(中2)	・日常よく使われている敬語の使い方を理解している。	10)					○
(1)イ(イ)(中2)	・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解している。	8)					○	
			12)				○	
(1)イ(エ)(中1)	・単語の類別について正しく理解している。	11)					○	

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

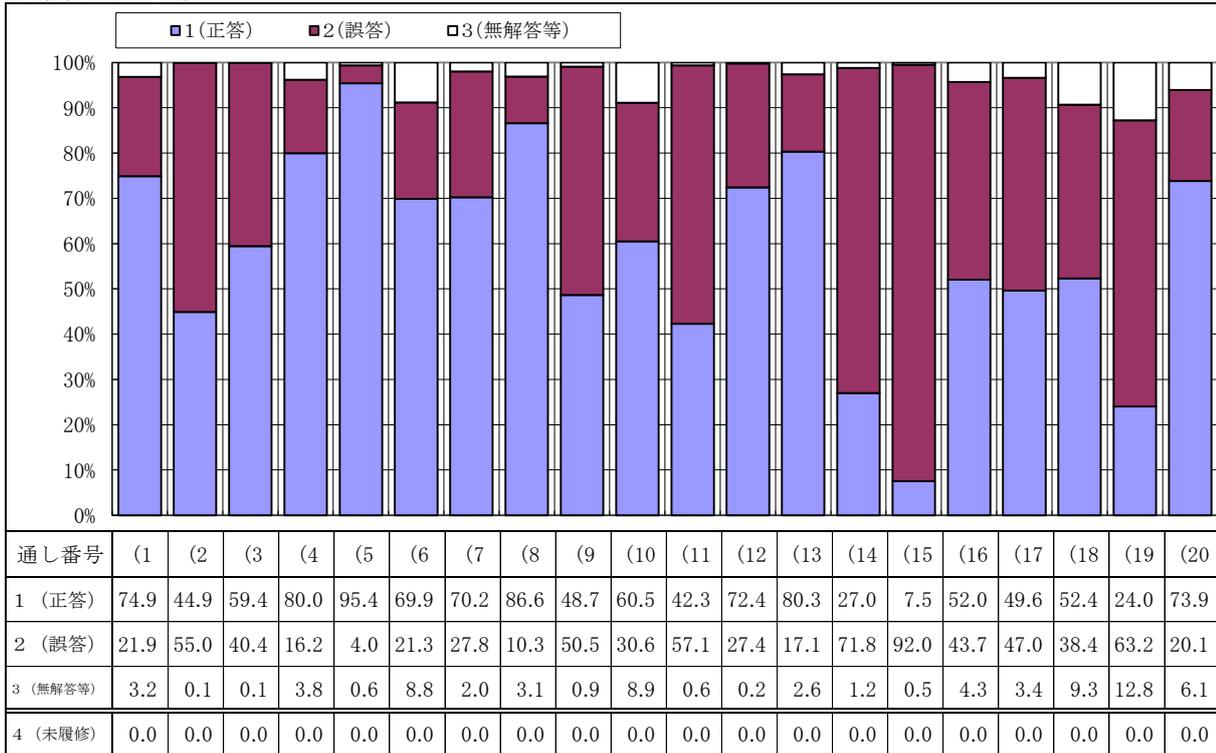
平均通過率 58.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	聞き取り・話の中心	74.9%	70.0%	
(2)	聞き取り・話の構成	44.9%	60.0%	
(3)	聞き取り・必要に応じた質問	59.4%	65.0%	
(4)	漢字の読み (趣—おもむき)	80.0%	85.0%	
(5)	漢字の読み (依然—いぜん)	95.4%	85.0%	
(6)	漢字の書き (きぼ—規模)	69.9%	70.0%	
(7)	漢字の書き (せんもん—専門)	70.2%	70.0%	
(8)	四字熟語の意味	86.6%	85.0%	
(9)	同音の漢字	48.7%	65.0%	
(10)	敬語を正しく使う	60.5%	70.0%	
(11)	品詞の類別	42.3%	60.0%	
(12)	対義語の意味	72.4%	75.0%	
(13)	歴史的仮名遣いの読み	80.3%	85.0%	
(14)	会話の始まり	27.0%	60.0%	
(15)	古文の内容の理解	7.5%	60.0%	
(16)	内容の理解 (短答)	52.0%	70.0%	
(17)	情景描写の理解	49.6%	70.0%	
(18)	内容の理解 (記述)	52.4%	60.0%	
(19)	自分の考えをまとめる	24.0%	60.0%	
(20)	自分の考えを明確にして書く	73.9%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 国語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (123校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	5			11	24		1	8				1	4	1		1		1		6	
90~100%	20			18	92	2	9	39		4		5	15							9	
80~90%	37	1	3	47	6	24	25	59	1	12	2	28	46				2	2		36	
70~80%	29		8	25	1	39	26	13	4	26	3	40	42			4	6	8	1	29	3
60~70%	11	6	47	10		30	39	3	14	31	4	31	14	2		23	21	24	1	22	53
50~60%	13	31	54	8		18	15	1	34	27	21	13	2	3		42	48	44	7	16	61
40~50%	5	44	9	3		7	6		45	14	35	5		15		40	18	25	13	3	6
30~40%	1	31	1	1		2	1		20	5	33			19	1	10	15	17	18	2	
20~30%	2	8	1			1			3	3	19			51	5	3	8	2	24		
10~20%									2		3			26	23		4		42		
0~10%		2					1			1	3			6	94		1		17		

# 中学校2年 国語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10% より高い	0	0	0	1	1
±10% の範囲内	2	1	1	7	11
-10% より低い	1	0	5	2	8
計	3	1	6	10	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、問題によって正答率にばらつきが見られるものの、おおむね良好な学習状況である。
- ② 「読むこと」では、ほぼ全ての問題において正答率が低かった。

### (2) 成果

- ① 「話すこと・聞くこと」では、話の中心部分や付加的な部分などに注意して内容を正確に聞き取る問題で、指導の成果が見られる。
- ② 「書くこと」では、伝えたい事実や事柄について、自分の考えや気持ちを明確にして書くことに指導の成果が見られる。

### (3) 課題

- ① 「読むこと」では、古文に関わる問題において、描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解することに課題がある。特に、登場人物の言葉や行動が、作品全体に表れたものの見方にどのように関わっているか考えさせながら、文章の理解を深めさせる必要がある。
- ② 同じく「読むこと」では、文学的文章の問題において、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を基にして自分の考えをまとめる力が十分に身に付いているとはいえない。

## 3 今後の指導

「読むこと」の古文の指導においては、登場人物の言動について話の展開や作品全体に表れたものの見方と関連付けて読み進める指導を充実させる。

- ・登場人物の言動の意味について考え、登場人物や作者の思いを想像する学習活動を取り入れる。
- ・様々な方法で古典の世界に触れさせることにより、そこに表れる登場人物や作者のものの見方や考え方に気付かせる学習活動を設定する。

エウイア 15)  
 しもがか 味う  
 みのつかわ 後たて  
 じ悲か しいや  
 みしりそう アく  
 とい う エ  
 感動 感動を  
 書き  
 意

文学的文章の表現の仕方について自分の考えをまとめさせる際の指導については、自分の考えを支える根拠となる段落や部分を明確にもたせるとともに、書き手の意図との関連を考えさせる指導を充実させる。

- ・文章の構成や展開、表現の仕方に込められた書き手の目的や意図を考えたり、その効果について考えたりする学習活動を取り入れる。
- ・自分の考えの根拠となる部分や表現の特徴などを具体的に考えるために、互いの考えを交流する言語活動を設定する。交流によって自分の考えが更に深まっていくことが期待できる。

い。四経活ににい て、は、山  
 十字 験ふり入るま 次、最後 本さん  
 以 にも 現在の。 「 へ 田中  
 内 触れ 良平の 話し合  
 で ながら 昔の 生  
 書き 昔の 生

## 4 結果と考察 (2) 社会

平成25年度小学校学習状況調査 第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第3・4学年	目標(3)	・地図帳を活用し、対象となる湖の名称を適切に調べている。	(1)		○	
	目標(3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	(1)ア	・基本的な地図記号を理解している。	(3)			○
	(1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)		○	
	目標(3)	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(5)		○	
	(6)イ	・秋田県の主な湖について、名称と位置を理解している。	(6)			○
	(6)ア	・秋田県に隣接している県について、理解している。	(7)			○
	(5)イ	・地域に残る年中行事や伝統芸能について、必要な情報を読み取っている。	(8)		○	
	(5)イ	・地域の年中行事を継承していく上での問題点を資料と関連付けて考え、適切に表現している。	(9)	○		
	(3)ア	・ごみの出し方のきまりについて、必要な情報を読み取っている。	(10)		○	
(3)ア	・ごみの出し方のきまりを守ることが健康な生活や良好な生活環境の維持・向上に役立っていることを、自分たちの生活と関連付けて考え、適切に表現している。	(11)	○			
第5学年	(2)ウ	・米の生産の過程や生産物の輸送などに様々な費用がかかることを理解している。	(12)			○
	(2)イ	・稲作と気候条件との関わりについて、資料を適切に読み取っている。	(13)		○	
	目標(3)	・漁獲量の変化について、必要な情報を読み取っている。	(14)		○	
	(2)ウ	・漁業に従事している人々の工夫や努力について考え、適切に表現している。	(15)	○		
	(2)ウ	・漁業に従事している人々の工夫や努力の目的について考え、適切に表現している。	(16)	○		
	(1)イ	・自然環境とその地域に住む人々のくふうについて考え、適切に表現している。	(17)	○		
	(1)ア	・世界の主な国の名称と位置を理解している。	(18)			○
	(1)ア	・日本の北端、南端、東端、西端にある島について、名称と位置を理解している。	(19)			○
(1)ア	・日本の位置に関する基礎的な知識を活用して考え、適切に表現している。	(20)	○			

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

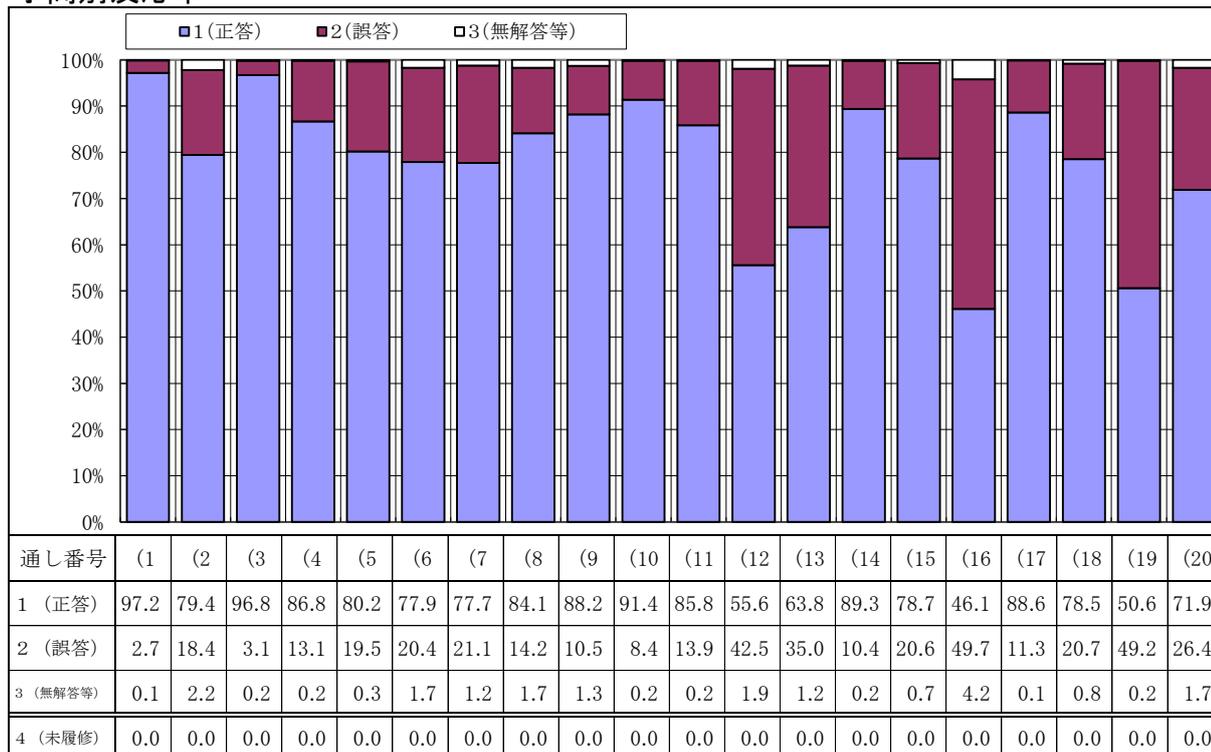
平均通過率 78.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	地図帳の索引の活用	97.2%	80.0%	
(2)	地図帳の統計資料の活用	79.4%	75.0%	
(3)	基本的な地図記号	96.8%	85.0%	
(4)	地図上での方位	86.8%	75.0%	
(5)	地図記号や地図上での距離	80.2%	75.0%	
(6)	秋田県の子な湖の名称と位置	77.9%	70.0%	
(7)	秋田県に隣接する県	77.7%	70.0%	
(8)	引き継がれてきた年中行事	84.1%	75.0%	
(9)	引き継がれてきた年中行事	88.2%	75.0%	
(10)	廃棄物の処理	91.4%	75.0%	
(11)	廃棄物の処理と自分の生活との関わり	85.8%	70.0%	
(12)	米づくりの価格や費用	55.6%	60.0%	
(13)	稲作と自然条件との関連	63.8%	70.0%	
(14)	漁獲量のグラフにおける変化の傾向の読み取り	89.3%	80.0%	
(15)	食料生産に従事している人々の工夫や努力	78.7%	70.0%	
(16)	食料生産に従事している人々の工夫や努力	46.1%	60.0%	
(17)	地形や気候に合わせた住まい	88.6%	80.0%	
(18)	主な国の名称と位置	78.5%	70.0%	
(19)	日本の領域	50.6%	60.0%	
(20)	日本の位置に関する表現	71.9%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	124	43	107	36	28	24	28	39	49	41	21	5	7	42	29	6	58	29	9	23	
90~100%	90	52	109	70	22	40	28	50	77	103	62	8	6	82	41	1	80	46	4	21	23
80~90%	12	47	10	78	87	68	64	88	70	74	107	16	31	80	64	13	67	70	18	55	100
70~80%	1	43	1	33	63	40	52	35	22	6	28	29	45	19	49	28	16	48	28	47	84
60~70%		19		5	21	31	41	11	9	3	7	46	60	4	28	32	4	20	39	43	18
50~60%		12		4	4	19	8	2			1	55	50		12	44	2	10	34	23	2
40~50%		8			2	4	3	1				37	22		3	38		1	27	8	
30~40%						1	2	1			1	19	5		1	22		3	30	4	
20~30%		1					1					10	1			20			23	3	
10~20%												2				8			12		
0~10%		2		1												15			3		

# 小学校5年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技 能	知識・理解	共通問題	地理的内容	3・4年	
+ 10 % より高い	2	2	2	2	0	4	6
± 10 % の範囲内	3	5	5	4	6	3	13
- 10 % より低い	1	0	0	0	1	0	1
計	6	7	7	6	7	7	20

## 2 考察

### (1) 全体について

全体の95%の問題が設定通過率の「+10%より高い」、「±10%の範囲内」で、学習状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

- ① 経年比較しているほとんどの問題において通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。
- ② 地図帳や地図を活用して、必要な情報を収集する技能が身に付いてきている。

### (3) 課題

- ① 人々の生産を高める工夫、及び生産地と消費地を結ぶ運輸の働きと関連付けた価格や費用についての理解が不十分である。
- ② 具体的な社会的事象が表している意味を考え、文章に表現する力に不十分などところがある。

## 3 今後の指導

社会的事象を具体的に調べるとともに、その意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てる学習活動の充実を図る。

### ○ポイント [(15) を例として]

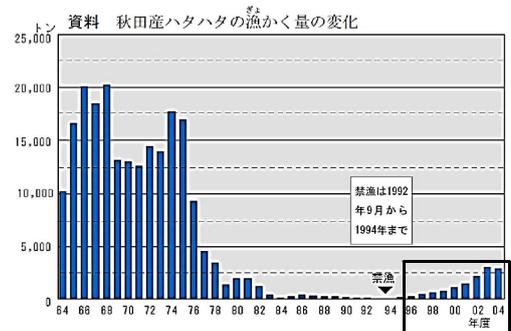
学習問題を設けて追究し、各自が調べた情報を、集団の学びにおいて比較・関連付け・総合しながら言語を使って一般化することで、理解を深める。

### ○具体例

- ① グラフを読み取る活動において、「1990年代後半から、少しずつ漁獲量が増えてきているのはどうしてか」などの疑問を引き出し、児童の問題意識に沿った学習問題を設定する。

(「平成24年度 小学校5年 社会 調査結果の考察」参照)

- ② 各自が調査活動を通して入手した情報を持ち寄り、一つ一つの具体的な事実を共有する。
- ③ 共有された具体的な事実を、言語を使って一般化して理解する。



- ・「目の大きな網を使うことで、小さなハタハタを捕らないようにしている」  
→「資源を守っている」
  - ・「稚魚を育てて、海に放流している」  
→「資源を育てている」
- 等

- ③ 集団の学び合いで、漁獲量が増えてきているのは、漁業に従事している人々が知恵を絞り、工夫しながら「資源を守り、育てている」ことが理由であることを理解する。

- ④ 学習問題に対する結論を図や文章などで表現し、まとめる。

- ・このような「具体的な事実を言語を使って一般化する」学習は、発達の段階等に応じて第3・4学年においても取り組みたい。この積み重ねによって、児童に、抽象的な表現から具体を考えたり、具体的な事実を一般化して捉えたりする力が身に付いていくと考えられる。

平成25年度小学校学習状況調査 第6学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
第 5 学 年 （ 第 3 ・ 4 学 年 の 内 容 を 含 む ）	目 標 (3)	・地図帳を活用し、対象となる湖の名称を適切に調べている。	(1)		○	
	目 標 (3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	※ (6)ア	・都道府県の名 称や位置を理解している。	(3)			○
	(3) イ	・大工場の特徴について、資料を適切に読み取り、関連付けて考え、適切に表現している。	(4)	○		
	(1) ア	・日本の北端、南端、東端、西端にある島について、名称と位置を理解している。	(5)			○
	(1) ア	・日本の位置に関する基礎的な知識を活用して考え、適切に表現している。	(6)	○		
	※ (1)ア	・方位に関する基礎的な知識を活用して、適切に地図を読み取っている。	(7)		○	
	目 標 (3)	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(8)		○	
	(4) イ	・インターネットの利便性を理解している。	(9)			○
	(4) イ	・インターネットの有効的な活用について、適切に判断し、表現している。	(10)	○		
第 6 学 年	(1) イ	・平安時代の日本風の文化について、主な人物や作品を理解している。	(11)			○
	(1) イ,エ,カ	・主な文化の特徴についての基礎的な知識を活用して、資料を読み取り、適切に表にまとめている。	(12)		○	
	(1) イ,ウ	・歴史上の主な人物を、それぞれの業績と結び付けて理解している。	(13)			○
	(1) イ	・聖徳太子の政治について、それぞれの政策の目的を理解している。	(14)			○
	(1) イ	・主な文化遺産についての基礎的な知識を活用して、適切に年表にまとめている。	(15)		○	
	(1) ウ	・鎌倉時代の幕府と御家人の関係について理解している。	(16)			○
	(1) ウ	・武士の政治の変化について、元寇への影響と関連付けて考え、適切に表現している。	(17)	○		
	(1) オ	・豊臣秀吉の業績について理解している。	(18)			○
	(1) オ	・信長や秀吉、家康、家光についての基礎的な知識を活用して資料を読み取り、適切に表現している。	(19)	○		
	(1) オ	・参勤交代についての基礎的な知識を活用して考え、適切に表現している。	(20)	○		

※は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

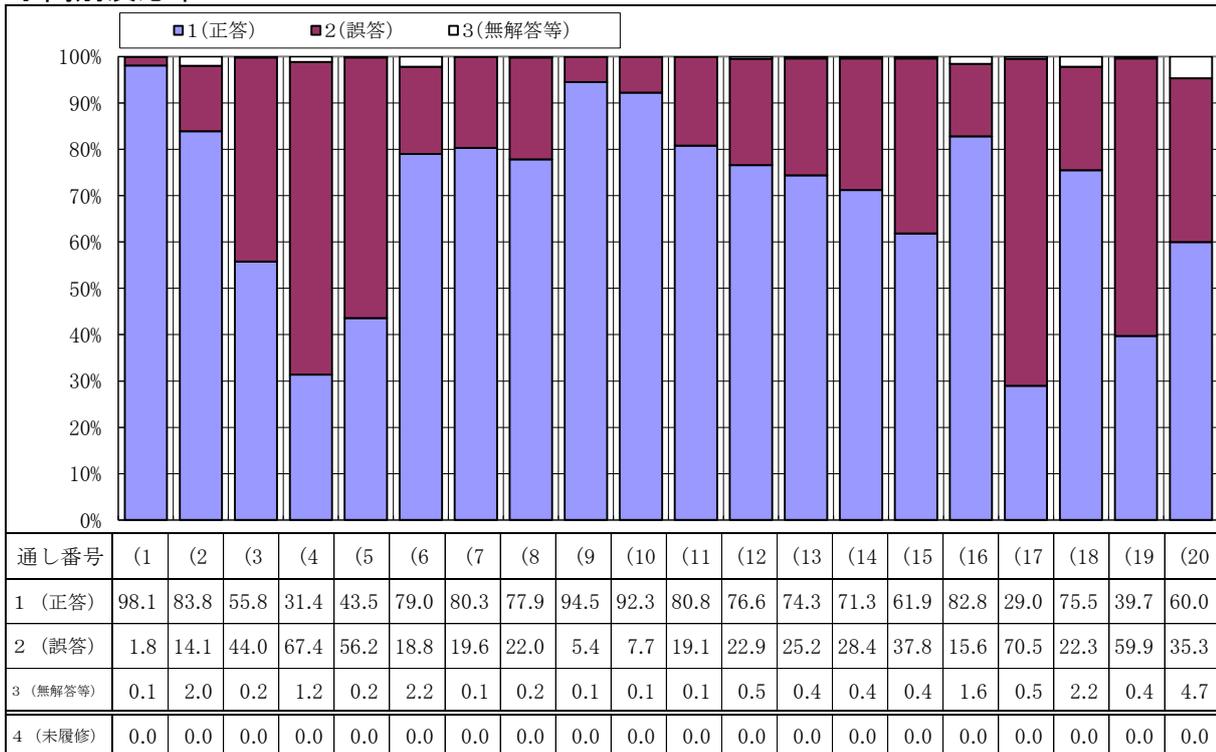
平均通過率 69.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	地図帳の索引の活用	98.1%	80.0%	
(2)	地図帳の統計資料の活用	83.8%	75.0%	
(3)	都道府県の名称と位置	55.8%	65.0%	
(4)	大工場の特徴	31.4%	65.0%	
(5)	日本の領域	43.5%	60.0%	
(6)	日本の位置に関する表現	79.0%	75.0%	
(7)	地図上での方位	80.3%	75.0%	
(8)	地図記号や地図上での距離	77.9%	75.0%	
(9)	インターネットの利便性	94.5%	90.0%	
(10)	インターネット利用時の注意点	92.3%	90.0%	
(11)	平安時代の日本風の文化の特徴	80.8%	80.0%	
(12)	各時代の主な文化の特徴	76.6%	70.0%	
(13)	主な歴史上の人物と業績	74.3%	70.0%	
(14)	聖徳太子の政治	71.3%	75.0%	
(15)	主な文化遺産	61.9%	65.0%	
(16)	幕府と御家人の関係	82.8%	80.0%	
(17)	鎌倉幕府の支配範囲と元寇の関係	29.0%	60.0%	
(18)	豊臣秀吉の政治	75.5%	70.0%	
(19)	全国統一から鎖国までの流れ	39.7%	60.0%	
(20)	参勤交代の目的	60.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	130	42	6	1	6	24	21	19	96	67	27	19	17	9	6	34	1	17	2	4	
90~100%	96	66	7	1	1	41	30	14	100	101	40	17	20	9	6	69		27	1	6	1
80~90%	1	63	17	1	12	75	83	74	28	45	85	75	60	46	28	59	3	67	6	42	27
70~80%		32	26	3	17	51	59	86	2	11	41	57	56	74	39	41	1	58	6	41	99
60~70%		16	43	14	24	23	29	28	1	2	24	37	48	47	60	16	3	30	12	49	84
50~60%		4	69	27	32	8	3	6		1	10	21	23	30	47	5	12	20	40	40	15
40~50%		2	31	35	39	3					1	3	10	27	3	30	5	49	26	1	
30~40%			15	37	31	2	2							2	10		50	3	56	12	
20~30%		1	11	59	37										4		80		35	4	
10~20%			1	32	22												38		15	3	
0~10%		1	1	17	6												9		5		

# 小学校6年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技 能	知識・理解	共通問題	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	1	0	1	0	0	1
±10% の範囲内	3	6	6	4	3	8	15
-10% より低い	3	0	1	1	1	2	4
計	6	7	7	6	4	10	20

## 2 考察

### (1) 全体について

全体の80%の問題が設定通過率の「+10%より高い」、「±10%の範囲内」で、学習状況はおおむね良好である。一方で、丹念な資料の読み取りを基に思考・判断する問題や、学習指導要領の改訂に伴い扱い方が変わった内容に関する問題で、設定通過率の「-10%より低い」問題が3問あった。

### (2) 成果

- ①経年比較しているほとんどの問題において、通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。
- ②地図帳を活用して必要な情報を収集する技能や、地形図を正確に読み取るための技能が定着している。

### (3) 課題

- ①歴史上の人物の働きや業績、歴史的事象の意味についての理解が不十分なところがある。
- ②一つ一つの資料を丹念に読み取り、分かったことを表現する力に不十分なところがある。

## 3 今後の指導

歴史上の人物の働きや業績、歴史的事象の意味について、学習指導要領の内容を踏まえるとともに、中学校での歴史学習との関連を図り、学習内容を精選して授業を構成する必要がある。

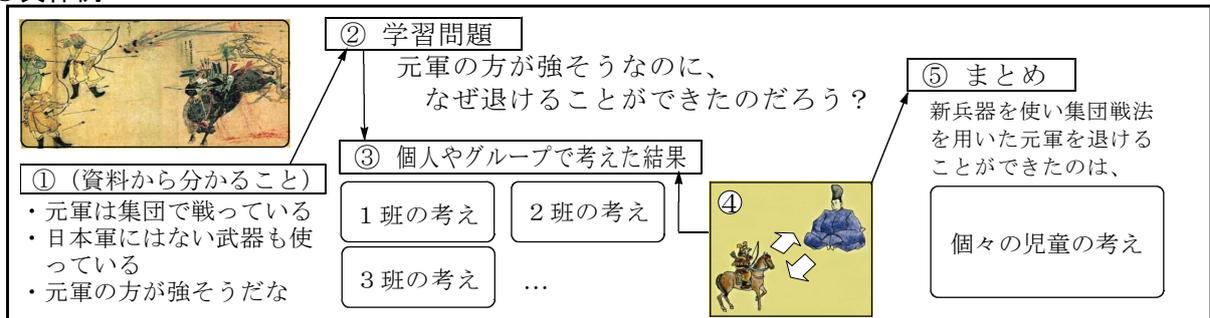
### ○ポイント [ (17 を例として) ]

「武士による政治の始まり」の次の学習が「室町文化」であることを踏まえ、「元との戦い」は「幕府が全国的に力をもってきたこと」として、児童が意味付けられるよう授業を構成する。

・学習指導要領に示されている各内容の学習対象となる時代

	縄文	弥生	古墳	飛鳥	奈良	平安	鎌倉	室町	室町	江戸	明治	大正	昭和	平成
小学校		(1) ア	(1) イ	(1) ウ	(1) エ	(1) オ	(1) カ	(1) キ	(1) ク	(1) ケ				
中学校		(2) ア	(2) イウ	(3) アイ	(4) ア	(4) イ～エ	(5) ア～エ	(5) オ	(5) カ	(6) アイ				
		(1)ア～ウ												

### ○具体例



- ①導入資料を提示し、「戦い方の違い」などの視点を示しながら、資料を読み取らせる。
- ②児童が読み取った内容、疑問などをコーディネートしながら、学習問題を設定する。
- ③児童の実態に合わせて、話し合い活動などを効果的に取り入れながら、課題解決を図る。
- ④ねらいが達成できるように、将軍と御家人の関係を想起させる補助資料などを提示する。
- ⑤導入資料をもう一度活用するなどし、学習の成果を実感できるよう個々にまとめさせる。

・内容(2)ア～ウを、人物や文化遺産に着目させながら、年表にまとめて整理する学習活動は、小学校と中学校の円滑な接続の視点からも重要である。

平成25年度中学校学習状況調査 第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 ・ 理解
小学校第6学年	(1)ク	・自由民権運動に関わった人物について理解している。	(1)			○
	(1)ク	・幕末に結ばれた不平等条約が改正されるまでの出来事について理解している。	(2)			○
	(1)ケ	・戦後、我が国が民主的な国家として出発したことを理解している。	(3)			○
	(1)ケ	・オリンピックが開催されたころの社会の様子について考え、適切に表現している。	(4)	○		
	(2)イ	・日本国憲法の基本的な考え方について、身近な生活と結び付けて理解している。	(5)			○
	(2)イ	・天皇の地位や国事行為などについて、必要な情報を読み取っている。	(6)		○	
	(2)ア	・国会と内閣や裁判所のそれぞれの仕事やそれらの関連について理解している。	(7)			○
中学校地理的分野	(3)イ	・国際連合や世界における我が国の役割などについて、必要な情報を資料から読み取っている。	(8)		○	
	(1)ア	・緯度と経度を理解し、地球儀の模式図におけるブラジリアの位置を適切に選択している。	(9)		○	
	(1)ア	・地球儀を活用し、大陸と大洋の位置関係を考察し、適切に表現している。	(10)	○		
	※ (1)ア	・我が国の位置と領土について理解している。	(11)			○
	(1)ウ	・表と図を関連付けてアフリカ州で二酸化炭素排出量が少ない理由について考察し、その結果を適切に表現している。	(12)	○		
	(1)ウ	・世界の諸地域の地域的特色について、有用な情報を資料から読み取っている。	(13)		○	
中学校歴史的分野	(1)ウ	・資料の情報を基に、世界の諸地域の地域的特色を読み取り、表にまとめている。	(14)		○	
	(1)ウ	・我が国の古代国家のおこりについて、大まかな流れと各時代の特色を結び付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(15)	○		
	(1)ア	・年代と世紀の関係を理解し、その知識を身に付けている。	(16)			○
	(2)ウ	・平城京に政治の中心地があった時代の文化について理解し、その知識を身に付けている。	(17)			○
	(2)イ	・政治の中心地について理解し、その知識を身に付けている。	(18)			○
中学校歴史的分野	(2)イ	・貴族の政治の特色について、藤原氏の系図を読み取って考察し、その結果を適切に表現している。	(19)	○		
	(2)ウ	・仏教の伝来とその影響について、文化の国風化が進んだころの建物と結び付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(20)	○		

※は小学校学習指導要領社会〔第5学年〕の範囲である。

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

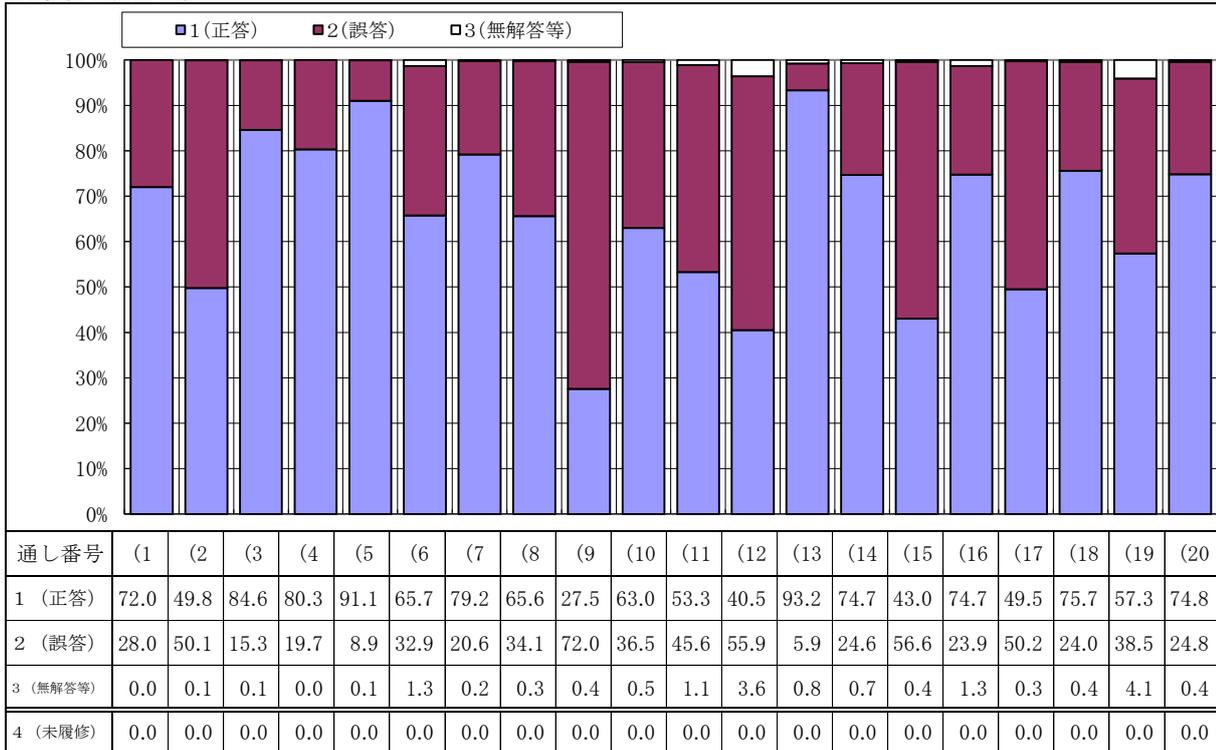
平均通過率 65.8%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	自由民権運動に関わった人物	72.0%	75.0%	
(2)	不平等条約改正に至るまでの出来事	49.8%	65.0%	
(3)	戦後の日本の独立	84.6%	70.0%	
(4)	戦後の日本の様子 (東京オリンピック)	80.3%	80.0%	
(5)	日本国憲法の三大原則と身近な社会生活	91.1%	90.0%	
(6)	天皇の地位と仕事	65.7%	70.0%	
(7)	国会、内閣、裁判所の仕事と関係	79.2%	75.0%	
(8)	国際連合に関する資料の読み取り	65.6%	65.0%	
(9)	地球儀の活用と首都の位置	27.5%	60.0%	
(10)	地球儀の活用と大陸と海洋の分布	63.0%	70.0%	
(11)	日本の領土と北方領土問題についての理解	53.3%	60.0%	
(12)	世界の諸地域の地理的特色の考察	40.5%	60.0%	
(13)	世界の諸地域の地理的特色に関する資料の読み取り	93.2%	90.0%	
(14)	世界の諸地域の地理的特色に関する資料の読み取りと情報の整理	74.7%	60.0%	
(15)	国家が形成されていく過程のあらましと各時代の特色	43.0%	60.0%	
(16)	年代と世紀の関係	74.7%	70.0%	
(17)	平城京に政治の中心地があった頃の文化	49.5%	65.0%	
(18)	政治の中心地	75.7%	75.0%	
(19)	系図の読み取りと藤原氏の全盛	57.3%	65.0%	
(20)	平等院鳳凰堂と浄土信仰	74.8%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%			3	6	12		2	2		1		1	17	1		6	1	1		4	
90~100%	3		17	25	64	2	14	4				1	76	5		20		10	2	22	
80~90%	25	1	77	39	41	8	53	12	1	9	4	7	26	28	1	22	1	39	14	29	3
70~80%	43	5	18	37	4	25	37	30	1	24	5	15	2	55	2	36	8	48	22	28	29
60~70%	34	16	6	11		51	10	40		46	19	11		24	4	15	14	21	31	24	76
50~60%	13	35		2		27	4	28	1	30	49	16		7	19	15	42	2	19	7	13
40~50%	2	41		1		5	1	5	12	7	30	13		1	42	5	31		15	7	
30~40%		19				2			28	3	12	12			39	1	15		7		
20~30%	1	4				1			52		1	18			12	1	9		5		
10~20%									24	1	1	18			2				2		
0~10%									2			9							4		

# 中学校 1 年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技 能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	1	1	1	1	0	2
±10% の範囲内	4	3	6	6	3	4	13
-10% より低い	2	1	2	1	2	2	5
計	6	5	9	8	6	6	20

## 2 考察

### (1) 全体について

今年度も、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた新問を 8 問出題した。その結果、設定通過率から「-10%より低い」問題が 8 問中 3 問と昨年より大幅に減少し、全体の平均通過率が 65.8 と昨年を 10 ポイント程度上回った。前年度の結果を分析し、改訂の要点を踏まえた学習が適切に行われていると考えられる。

### (2) 成果

①経年比較している問題の 12 問中 11 問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導の改善により、学習内容が定着してきている。

②小学校 6 年の後半の学習内容から出題した問題の 8 問中 7 問の通過率が「±10%の範囲内」であり、小学校において学習した知識や関心を生かし、接続が円滑に行われてきている。

### (3) 課題

①時代の大きな流れと各時代の特色の理解、文化の学習等、学習指導要領の改訂の要点を踏まえた指導を一層充実させる必要がある。

②定着が求められる内容を中学校 2 年との共通問題として出題したが、そのうち 1 問が設定通過率を下回った。中学校 2 年の学習の基礎となる日本の領土や都道府県の位置と名称などについて、地球儀や地図を活用して、確実に定着させる必要がある。

## 3 今後の指導

日常的に地球儀や世界地図に親しませ、それらを活用し、緯度と経度、大陸と海洋の大まかな形状や位置関係、主な国の名称や位置などを取り上げ、世界の地域構成を大観させる指導の充実を図る。

### ○ポイント [(9)を例として]

地球儀を活用し、緯度と経度を用いて主な国や都市の位置を表すことができるように指導する。

### ○具体例 緯度と経度を理解し、都市の位置を地球儀の模式図上に表す。

～図 1 で、ブラジルの首都ブラジリアはどの部分に位置するか、表をもとに示させる～

地球儀



図 1

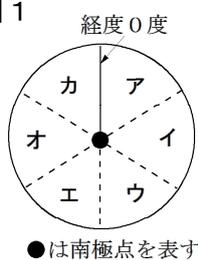


表 ブラジリアの経度と緯度

ブラジリア	西経 47度
	南緯 15度

※ 図 1 は、地球儀を X の方向から見たときの模式図。

※ 模式図は、経度 0 度の経線を基準にア～カのように 6 等分している。

①地球儀と世界地図を比較させ、違いを理解させる。

②地球儀を様々な方向から見て、緯度・経度、赤道・本初子午線、北半球・南半球、大陸や海洋などの位置関係を理解させる。

③緯度と経度を用いて主な国や都市の位置を表させる。

④地球儀や世界地図を緯度と経度を用いて分割し、大陸や海洋、主な国の位置する範囲を表現させる。

・ 日常生活や授業で積極的に地球儀や地図に触れる機会を設け、緯度・経度、赤道・本初子午線、北半球・南半球などの基礎的な知識を基に、地球規模での位置関係を捉えさせることが大切である。

分野	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
地理的分野	(1)ア	・地球儀を活用し，六大陸の大まかな位置関係を捉えている。	(1)		○	
	(1)イ	・アフリカ州の主な宗教の分布を理解し，その知識を身に付けている。	(2)			○
	(2)ア	・地球儀を活用し，我が国の国土の位置を地球規模で捉えている。	(3)		○	
	(2)ア	・東半球と西半球にある地点の時差を判断し，その結果を適切に表現している。	(4)	○		
	(1)ウ	・各州の地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。	(5)			○
	(1)ウ	・各州の地域的特色を理解し，その知識を身に付けている。	(6)			○
	(1)エ	・資料から，世界の諸地域の地域的特色について有用な情報を適切に選択している。	(7)		○	
	(1)エ	・資料の情報を基に，世界の諸地域の地域的特色を読み取り，表にまとめている。	(8)		○	
	(2)ア	・日本の地域区分を理解し，都道府県の名義と位置などの知識を身に付けている。	(9)			○
	(2)ア	・日本の領域の特色と変化を理解し，その知識を身に付けている。	(10)			○
	(2)イ	・少子化，高齢化に伴う課題を多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。	(11)	○		
	(2)イ	・自然環境から見た日本の特色を多面的・多角的に考察し，その結果を適切に表現している。	(12)	○		
歴史的分野	(1)ア	・歴史上の人物や，時代区分についての基本的な内容を理解し，その知識を身に付けている。	(13)			○
	(1)イ	・古代の文化の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(14)			○
	(1)ウ	・各時代の特色を多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。	(15)	○		
	(3)ア	・武家政治の特色や東アジア世界との関わりを，古代と比較して考察し，その結果を適切に表現している。	(16)	○		
	(3)イ	・諸産業の発達に関する資料から，有用な情報を適切に選択している。	(17)		○	
	(4)ア	・分国法により，近世社会の基礎がつけられていったことを理解し，その知識を身に付けている。	(18)			○
	(4)イ	・中世と近世社会を比較・関連付けて考察し，各政策のねらいや結果を適切に表現している。	(19)	○		
(4)ウ	・農業の発達について複数の資料を関連付けて考察し，その結果を適切に表現している。	(20)	○			

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

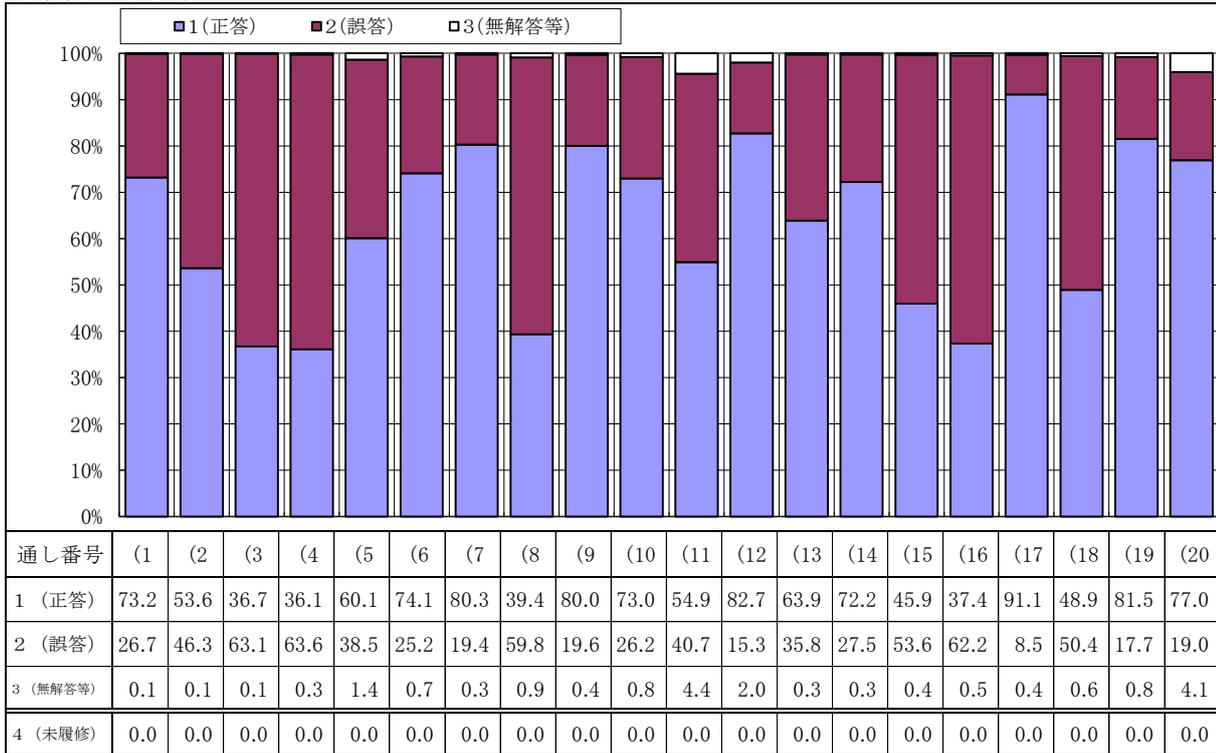
平均通過率 63.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0%	100%
(1)	六大陸のおおまかな位置の理解	73.2%	70.0%		
(2)	主な宗教の分布の理解	53.6%	60.0%		
(3)	日本の位置と領域についての考察	36.7%	60.0%		
(4)	時差についての考察	36.1%	60.0%		
(5)	世界の諸地域「六つの州と主な国の特色」の理解	60.1%	70.0%		
(6)	世界の諸地域「六つの州と主な国の特色」の理解	74.1%	70.0%		
(7)	ヨーロッパ州の地理的特色に関する資料の読み取り	80.3%	85.0%		
(8)	ヨーロッパ州の地理的特色に関する資料の読み取りと情報の整理	39.4%	60.0%		
(9)	都道府県の名称と位置、県庁所在地名の理解	80.0%	80.0%		
(10)	日本の領土と北方領土問題についての理解	73.0%	75.0%		
(11)	資料を活用した人口構成の課題についての説明	54.9%	60.0%		
(12)	統計資料を比較したり、説明から類推したりして問いを立てる	82.7%	80.0%		
(13)	古代の政治に関わる中心人物についての理解	63.9%	65.0%		
(14)	国風文化の特色と文学作品についての理解	72.2%	75.0%		
(15)	古代の各時代の特色についての理解	45.9%	60.0%		
(16)	古代と中世の特色を捉えるために必要な知識についての理解	37.4%	60.0%		
(17)	中世の産業の特色を捉えるために必要な資料の収集と処理	91.1%	90.0%		
(18)	中世から近世への移り変わりにおける分国法の意義についての理解	48.9%	60.0%		
(19)	中世から近世への移り変わりにおける諸政策の意義についての理解	81.5%	80.0%		
(20)	江戸時代の農業の発達に関する情報を関連付けた考察と論述	77.0%	80.0%		

※「——」は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 社会

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (123校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	3	1		2	2	2	4	1	5	3	3	4	1	3			15		4	9	
90~100%	5				1	10	15		12	10	9	32	3	3			67		14	34	
80~90%	26	1			8	31	51	1	51	19	19	54	4	19		1	40	2	60	26	2
70~80%	50	6	1		24	39	38	1	38	47	14	23	26	49	4	1		8	38	23	22
60~70%	27	23	1	2	36	32	13	4	12	32	15	2	48	42	5	3	1	21	4	16	67
50~60%	9	54	15	8	30	8	2	10	5	8	21	5	33	6	29	14		31	3	8	30
40~50%	2	28	28	18	13	1		35		3	11	2	7	1	52	27		30		7	2
30~40%		9	43	64	8			56		1	7	1	1		26	51		22			
20~30%		1	24	25				12			13				6	21		7			
10~20%			9	4	1			3			8					5		1			
0~10%	1		2								3				1			1			

# 中学校2年 社会 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別		計
	思考・判断・表現	技 能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	4	3	7	9	5	14
-10% より低い	3	2	1	3	3	6
計	7	5	8	12	8	20

## 2 考察

### (1) 全体について

今年度も学習指導要領の改訂の要点を踏まえた新問を9問出題した。設定通過率が-10%より低かったのは3問（昨年度は7問）であることから、要点を踏まえた学習が、着実に実施されてきていると考えられる。一方、類似問題11問中、昨年度の通過率を上回ったのは5問であった。各設問で求められている社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能、社会的事象についての知識・理解を分析し、指導の改善を図ることで、それらの力を着実に育成したい。

### (2) 成果

- ①地球儀や地図を活用し、六大陸の位置関係や世界の各州の地域的特色を大まかに捉えることができています。改善の具体的な事項の一つである宗教に関する知識も、おおむね身に付いている。
- ②文献や絵図、地図、統計など歴史学習にかかわる様々な資料を有効に活用することで、歴史的事象を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。

### (3) 課題

- ①地球儀や地図を活用しながら、我が国の国土の位置を、緯度と経度を使って捉えさせるほか、様々な相対的位置（関係的位置）を取り上げた指導を充実させる。その際、日本と世界各地との時差から、地球上における我が国と世界各地との位置関係を理解させる。
- ②各時代の特色を捉える学習、時代の転換の様子を捉える学習、時代の区分やその移り変わりに気付く学習などを通して、歴史の大きな流れについての理解を図る。その際、授業で扱う個別事象について、ねらいに照らして焦点化を図り、それぞれのつながりを説明できるようにする。

## 3 今後の指導

歴史の学習においては、機械的・表面的に「記憶」するだけでなく、思考や表現の過程なども踏まえ、十分に分かりながら身に付ける、「理解」する学習活動を推進する。

### ○ポイント [(16を例として)]

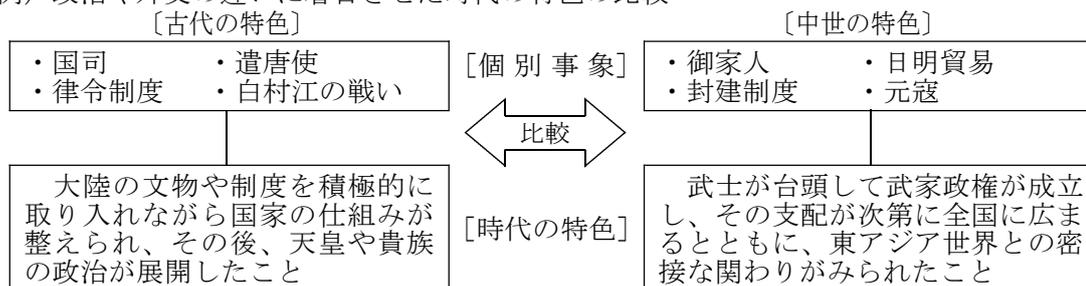
生徒が、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、各時代の特色を捉え、大きな歴史の流れを理解できるように、学習内容を構造化して捉えるとともに、授業で扱う個別事象を焦点化した上で、学習活動を展開する。

### ○具体例

「各時代の学習のまとめ」：時代を大観し表現する活動を通して、時代の特色を捉えさせる。

- ①各時代の学習のはじめに、その特色の究明に向けた課題意識を高める。  
・その時代のイメージを表現させたり、前の時代との違いを予想させたりする。
- ②政治の展開、産業の発達、社会の様子、文化の特色など、比較・関連付ける観点を明確にし、他の時代との共通点や相違点に着目させる。
- ③「つまりこの時代は」「この時代を代表するものは」などの表現を用いたり、図などで表したりしながら、互いに意見を交換する学習活動を展開する。

(例) 政治や外交の違いに着目させた時代の特色の比較



## 4 結果と考察 (3) 算数、数学

平成25年度小学校学習状況調査 第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	
第3学年	A 数と計算	(3)アイ 乗法	・1位数に2位数をかける乗法の計算ができる。	(3)		○		
			・2位数×2位数の計算の仕方を理解している。	(18)			○	
		(5)アイ 小数の意味 や表し方	・ $\frac{1}{10}$ の位までの小数の意味や表し方について理解している。	(6)			○	
			・ $\frac{1}{10}$ の位までの減法ができる。	(2)		○		
		(6)アイウ 分数の意味 や表し方	・1より小さい大きさや等分した大きさを、分数を用いて表すことができる。	(7)		○		
			・分数と小数の大きさなどについての豊かな感覚をもっている。	(13)			○	
	B 量と測定	(1)アイウ 長さ、重さ の単位と測定	・日常生活の場面で、距離を単位を換算して求めることができる。	(11)		○		
			・長さや重さ、かさの単位について理解している。	(14)			○	
	C 図形	(1)アイウ 二等辺三 角形、正 三角形な どの図形	・二等辺三角形の作図の仕方を筋道立てて考え、説明することができる。	(19)	○			
			・正三角形の意味や性質について理解している。	(17)			○	
・具体の場面で「球の直径」を考え、箱の辺の長さを求めることができる。			(5)		○			
D 数量関係	(1)アイ 数量の関係を表す式	・未知の数量を□などを用いて表すことにより、数量の関係を式で表せることや、□にあてはまる数の求め方を理解している。	(15)			○		
第4学年	A 数と計算	(1)ア 整数の表し方	・億を用いる大きな数を十進位取り記数法によって表すことができる。	(4)		○		
			(3)アイウエ 整数の除法	・3位数を2位数で割る筆算ができる。	(1)		○	
				・数量の関係を数直線を基にとらえ、除法を用いて□にあてはまる数の求め方を考えている。	(8)	○		
				・除法に関して成り立つ性質を理解している。	(9)			○
				・除法における確かめの式を理解している。	(10)			○
				・倍関係を用いた代金の求め方を説明することができる。	(12)	○		
	・3位数÷1位数の計算を、被除数や除数、商との関係を基にして考え、商が百の位にたつ場合を判断することができる。	(16)	○					
D 数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量	・変化の様子を表した棒グラフや折れ線グラフから、特徴を読み取り、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明することができる。	(20)	○				

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

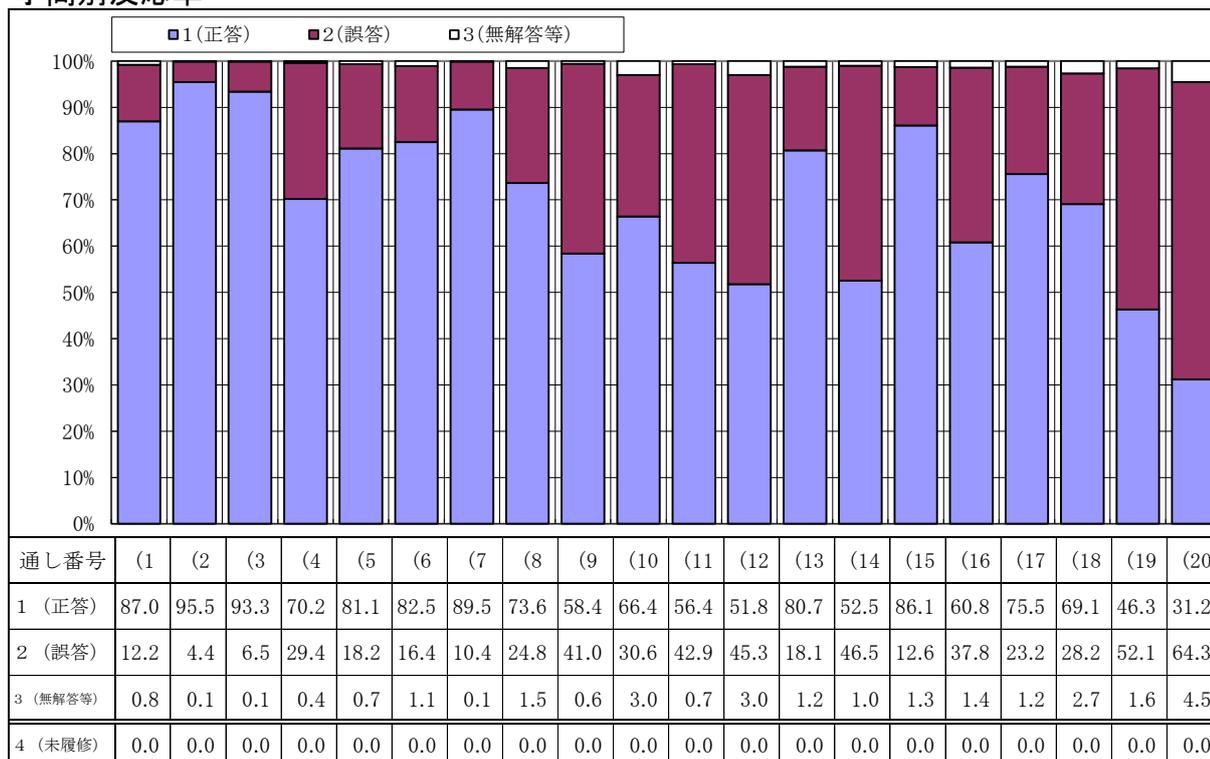
平均通過率 70.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(3位数) ÷ (2位数) の計算	87.0%	80.0%	
(2)	小数第1位までの減法	95.5%	90.0%	
(3)	(1位数) × (2位数) の計算	93.3%	90.0%	
(4)	数直線上の大きな数の読み取り	70.2%	70.0%	
(5)	球の直径を基にした長さの求め方	81.1%	70.0%	
(6)	小数についての豊かな感覚	82.5%	70.0%	
(7)	分数の意味理解とその表現	89.5%	70.0%	
(8)	基準量の求め方	73.6%	70.0%	
(9)	除法の性質についての理解	58.4%	60.0%	
(10)	除法における確かめの式の理解	66.4%	70.0%	
(11)	距離の長さの単位換算	56.4%	80.0%	
(12)	2数の倍概念の活用	51.8%	60.0%	
(13)	分数と小数の大きさについての理解	80.7%	70.0%	
(14)	長さや重さ、かさの単位の意味理解	52.5%	70.0%	
(15)	□を用いた式の理解	86.1%	70.0%	
(16)	商が百の位にたつ場合の判断	60.8%	70.0%	
(17)	正三角形の意味や性質の理解	75.5%	70.0%	
(18)	(2位数) × (2位数) の理解	69.1%	70.0%	
(19)	二等辺三角形の作図の筋道立てた説明	46.3%	70.0%	
(20)	2つのグラフの読み取り	31.2%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	54	102	74	15	31	30	77	26	9	13	15	8	33	4	46	11	24	15	2	1	
90~100%	51	100	106	14	35	39	78	24	1	13	5	2	50	1	60	7	22	9	1		4
80~90%	84	24	40	43	84	94	46	64	8	25	27	15	63	4	79	23	60	43	1	6	36
70~80%	29	1	7	52	53	40	16	37	39	49	27	31	46	12	31	36	61	63	5	6	94
60~70%	6			48	19	17	7	25	57	68	36	40	24	33	10	45	40	44	28	8	74
50~60%	3			36	4	5	3	16	53	41	40	49	9	80		59	18	41	52	19	19
40~50%				17	1	2		16	37	13	34	37	1	58	1	29	1	7	76	24	
30~40%				2				8	12	4	27	24	1	21		14		2	39	38	
20~30%								5	9		12	18		10		3			16	67	
10~20%								3	1		4	2		1				1	3	43	
0~10%								3	1	1		1		3				1	2	4	15

# 小学校4年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技 能	知識・理解	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	
+10% より高い	0	2	3	3	0	1	1	5
±10% の範囲内	3	4	4	10	0	1	0	11
-10% より低い	2	1	1	0	2	1	1	4
計	5	7	8	13	2	3	2	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中16問が、設定通過率の「±10%の範囲内」または「+10%より高い」状況であり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られている。
- ②観点別に見ると「技能」や「知識・理解」は良好であり、領域別に見ると「数と式」は良好であるが、「量と測定」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題として出題した□を用いた式の意味について、理解が図られている。
- ②数直線上の大きな数を読み取ること、小数についての豊かな感覚を身に付けていること、分数と小数の大きさや正三角形の意味や性質を理解することについて、改善が図られている。

### (3) 課題

- ①2数の倍関係を捉え、全体量の求め方を説明することに課題が見られる。
- ②円を用いて二等辺三角形をかく手順を筋道を立てて考えることに課題が見られる。

## 3 今後の指導

1個の値段から求める場合と倍関係から求める場合の二つの求め方を比較・検討し、問題場面に応じてよりよい方法を判断したり、求め方を説明したりする活動の充実を図る。

3こで1パックになっているゼリーのねだんは190円です。このゼリー15この代金はいくらですか。代金の求め方と答えを□の中書きましょう。

代金の求め方

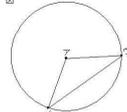
答え \_\_\_\_\_ 円

(12)

- ・子どもに何が分かると問題が解決できそうかの見通しをもたせる手立てを工夫する。
- ・子どもの解決状況を見取り、意図的に取り上げて図と式の関連付けを図ったり、式の意味を言葉で表現したりする場を設定し、みんなで解決方法の説明の仕方を作り上げる活動を重視する。

作図の仕方の習得を図るとともに、作図の仕方を振り返り、どのような手順で作図したのかを説明する活動の充実を図る。

たくみさんは、コンパスとじょうぎを使って、図のように、半径が3cmの円の中に辺の長さが3cm, 3cm, 5cmの二等辺三角形をかきました。



くみこさんは、たくみさんが、どのようにして、円を使って二等辺三角形をかいたのかを、説明しています。「□」の中の①～④を、説明の順番に左からならべ、□の中書きしましょう。

くみこ

- ・はじめに、コンパスを使って、半径3cmの円をかきます。
- ・つぎに、じょうぎを使って、アイのように線をひきます。

- ① じょうぎを使って、アとウを線でむすびます。
- ② コンパスで、5cmの長さをとります。
- ③ じょうぎを使って、イとウを線でむすびます。
- ④ コンパスのはりをイにさして、イウが5cmになるようにウの場所を円上にとります。

→ → → (19)

- ・円を用いずに二等辺三角形をかく場合と、円を用いて二等辺三角形をかく場合を比較し、コンパスと定規を使って最初に何をするのかを明確にする。
- ・円の中に二等辺三角形をかく手順を、図や言葉などで表現したり、表現したことを関連付けたりする活動を通して、二等辺三角形の作図の仕方を筋道を立てて考え説明する力を、子どもの発達の段階に応じて培っていくようにする。

平成25年度小学校学習状況調査 第5学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識・ 理 解
第4学年	A 数と計算	(2)ウ 概数と四捨五入	・積を概数で見積もることができる。	(4)		○	
		(5)ウ 小数の仕組みとその計算	・場面と図との関連付けた二つの数量の関係と、基準量を求めるために除法が用いられることを理解している。	(8)			○
		(6)イ 同分母分数の加法, 減法	・同分母の帯分数-真分数の計算ができる。	(1)		○	
	B 量と測定	(1)イ 面積の単位と測定	・複合図形の面積を基に、面積が半分になる長方形の横の長さを考えている。	(11)	○		
		(2)イ 角の大きさ	・ $180^\circ$ より大きい角の測定の仕方を式で表し、その角の大きさを求めることができる。	(12)		○	
	C 図形	(1)イ 平行四辺形, ひし形, 台形	・作図された図形が平行四辺形である理由を、平行四辺形の対角線の性質を用いて考えている。	(16)	○		
		(2)ア 立方体, 直方体などの立体図形	・立方体の見取図をかくことができる。	(15)		○	
	D 数量関係	(1)ア 伴って変わる二つの数量	・伴って変わる二つの数量の関係に着目し、その変化の特徴を見いだしている。	(18)	○		
		(3)ア 四則に関して成り立つ性質	・計算の工夫を読み取り、四則の混合した式や( )を用いた式の計算の順序について考えている。	(9)	○		
		(4)ア 資料の分類整理	・資料を、二つの観点から落ちや重なりがないように、分類整理して表に表すことができる。	(17)		○	
第5学年	A 数と計算	(1)イ 整数の性質	・具体的な場面において、最大公約数を求めることができる。	(10)		○	
		(3)アイウ 小数の乗法, 除法	・整数と $1/100$ の位の小数の乗法の計算ができる。	(2)		○	
			・余りがある場合の小数の除法の筆算ができる。	(3)		○	
			・小数の除法が用いられる場面を理解している。	(7)			○
			・小数の計算における乗数と積の大きさ, 除数と商の大きさの関係を理解している。	(5)			○
		・小数の除法の計算の仕方を考えている。	(6)	○			
	B 量と測定	(2)イ 体積の単位と測定	・卵の体積の求め方を、水(直方体)の体積に換算して考えている。	(20)	○		
		(4)ア 異種の二つの量の割合	・異種の二つの量の割合としてとらえられる数量について、その比べ方を考えている。	(19)	○		
	C 図形	(1)イ 平面図形の性質	・合同な図形では、対応する辺の長さ, 対応する角の大きさがそれぞれ等しいことを理解している。	(13)			○
			・合同な三角形をかくために必要な構成要素を見いだしている。	(14)	○		

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

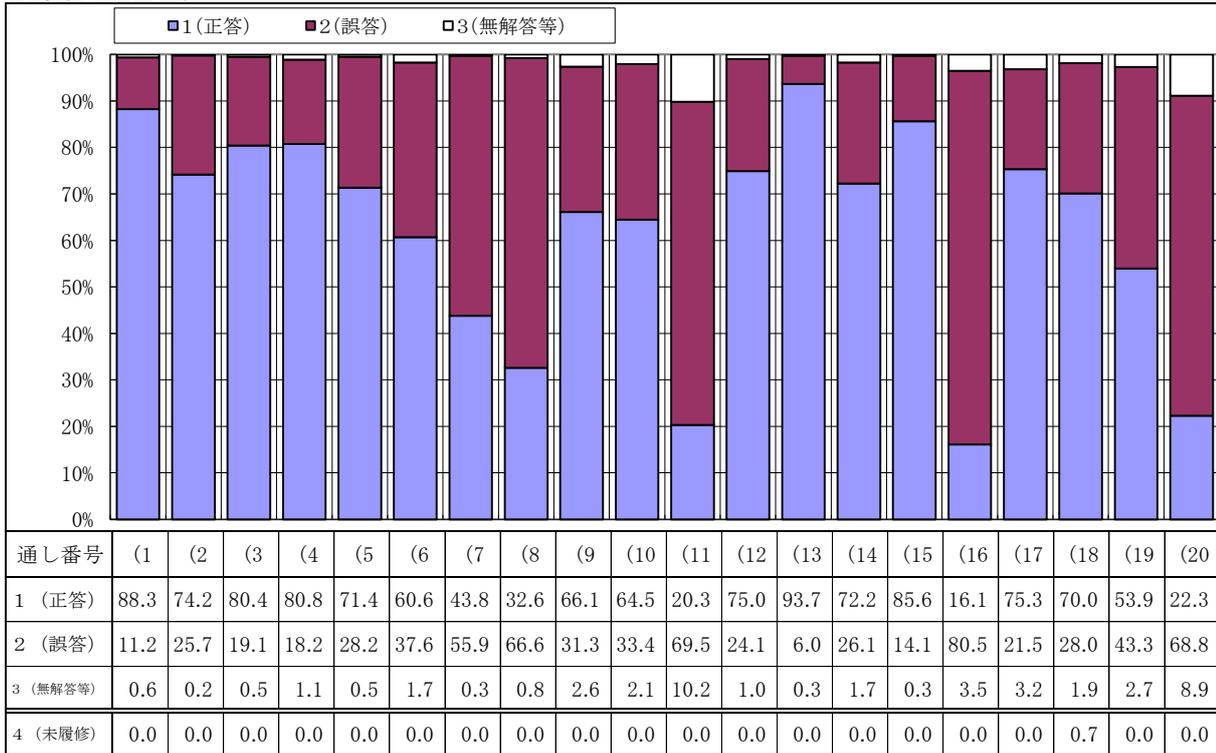
平均通過率 62.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	同分母の(帯分数)－(真分数)	88.3%	90.0%	
(2)	(整数)×(小数)の計算	74.2%	80.0%	
(3)	余りのある(小数)÷(小数)の計算	80.4%	80.0%	
(4)	概数を用いた積の見積もり	80.8%	80.0%	
(5)	小数の計算と大きさの関係	71.4%	70.0%	
(6)	小数の除法の計算の仕方	60.6%	70.0%	
(7)	小数の除法の意味	43.8%	60.0%	
(8)	数量関係の理解	32.6%	60.0%	
(9)	計算の工夫	66.1%	70.0%	
(10)	最大公約数を適用する場面	64.5%	60.0%	
(11)	複合図形の面積を基にした長方形の横の長さ	20.3%	60.0%	
(12)	180°より大きい角度の測定の仕方	75.0%	80.0%	
(13)	合同な図形の性質	93.7%	90.0%	
(14)	合同な三角形	72.2%	70.0%	
(15)	立方体の見取図	85.6%	80.0%	
(16)	対角線の性質に基づいた平行四辺形の判断	16.1%	60.0%	
(17)	資料の分類・整理	75.3%	70.0%	
(18)	伴って変わる量	70.0%	70.0%	
(19)	単位あたりの量	53.9%	60.0%	
(20)	卵の体積を水の体積に換算しての求積	22.3%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 算数

## 小問別反応率



※1～3は、4を除いた解答類型1～3の合計に対する割合。4は全体に対する割合。

## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	52	16	38	33	19	10	2	1	10	13		14	71	21	47	2	28	17	7	1	
90～100%	70	15	50	36	20	4			7	17		16	117	19	66		41	19	4		2
80～90%	76	60	58	78	45	14	11	2	40	27	1	59	33	62	68	2	46	47	13	1	12
70～80%	28	65	53	51	57	36	10	7	51	53	2	89	5	51	35	5	56	53	35	6	49
60～70%	1	43	19	22	49	58	23	16	56	41	5	26	1	42	6	5	34	43	46	8	95
50～60%		20	4	5	24	58	36	21	35	38	6	16		18	2	9	12	23	46	12	55
40～50%		7	2		11	33	58	29	14	24	7	4		9	2	17	3	11	36	8	12
30～40%		1	3	2		9	52	41	8	4	26	3		3	1	17	6	7	23	29	2
20～30%					1	4	29	68	3	8	59			2		21	1	5	15	55	
10～20%						1	4	31	1	2	72					35			2	64	
0～10%					1		2	11	2		49					114		1		43	

# 小学校5年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技 能	知識・理解	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	8	2	7	2	3	3	15
-10% より低い	3	0	2	2	2	1	0	5
計	8	8	4	9	4	4	3	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中15問が設定通過率の「±10%範囲内」にあり、学習状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「数学的な考え方」と「知識・理解」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①経年で比較している問題14問中10問において平均通過率が上昇し、改善が図られている。
- ②「概数の見積もり」の問題では平均通過率が大きく上昇しており改善が見られる。また、昨年度の課題の「単位量あたりの量」の問題でも昨年度の平均通過率を上回っている。

### (3) 課題

- ①倍を求める問題において、問題文から基準量と比較量を捉えて図に表すことができない。
- ②問題の問い方や形式を変えると、既習内容につなげて対応することができない。

## 3 今後の指導

問題場面と図を関連付ける活動を充実させる。

黄色のテープと緑色のテープの長さについて、次のことがわかっています。

黄色のテープの長さは140cmです。

黄色のテープの長さは、緑色のテープの長さの0.7倍です。

黄色のテープと緑色のテープの長さの関係を正しく表している図は、アとイのどちらかを選び、その記号を  の中に書きましょう。また、緑色のテープの長さを求める式も書きましょう。(8)

- ・問題文の大事な言葉に着目することの習慣化の影響で形式的に演算の判断をしてしまうことがないように意識させ、読み取ったことを図にかき加えるなど、問題場면을捉えることができるようにする。
- ・「AはBの○倍」という表現に着目し、Bが基準量、Aは比較量であることから、基準量であるBを1として図に表す技能を高めたい。

調べた結果の比較から、図形の相互の関係を検討する活動を充実させる。

図1のように、中心を同じにして、小さい円と大きい円をかきました。図2で、直線ABは小さい円の直径、直線CDは大きい円の直径です。4つの点を順に結んで作った四角形ACBDは何という四角形でしょうか。四角形の名前を  の中に書きましょう。

また、そのように考えたわけを、「対角線」という言葉を用いて  の中に書きましょう。(16)

- ・基本的な四角形の対角線の交わり方や長さについて調べた結果を表にまとめたり、図に垂直や長さが等しい記号を入れたりして視覚的に工夫して比較・検討させる。
- ・「台形以外の図形は、2本の対角線が互いに中点で交わる」など、対角線の性質から図形の相互の関係に着目させ、条件を1つ加えると他の図形になるという見方ができるように展開したい。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
第5学年	A 数 と 計 算	(3)ア 小数の乗法, 除法	・具体的な場面で数量関係を捉えて立式し, 除数が小数となる除法を理解している。	(4)			○
		(4)アイウエオ 分数や小数の大小 分数の倍 加法・減法	・分数や小数の大きさについて理解している。	(3)			○
			・示された場面の数量の関係を理解している。	(8)			○
			・異分母分数の減法の計算ができる。	(1)		○	
	B 量 と 測 定	(1)ア 図形の面積	・四角形の面積を求めることができる。	(6)		○	
			・台形と三角形の面積を基にして, 必要な部分の長さを求めることができる。	(11)		○	
		(3)ア 測定値の平均	・2つの集団の平均から集団全体の平均の値を求めることができる。	(10)		○	
	C 図 形	(1)アウ 平面図形の性質	・内接する正五角形を基にして角の大きさを求めることができる。	(12)		○	
			・多角形の角の大きさの和について, 図と式を関連付けて考えている。	(19)	○		
		(2)ア 立体図形の性質	・三角柱の展開図を理解している。	(15)			○
D 数 量 関 係	(2) 数量の関係を表す式	・2つの数量の関係を表す式を選択することができる。	(17)			○	
	(4) 円グラフや帯グラフ	・円グラフと帯グラフを基に与えられた考え方が正しいかどうか説明することができる。	(20)	○			
第6学年	A 数 と 計 算	(1)アイ 分数の乗法, 除法	・分数の除法が用いられる場面について, 数直線を基に考えている。	(9)	○		
			・分数の乗法と除法のまじった計算ができる。	(2)		○	
	B 量 と 測 定	(2)ア 円の面積	・正方形と円の複合図形の面積を比較するために, 順序立てて考えている。	(14)	○		
		(4)速さ	・2つの数量について, 道のりと時間の関係から速さを求め, 比較することができる。	(7)	○		
	C 図 形	(1)イ 対称な図形	・対称な図形の弁別をすることができる。	(5)			○
			・点対称な図形をかくことができる。	(13)		○	
	D 数 量 関 係	(3)ア 文字を用いた式	・数量の関係を文字を用いて表すことができる。	(18)		○	
			・具体的な場面と, 数量の関係を表す文字を用いた式を関連付けて考えることができる。	(16)			○

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

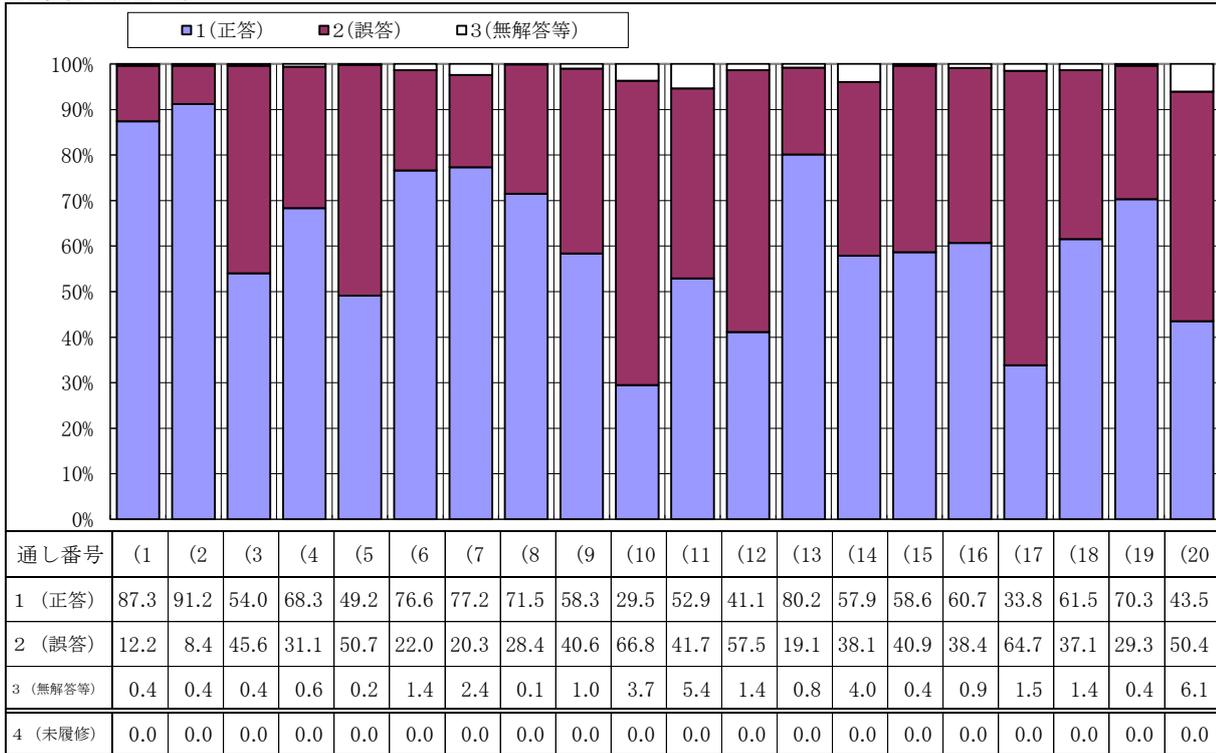
平均通過率 61.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	異分母分数の減法の計算	87.3%	90.0%	
(2)	分数の乗法と除法の混じった計算	91.2%	90.0%	
(3)	分数と小数の大きさ	54.0%	70.0%	
(4)	除数が小数の除法	68.3%	70.0%	
(5)	対称な図形の弁別	49.2%	75.0%	
(6)	不定形な四角形の面積	76.6%	85.0%	
(7)	2つの数量について速さを比べる	77.2%	80.0%	
(8)	数量関係の理解	71.5%	70.0%	
(9)	分数の除法の場面を数直線に表す	58.3%	65.0%	
(10)	測定値の平均	29.5%	60.0%	
(11)	図形の面積の複合問題	52.9%	60.0%	
(12)	円に内接する正五角形の角の大きさ	41.1%	60.0%	
(13)	点対称な図形の作図	80.2%	80.0%	
(14)	面積に関する数量の筋道立てた説明	57.9%	60.0%	
(15)	三角柱の展開図	58.6%	60.0%	
(16)	文字を用いた式の読み取り	60.7%	70.0%	
(17)	伴って変わる数量の関係を表す式	33.8%	60.0%	
(18)	文字を用いた式による表現	61.5%	60.0%	
(19)	多角形の角の大きさの和	70.3%	70.0%	
(20)	グラフの読み取り	43.5%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 算数

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	42	57	2	12	4	21	15	21	9		1	5	13	6	1	3		6	22	2	
90~100%	73	98	5	10	5	15	23	16	16		1		22	3	3	7		1	14		
80~90%	80	56	22	37	10	70	81	53	27	1	8	7	94	11	15	17	3	25	59	4	6
70~80%	22	11	25	60	17	68	61	51	27	1	18	9	65	25	25	26	2	46	48	12	40
60~70%	9	5	47	59	33	38	31	43	41	7	45	29	25	69	70	72	7	52	39	25	87
50~60%	1		45	41	45	13	9	31	36	17	58	28	7	58	75	64	17	44	29	47	84
40~50%			38	6	47	2	6	8	36	19	54	49		34	31	26	41	36	13	45	10
30~40%			27	2	43		1	3	19	45	30	46	1	12	4	7	75	10	2	48	
20~30%			14		16			1	11	93	8	44		8	1	1	54	5	1	36	
10~20%			2		5				4	37	3	9		1	1	4	25			7	
0~10%					2				1	7	1	1			1		3	2		1	

# 小学校6年 算数 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技 能	知識・理解	数と計算	量と測定	図 形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	4	6	4	5	4	3	2	14
-10% より低い	1	2	3	1	1	2	2	6
計	5	8	7	6	5	5	4	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①基礎的・基本的な学習内容の定着は図られている。特に、計算力の定着が図られている。
- ②20問中14問が、設定通過率の「±10%の範囲内」で学習状況はおおむね良好であるが、より思考力の向上を図る活動が望まれる。

### (2) 成果

- ①文章題から二つの数量の関係を捉え、その関係を適切に表している数直線を選択することについては、経年比較で通過率が上昇してきている。
- ②分数の加減乗除の計算、四角形や不定型な図形の面積、速さについての説明、対称な図形の作図については良好である。

### (3) 課題

- ①伴って変わる二つの量の関係を理解することや与えられた条件から適切な式を読み取ったり、表したりすることについて課題が見られる。
- ②与えられた条件について正誤を判断するために、複数のグラフから正しく情報を読み取り、数学的な根拠を基にして説明することについて課題が見られる。

## 3 今後の指導

伴って変わる二つの量の関係について、図や表、式との関連を図りながら、多様な考えの理解を深める学習活動の充実を図る。

16 かおりさんとたくみさんは、次の図のように折り紙を壁に画びょうでとめていきました。折り紙が5枚になったときの画びょうの数を、下の図に図にかけて求めました。

かおりさんの考え

$$4 + 3 + 3 + 3 + 3$$

$$= 4 + 3 \times 4$$

$$= 16$$

答え 16本

たくみさんの考え

$$6 + 5 + 5$$

$$= 6 + 5 \times 2$$

$$= 16$$

答え 16本

正方形の数を□個、画びょうの数を○本として、□と○の関係を表します。  
かおりさんの考え、たくみさんの考えを、□と○を用いて表した式はどれですか。次のア～エの中からそれぞれ1つ選んで、その記号を□の中に書みましょう。

ア  $1 + \square + \square \times 2 = \circ$

ウ  $4 + 3 \times (\square - 1) = \circ$

イ  $4 \times \square - (\square - 1) = \circ$

エ  $1 + 3 \times \square = \circ$

(17)

- ・学習問題や教材教具の工夫によって、伴って変わる二つの量の関係を捉える活動を大切にしたい。
- ・課題を解決する過程においては、具体物操作等を取り入れることや、必要に応じて学習形態を工夫するなど、算数的活動の充実を図りながら、指導方法を工夫したい。
- ・学び合いの場面では、図や表、式との関連を意識した説明を繰り返し行うことを通して、様々な考えのよさに触れ、立式に関する数学的思考力の向上を図りたい。
- ・思考過程を見取るための適用問題に取り組みさせるなど、数学的な考え方を見取る活動を工夫し習熟を図りたい。

複数のグラフを関連付けて考えたり、説明したりする学習活動の充実を図る。

19 まりこさんは、図書室での本の貸し出しについて調べ、次の2種類のグラフに表し、2つのグラフからわかったことを下のア～エのようにまとめました。まりこさんがまとめたア～エの中で、調べた結果として正しくないものを1つ選んで、その理由を言葉と式を使って書きましょう。

図書室での本の貸し出し数 (さつ)

貸し出した本の種類と割合

月	物語	科学	歴史	その他
10月	40%	20%	24%	16%
11月	41%	26%	22%	11%
12月	42%	26%	20%	12%
1月	45%	19%	24%	12%

ア 図書室での本の貸し出し数の4か月の平均は、月に約53さつである。

イ 12月に貸し出された科学の本のさつ数は13さつである。

ウ 物語を貸し出した割合は12月より1月が多くなっているのに、物語の貸し出し数も12月より1月の方が多いことがわかる。

エ 10月の本の貸し出し数は、1月の貸し出し数の1.7倍である。

(20)

- ・身近な場面を題材にして学習問題を作成するなど、必要感をもって取り組めるようにするとともに、目的に応じて表やグラフに表したり、傾向を読み取ったりする一連の活動を通して習熟を図りたい。
- ・複数のグラフから読み取れることを考察・判断し、その理由を数や式、言葉などの数学的な根拠を明らかにして説明する活動を大切にしたい。また、誤答を生かして反例を数学的に説明させるなどの活動も大切にしたい。

平成25年度中学校学習状況調査 第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	
小 学 校 第 6 学 年	A 数 と 計 算	(1) アイ 分数の乗法, 除法	・分数÷分数の計算ができる。	(1)		○		
			・分数の除法の計算が, どのような場面でどのように用いられるのかを理解している。	(11)			○	
	B 量 と 測 定	(5) メートル法の単位の 仕組み	・身の回りにあるものの面積や重さの単位を理解している。	(12)			○	
			(3) ア 角柱及び円柱の体積	・展開図を基にして, 円柱の体積の求め方を考えることができる。	(13)	○		
	C 図 形	(1) ア 縮図や拡大図	・拡大図では, 対応する辺の長さの比は, どこも一定であることを理解している。	(15)			○	
			・縮図を利用して, 実測しなくても長さを求めることができる。	(14)		○		
	D 数 量 関 係	(1) 比	・2つの数量の関係を比で表し, それらを比べることができる。	(16)		○		
			(2) アウ 比例	・伴って変わる二つの数量の関係について考え, 比例と反比例を判断することができる。	(8)	○		
			(4) イ 資料の考察	・グラフから資料の特徴を読み取ることができる。	(17)	○		
			(5) 起こり得る場合	・落ちや重なりがないように, 起こりうる場合を順序よく整理して調べることができる。	(18)		○	
中 学 校 第 1 学 年	A 数 と 式	(1) ウエ 正の数・負の数	・正の数, 負の数の四則計算ができる。	(2)		○		
			・自然数における四則計算の可能性について理解している。	(9)			○	
			・身の回りで正の数と負の数がどのように用いられているのかを考えることができる。	(5)	○			
		(2) アイウエ 文字を用いた式	・一次式の減法の計算ができる。	(3)		○		
			・事象の中の数量について, 文字を用いて式に表すことを理解している。	(7)			○	
			・文字式の表し方の約束を理解している。	(4)			○	
	(3) イウ 一元一次方程式	・事象の中の数量関係について考え, 文字式と図を関連付けて説明することができる。	(20)	○				
		・分数係数の一元一次方程式を解くことができる。	(6)		○			
		・一元一次方程式の解き方を理解している。	(10)			○		
			・数量の関係を捉え, 一元一次方程式をつくる ことができる。	(19)	○			

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

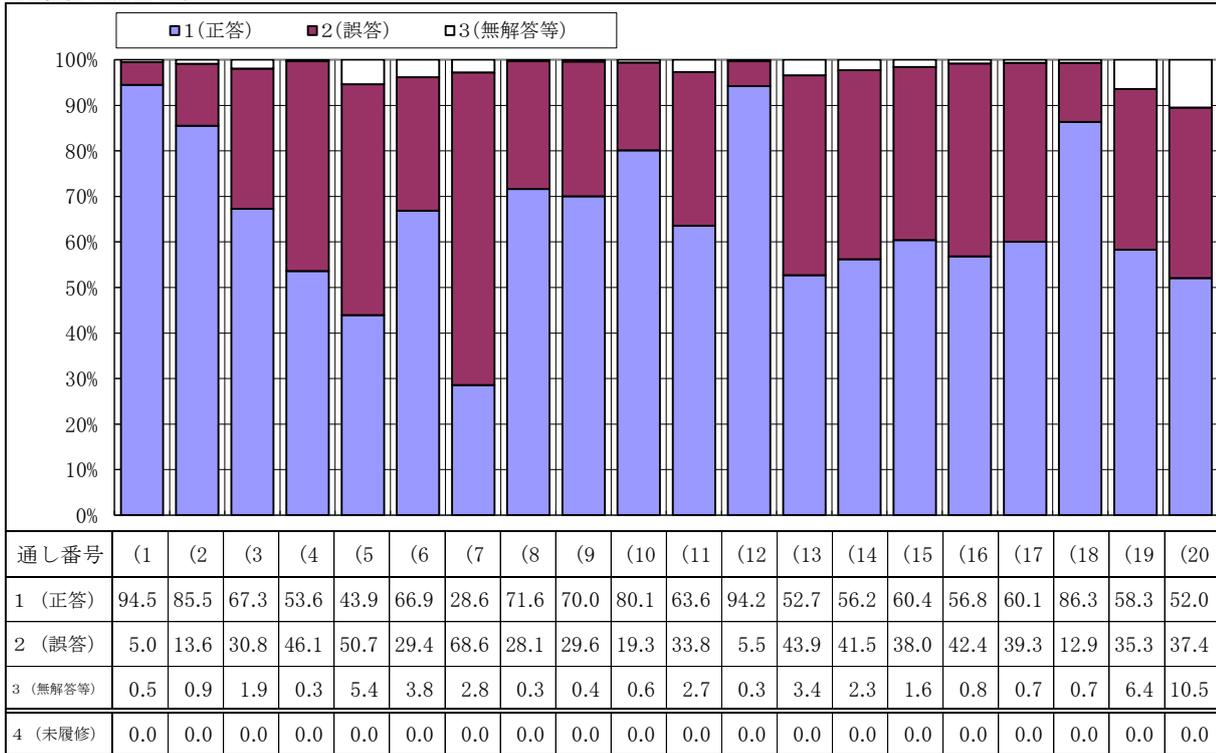
平均通過率 65.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	分数÷分数の計算	94.5%	90.0%	
(2)	正負の数の四則計算	85.5%	80.0%	
(3)	多項式の減法	67.3%	75.0%	
(4)	文字式の表し方	53.6%	70.0%	
(5)	正の数・負の数の活用	43.9%	60.0%	
(6)	分数係数の一次方程式の計算	66.9%	60.0%	
(7)	文字を使った数量の表し方	28.6%	60.0%	
(8)	比例・反比例の識別	71.6%	70.0%	
(9)	四則計算の可能性	70.0%	70.0%	
(10)	一次方程式の解法	80.1%	80.0%	
(11)	分数の除法の演算決定	63.6%	60.0%	
(12)	面積や体積の適切な単位決定	94.2%	90.0%	
(13)	円柱の体積の求め方	52.7%	60.0%	
(14)	縮尺の利用	56.2%	60.0%	
(15)	拡大図の意味	60.4%	70.0%	
(16)	比の表し方	56.8%	65.0%	
(17)	資料の特徴の読み取り	60.1%	70.0%	
(18)	組み合わせ	86.3%	90.0%	
(19)	一次方程式の立式	58.3%	60.0%	
(20)	文字式の読み取り	52.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	25	9	5			1	1	2	1	5		22	1	1	1			6			
90~100%	86	30	9			3		6	1	17	3	80		2	8	1		28			
80~90%	10	60	26	2	1	21	3	15	25	49	16	17	6	3	27	2	6	72	6	9	4
70~80%		19	24	8		34	2	47	38	37	22	2	7	14	19	9	9	14	11	12	29
60~70%		3	26	17	5	32	4	37	37	12	41		14	32	16	32	49	1	37	24	72
50~60%			19	52	21	21	14	8	18		27		48	42	22	42	44		42	29	16
40~50%			10	26	58	7	12	5	1	1	10		29	16	6	30	11		21	21	
30~40%			2	12	28	2	20	1			2		12	10	8	4	2		4	19	
20~30%				3	7		37						3		9	1				6	
10~20%				1	1		20						1	1	2					1	
0~10%							8								3						

# 中学校 1 年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技 能	知識・理解	数と計算 数と式	量と測定	図 形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0 0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	7	5	2 7	2	2	4	17
-10% より低い	1	0	2	0 3	0	0	0	3
計	6	7	7	2 10	2	2	4	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①設定通過率の「-10%より低い」問題は、昨年度10問から今年度3問になり、減少している。
- ②設定通過率の「-10%より低い」問題が中1の「文字を用いた式」で4問中2問あり、文字式の学習内容について、確実な定着が図られていない。

### (2) 成果

- ①中2との共通問題である分数係数の一次方程式の計算の通過率が12%上昇し、改善が図られた。
- ②昨年度課題であった縮図を利用する問題の通過率が大きく上昇し、改善が図られつつある。

### (3) 課題

- ①基準となる得点に対して高い得点や低い得点を、正の数と負の数で表したり処理したりすることの理解に課題がある。
- ②事柄が成り立つ理由を、筋道立てて説明することに課題がある。

## 3 今後の指導

身の回りの様々な場面における数量やその変化を、正の数と負の数を用いて表す活動を一層充実させる。

- ・正の数・負の数の計算はできても、その意味と必要性を理解できていない生徒がいる。実生活の様々な場面に結び付けて理解できるように指導することが大切である。
- ・本問題は身近な数学のテストの点数を題材にしている。身の回りで、ある基準に対して反対の方向や性質をもつ数量を正の数と負の数で表す活動をできるだけ多く設定して、正の数と負の数で処理することのよさを実感できるように指導したい。

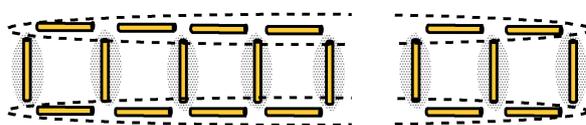
Aさん、Bさん、Cさんの3人が数学のテストをしました。Aさんの得点からCさんの得点をひくと、差は+5点になり、Bさんの得点からCさんの得点をひくと、差は-7点になります。

Aさんの得点が77点のとき、Bさんの得点を求めなさい。求める過程も書きなさい。(5)

図を式で表現したり、表現された式を図に即して解釈したりすることを通して、事柄が成り立つ理由を筋道立てて説明する活動を充実させる。

- ・図の囲み方と式を比べて、図のどの部分が式のどの部分で表されているかを丁寧に読み取る場面を設定することが大切である。その上で、与えられた式で木の棒の本数が求められる理由を説明できるように指導したい。
- ・囲み方の違いを比較したり、新たな囲み方を考えさせたりして、事象を多面的に見ることができるよう指導することも大切である。そして、言葉や図、式を関連付けて説明する場を意図的に設定したい。

まさきさんは次のようにノートに図をかいて、木の棒の本数を  $2n + (n + 1)$  という式で表しました。まさきさんの考えを説明しなさい。(20)



平成25年度中学校学習状況調査 第2学年 数学 評価規準と評価の観点

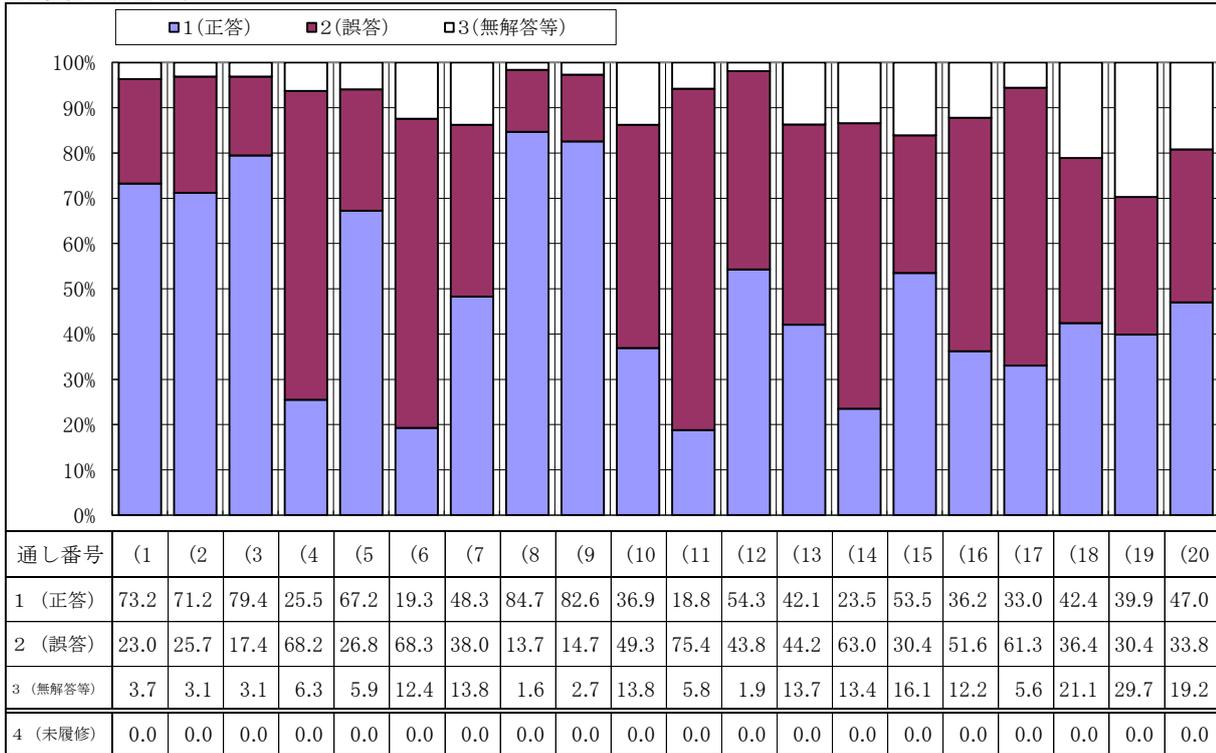
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
第1学年	A 数と式	(2) イウエ 文字を用いた式	・一次式の減法の計算をすることができる。	(2)		○	
			・代入して式の値を求めることができる。	(3)		○	
		・文字を用いて数量の関係を式で表せることを理解している。	(4)			○	
		(3) ウ 一元一次方程式	・係数が分数の一元一次方程式を解くことができる。	(5)		○	
			・問題の中の数量やその関係を比例式で表すことができる。	(11)		○	
	B 図形	(1) アイ 平面図形	・平行移動の意味を理解している。	(8)			○
			・折り目の線が線分の垂直二等分線になることをとらえ、正しく作図することができる。	(15)	○		
		(2) イウ 空間図形	・投影図から当てはまる立体を判断し、その立体の体積を求めることができる。	(6)		○	
			・円錐の展開図から、底面の円周の長さを求めることができる。	(13)		○	
	C 関数	(1) イエ 比例, 反比例	・反比例の関係を読み取り、対応する値を求めることを理解している。	(9)			○
			・具体的な事象の問題を、グラフを活用して説明することができる。	(19)	○		
	D 資料の活用	(1) ア 資料の散らばりと代表値	・相対度数を基にして、資料の傾向を読み取ることができる。	(14)	○		
第2学年	A 数と式	(1) イウ 文字を用いた式の計算	・等式を目的に応じて変形することができる。	(7)		○	
			・連続する3つの偶数の和が6の倍数になることを、文字を用いた式を使って説明することができる。	(10)	○		
		(2) イウ 連立二元一次方程式	・連立二元一次方程式を解くことができる。	(1)		○	
			・具体的な事象の中の数量の関係をとらえ、二元一次方程式をつくることができる。	(16)	○		
	B 図形	(2) アイウ 図形の合同	・三角形の合同条件を活用することができる。	(17)	○		
			・与えられた証明の方針を読み取り、それに基づいて証明することができる。	(20)	○		
	C 関数	(1) イエ 一次関数	・一次関数について、表とグラフを相互に関連付けて理解している。	(12)			○
			・伴って変わる二つの数量の関係を考察し、その変化や対応の様子をとらえ、グラフに表すことができる。	(18)	○		

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	連立方程式の解き方	73.2%	80.0%	
(2)	多項式の減法	71.2%	80.0%	
(3)	代入と式の値	79.4%	85.0%	
(4)	文字を使った式	25.5%	65.0%	
(5)	分数係数の一次方程式の計算	67.2%	75.0%	
(6)	投影図から球の体積を求める	19.3%	60.0%	
(7)	等式変形	48.3%	70.0%	
(8)	平行移動の意味理解	84.7%	85.0%	
(9)	反比例の意味理解	82.6%	85.0%	
(10)	文字を用いた説明	36.9%	60.0%	
(11)	比例式の立式	18.8%	65.0%	
(12)	1次関数の意味理解	54.3%	60.0%	
(13)	おうぎ形の弧の長さ	42.1%	70.0%	
(14)	相対度数の意味理解	23.5%	65.0%	
(15)	基本の作図	53.5%	60.0%	
(16)	連立方程式の利用	36.2%	70.0%	
(17)	三角形の合同条件	33.0%	75.0%	
(18)	1次関数の利用	42.4%	60.0%	
(19)	比例の利用	39.9%	70.0%	
(20)	三角形の合同条件を用いた証明	47.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 数学

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (123校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	3	6	7	1	2			7	6		1		1		3	1				2	
90~100%	5	7	11		4		1	25	25	2			1		2						
80~90%	31	32	43		20		5	69	56	4		3			15	1	3	1	1	7	
70~80%	45	32	51	1	33	1	8	15	27	4		7	7		19	1	3		1	10	3
60~70%	32	25	8		40	1	10	5	8	9		28	9		21	5	3	12	8	21	13
50~60%	5	17	3	3	18	3	33	1		16	1	43	25	6	18	6	7	19	13	21	42
40~50%		2		4	4	4	34			17	2	33	30	7	19	31	21	43	40	22	55
30~40%	1	1		23	2	10	22	1	1	33	10	9	28	15	10	39	34	30	38	24	9
20~30%	1	1		61		31	10			21	29		18	50	10	28	27	16	16	7	1
10~20%				25		55				14	68		2	36	4	10	18	1	6	6	
0~10%				5		18				3	12		2	9	2	1	7	1		3	

# 中学校 2年 数学 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技 能	知識・理解	数と式	図 形	関 数	資料の活用	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	1	4	3	4	2	2	0	8
-10% より低い	7	4	1	5	4	2	1	12
計	8	8	4	9	6	4	1	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中12問が、設定通過率の「-10%より低い」状況であり、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られていない。
- ②観点別に見ると「見方・考え方」や「技能」、領域別に見ると「図形」や「関数」、「資料の活用」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①課題となっていた分数係数の1次方程式の計算(中1との共通問題)については、通過率が大幅に上昇した。
- ②全国学力・学習状況調査B問題の趣旨を踏まえた文字を使った説明は、まだ課題は見られるが通過率が上昇してきている。

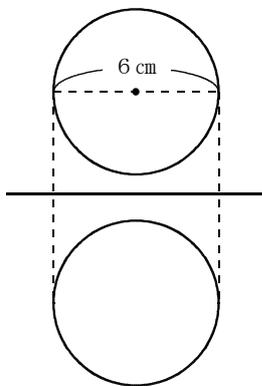
### (3) 課題

- ①投影図から当てはまる立体を判断し、その立体の体積を求めることに課題が見られる。
- ②問題の中の数量やその関係を比例式に表すことに課題が見られる。

## 3 今後の指導

球の体積を、円柱や円錐の体積と比較して求める学習の充実を図る。

- (1) 次の投影図で表される立体の体積を求めなさい。  
ただし、円周率を $\pi$ とします。



(6)

- ・この問題であれば、球がちょうど入る円柱の容器と、その球を半分にした半球の容器を準備し、円柱の容器には、半球の容器何ばい分の水が入るか確かめる活動を取り入れたい。そして、円柱の容器には、半球の容器のちょうど3杯分の水が入ることを確認する。このような活動を通して、半球の体積は円柱の体積の1/3であることを実感を伴って理解させたい。また、このことから球の体積は、その球がちょうど入る円柱の体積の2/3であることを導き出すものとする。円錐の体積の求め方にも、同様の活動を取り入れ、円・円柱・円錐の体積相互の関連を図る。
- ・これらの活動の後に、円柱の体積を求める公式を利用して、球の体積を求める公式を立式する。

文字  $x$  を使った比例式の意味理解を大切にし、比例式の立式の習熟を図る。

- (1) 次の問題と考え方を読んで、 にあてはまる比を書きなさい。

### 問題

牛乳と紅茶を4 : 5の割合で混ぜて、ミルクティーを作ろうと思います。

いま、牛乳が300 mL、紅茶が600 mLあります。紅茶を全部使って、ミルクティーを作るには、牛乳はあと何mLあればよいでしょうか。

### 考え方

上の問題で、牛乳があと  $x$  mL あればよいとすると、牛乳と紅茶の割合を4 : 5の割合で混ぜるということから、 $x$  を使った比例式をつくることができます。

$$\frac{\text{牛乳}}{\text{紅茶}} = 4 : 5$$

(11)

- ・小学校の比の学習では、実験等を通して等しい比について理解を深めてきている。それらの学習を土台とした学習活動を取り入れ、文字  $x$  を使った比例式の意味理解を確実なものにしたい。
- ・比例式を活用する問題場面を意図的に設定し、比例式の立式の習熟を図る。その際、比例式を活用することのよさを感じさせる配慮も必要である。
- ・文字を使うことに抵抗感もあると思われるので、数量を文字式で表す既習内容を確認することも大切にしたい。

## 4 結果と考察 (4) 理科

平成25年度小学校学習状況調査 第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 3 学 年	A	(1)イ	・物は、体積が同じでも重さが違うことがあることを理解している。	(1)			○
		(2)イ	・ゴムの伸びが大きければ、物を動かす働きが大きくなることを表の結果から考察し表現している。	(3)	○		
		(3)イ	・虫眼鏡で日光を集め、紙をこがす方法を考察し表現している。	(7)	○		
	B	(1)ア	・身近な昆虫の変態の違いを考察し表現している。	(2)	○		
		(3)ア	・棒の影の位置の変化と太陽の動きを比較して考察し表現している。	(4)	○		
		(3)ア	・方位磁針を適切に使って、太陽の位置を観察している。	(5)		○	
		(2)ア	・虫眼鏡を適切に使って、生物を観察している。	(6)		○	
第 4 学 年	A	(3)ア	・乾電池2個を直列につないで回路をつくっている。	(8)		○	
		(3)イ	・光電池に当てる光の強さを変えて、回路を流れる電流の強さと、その働きを関係付けて考察し表現している。	(9)	○		
	B	(1)イ	・人が体を動かすことができるのは、関節や筋肉の働きによることを理解している。	(10)			○
		(3)ア	・観察した気温の結果を、折れ線グラフで記録している。	(11)		○	
		(4)ウ	・星の位置は時刻によって変わるが、並び方は変わらないことを理解している。	(12)			○

※領域のAは「物質・エネルギー」、Bは「生命・地球」を示している。

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 78.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	物と重さ	94.5%	85.0%	
(2)	昆虫の育ち方	85.3%	80.0%	
(3)	ゴムの働き	74.9%	75.0%	
(4)	太陽の動き方	69.7%	70.0%	
(5)	方位磁針の使い方	75.5%	70.0%	
(6)	虫眼鏡の使い方	79.8%	80.0%	
(7)	光の性質	73.6%	70.0%	
(8)	電気の働き	54.9%	60.0%	
(9)	光電池の働き	55.7%	60.0%	
(10)	関節の働き	94.5%	85.0%	
(11)	天気と1日の気温の変化	93.1%	80.0%	
(12)	星の動き	88.3%	80.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 4年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	105	49	28	27	27	33	25	9	13	97	79	49	1
90~100%	86	61	21	19	34	50	28	5	8	92	102	77	30
80~90%	31	65	63	52	50	67	59	16	15	29	40	74	96
70~80%	5	35	51	42	46	31	50	37	37	8	6	17	73
60~70%		10	35	38	39	26	42	34	35			8	24
50~60%		1	22	26	22	5	15	51	45	1		1	3
40~50%		2	3	15	6	8	2	29	29				
30~40%		4	1	5	1	1	4	27	30				
20~30%			2	3	1	4	2	12	8				
10~20%			1		1	1		6	4				
0~10%						1		1	3			1	

# 小学校4年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	0	1	0	0	1	1
±10% の範囲内	5	3	3	5	6	11
-10% より低い	0	0	0	0	0	0
計	5	4	3	5	7	12

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①12問全てが設定通過率の「+10%より高い」または「±10%の範囲内」である。全体の通過率は78.3であり、学習状況はおおむね良好である。
- ②「科学的な思考・表現」の設問のうち、解答を文で記述する新問の(7、(9の通過率の平均は64.7であり、他の設問に比べて低くなっている。

### (3) 成果

- ①「知識・理解」の設問は、通過率の平均が92.4であり、学習内容の定着が図られている。
- ②「科学的な思考・表現」の設問のうち、解答を文で記述する設問の通過率の平均は、類似問題の(3と(4で72.3で、昨年の59.1を大きく上回り、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①「技能」の設問のうち、類似問題の(5と(6の通過率の平均は77.7で、昨年の68.5から上昇しているが、類似問題の(8の通過率は54.9で、昨年の58.8を下回っている。乾電池2個を使い、乾電池1個の時よりも車を同じ方向に速く走らせる乾電池のつなぎ方を予想する場を設定し、実験の結果を活用して考えさせる場面を工夫して指導し、定着を図ることが必要である。
- ②「科学的な思考・表現」の設問のうち、解答を文で記述する設問の通過率の平均は類似問題で昨年を大きく上回っているが、新問の(9の通過率は55.7であった。(8の通過率と併せて、電流に関する設問の通過率が低いことが言える。電流に関する技能面の向上を図りながら、実験結果を整理し、予想と照らし合わせて考察させる場面を意図的に設定して指導し、定着を図ることが必要である。

## 3 今後の指導

予想や仮説について、要因と関係付けて考察させるとともに、自分の考えや集団の考えを交流させるための手立てを工夫する。

**[参考 通し番号(9)]**

二郎さんは、図1のような回路をつくり、プロペラの動きを調べました。図2のア～ウのように光電池の向きを変えたとき、プロペラがもっとも速く動いたのは、イのときでした。このとき、回路に流れる電流はどうなっていますか。  
 の中に書きなさい。

図1

図2

- ・児童が予想や仮説を考える時間を確保するとともに、多様な考えを交流する場を設定する。予想や仮説をもてない児童には、交流することで出された予想の中から、自分が納得できる予想や仮説をもたせるようにする。その際、第3学年の「光の性質」の学習を想起させるなど、予想の根拠を明らかにする手立てを工夫する。
- ・実験の結果は、光の当たり方による違いが明確になるよう、表に整理させる。
- ・考察させる際には、着目すべき要因が明らかになるように働き掛ける。  
 (例) 「プロペラの動く速さ」の変化を、その要因である「光の当たり方の違い」によって「回路に流れる電流の強さ」が変化することに気付くようにさせる。
- ・一人一人に考察を書かせ、発表させるなどして全体で確認する。その際には、「光の強さ」「電流の強さ」「回路」というキーワードや児童の言葉を生かして板書するなどして整理する。整理したことを基に、児童にまとめを記述させるとともに、その時間を確保する。
- ・光の当たり方の違いによる光電池の働きについて実感を伴った理解を促すために、光電池を使ってものづくりをさせたり、身近なものに光電池が使われている例を取り上げたりする。

平成25年度小学校学習状況調査 第5学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 4 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(1)イ	・閉じ込めた水は押し縮められないことを理解している。	(1)			○
		(1)ア	・閉じ込めた空気の体積変化を押し返す力と関係付けて考察し、考えを表現している。	(2)	○		
		(2)ア	・空気や水は、温めたり冷やしたりすると、その体積が変わることを理解している。	(3)			○
		(2)ア	・金属の温度による体積変化を他の事象へ適用し、考えを表現している。	(4)	○		
		(2)ウ	・水の温度が下がり、氷になり始めてから全て氷になるまでの時間をグラフから読み取っている。	(5)	○		
		(2)ウ	・水が氷になると体積が増えることを理解している。	(6)			○
		(2)ウ	・水を熱したときに出てくるあわは、水蒸気であることを理解している。	(7)			○
		(2)ウ	・加熱器具を安全に操作し、水の状態変化を調べる実験をしている。	(8)		○	
		(2)イ	・水の温まり方の特徴について、温度変化の様子と関係付けて考察し、考えを表現している。	(9)	○		
		(2)イ	・金属の温まり方の規則性を他の事象へ適用し、考察している。	(10)	○		
第 5 学 年	B 生 命 ・ 地 球	(4)ア	・方位磁針を適切に操作し、雲の動きを観察している。	(11)		○	
		(4)イ	・数日間の雲画像から雲の動きの規則性を見いだしている。	(12)	○		
		(4)イ	・天気の変化を、雲の動きと関連付けて考察している。	(13)	○		
		(1)イ	・植物の発芽について、条件に着目して実験計画を改善している。	(14)	○		
		(1)ウ	・植物の成長について、条件に着目して観察や実験を計画している。	(15)		○	
		(2)ア	・魚の卵の中が変化する様子やふ化する様子を理解している。	(16)			○
		(2)ア	・魚の卵の中には育つための養分が含まれていることを理解している。	(17)			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切な手順で操作し、水中の小さな生物を観察している。	(18)		○	
		(1)エ	・花粉の特徴を捉えるために、顕微鏡を適切に操作し、観察している。	(19)		○	
		(1)エ	・植物の結実までの過程と花のつくりを関係付けて考察し、表現している。	(20)	○		

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

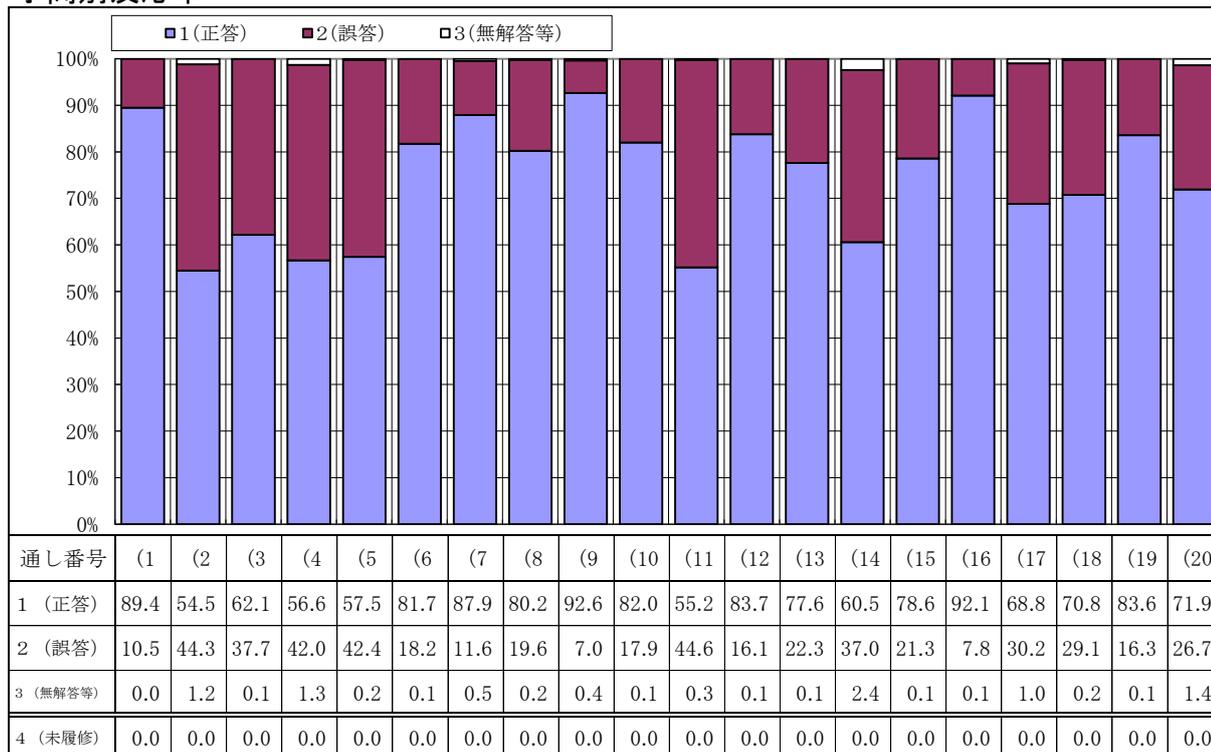
平均通過率 74.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	力を加えたときの水の体積変化	89.4%	80.0%	
(2)	閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係	54.5%	60.0%	
(3)	空気と水の温度による体積変化	62.1%	70.0%	
(4)	金属の温度による体積変化	56.6%	65.0%	
(5)	水が状態変化したときの温度変化	57.5%	60.0%	
(6)	水が状態変化したときの体積変化	81.7%	75.0%	
(7)	水の状態変化	87.9%	70.0%	
(8)	水を熱するときの適切な操作	80.2%	70.0%	
(9)	水の温まり方	92.6%	80.0%	
(10)	金属の温まり方	82.0%	70.0%	
(11)	方位磁針の使い方	55.2%	70.0%	
(12)	雲の動き方の規則性	83.7%	80.0%	
(13)	雲の動きと天気の関係	77.6%	75.0%	
(14)	インゲンマメの発芽と水	60.5%	60.0%	
(15)	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	78.6%	70.0%	
(16)	卵の中のメダカの変化	92.1%	80.0%	
(17)	卵の中のメダカの養分	68.8%	70.0%	
(18)	顕微鏡の操作手順	70.8%	60.0%	
(19)	顕微鏡の適切な操作	83.6%	80.0%	
(20)	受粉と結実	71.9%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 5年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	57	7	9	8	16	40	69	39	77	26	10	36	18	7	16	70	19	22	39	22	
90~100%	79	12	10	7	12	57	66	50	96	41	13	61	9	5	28	103	37	20	47	40	11
80~90%	67	17	27	18	20	69	60	58	37	89	22	69	78	22	76	42	38	40	77	59	70
70~80%	18	27	40	30	36	39	20	47	12	52	25	44	73	32	67	10	35	49	42	26	103
60~70%	3	41	53	42	44	13	4	13	4	17	31	12	33	66	26	1	30	47	14	27	34
50~60%	3	33	51	55	38	6	6	11	1	1	35	3	13	46	9	1	29	27	4	21	7
40~50%		44	26	41	29	1	1	2			37		2	28	3		22	11	3	11	2
30~40%		19	5	20	17		1	1		1	28	1		17	2		10	4	1	12	
20~30%		20	3	5	10	1		4			21		1	3			5	6		5	
10~20%		6	1	1	3	1					5	1		1			2	1		3	
0~10%		1	2		2			2												1	

# 小学校5年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	2	2	2	4	2	6
±10% の範囲内	7	2	4	6	7	13
-10% より低い	0	1	0	0	1	1
計	9	5	6	10	10	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①20問中19問が設定通過率の「±10%の範囲内」または「+10%より高い」ところにあり、学習状況はおおむね良好である。
- ②知識や考えを記述して解答する設問の通過率の平均は62.5と低く、指導の改善を一層図る必要がある。

### (2) 成果

前年度通過率の低かった設問は+1.5～+31.7の範囲で通過率が改善しており、学習内容の定着が図られている。

### (3) 課題

- ①(2のように、実験結果を要因と関係付けて性質を見だし自分の考えを表現する設問は、通過率が低く、指導を一層充実させる必要がある。
- ②(4のように、学習内容を実生活と結び付けて自分の考えを表現する設問の通過率が低く、理科の有用性を実感させるような授業の構築が必要である。
- ③方位磁針など観察・実験に用いる器具の基本操作については、当該学年で学習するものだけでなく機会を捉えて繰り返し指導し、定着を図ることが必要である。

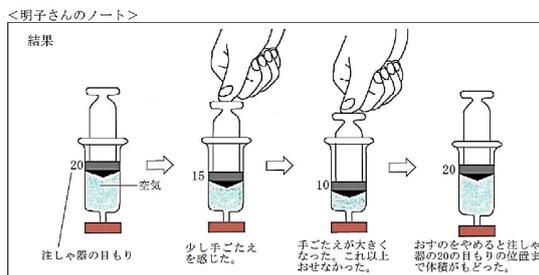
## 3 今後の指導

予想から考察までの学習過程で、意図的に変える条件と伴って変わる結果を意識できるような指導の手立てを工夫する。

- ・「空気の体積を～～すれば、手応えが……だろう」というように、意図的に変える条件と、それに伴って変わる結果に触れて予想を表現する活動を積み重ねる。
- ・実験の際は、児童一人一人の条件制御ができていのかどうかを把握し、できていない児童には再実験を行わせ、「実証性」や「再現性」の大切さを体感させる。
- ・考察では全員の結果を見比べ、自分の予想と全員の結果を対比させながら、結果を変化させた要因に触れて結論を表現する活動を繰り返す。

### [参考 小学校第5学年 通し番号(2)]

明子さんは、注し器にとじこめた空気をおしたときの体積と手ごたえを調べて、結果をノートに記録しました。このノートの記録から、空気のせいしつについてどのようなことがいえませんか。おしたときの体積と空気のおし返す力を関係づけて □の中に書きなさい。



授業の中で身の回りの物を教材として活用し、理科の有用性を伝える手立てを工夫する。

- ・「鉄道のレールにすきまがある理由」「冬に水道管が破裂しやすい理由」など、身の回りで理科の学習内容が活用されている例を見つけ、写真を見せたり実験させたりして児童に疑問を抱かせるための手立てを工夫する。
- ・水の体積と温度について学習した後、温度計を自作させ、その温度計で観測した気温の記録を「天気の変化」の学習で活用するなど、学習内容をものづくりや他の単元の学習と関連させる工夫をする。

平成25年度小学校学習状況調査 第6学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 5 学 年	A	(1)イ	・物が溶ける量を、水の温度や水の量と関係付けて考察している。	(1)	○		
		(1)イ	・器具を適切に操作し、ろ過の正しい方法を身に付けている。	(2)		○	
		(3)イ	・電磁石の強さの変化とその要因について、予想したことを基に条件に着目して実験を計画し、表現している。	(3)	○		
		(3)ア	・電磁石の特徴を日常生活の中で用いられているものに当てはめて考察し、考えを表現している。	(4)	○		
		(2)ア	・振り子の運動の変化とその要因について、予想したことを基に条件に着目して実験を計画し、表現している。	(5)	○		
		(2)ア	・実験で得られたデータを基に、振り子の1往復する時間の求め方を身に付けている。	(6)		○	
		(2)ア	・振り子の運動の周期を決める要因を理解している。	(7)			○
	B	(3)ア	・土地の傾きと流れる水の速さを関連付けて考察し、流れる水の働きについて表現している。	(8)	○		
		(2)ウ	・胎児が母体内で成長していく過程を理解している。	(9)			○
		(2)ウ	・胎児が母体内で成長するときのたいばんとへそのおの働きについて理解している。	(10)			○
第 6 学 年	A	(1)ア	・モデル図の気体の粒の個数や様子の変化と、物が燃えるとき酸素が使われ二酸化炭素ができることを関係付けて理解している。	(11)			○
		(1)ア	・物の燃焼と空気の変化を関係付けながら、物の燃焼の仕組みについて推論し、考えたことを表現している。	(12)	○		
	B	(2)イ	・観察した結果を植物体の水の通り道と関連付けて考察し、自分の考えを表現している。	(13)	○		
		(1)ア	・気体検知管の正しい使い方を身に付けている。	(14)		○	
		(1)ア	・人は呼吸によって酸素を取り入れていることを理解している。	(15)			○
		(1)ウ	・心臓の働きによって血液を体全体に運んでいることを理解している。	(16)			○
		(2)ア	・でんぷんがあることはヨウ素液の色で判断できることを理解している。	(17)			○
		(2)ア	・日なたにある植物の成長をでんぷんをつくる働きと関係付けながら、植物のからだのつくりについて考えたことを表現している。	(18)	○		
		(5)ア	・月の見える場所や見え方は、日によって違うことを考察し、表現している。	(19)	○		
		(5)ア	・方位磁針を適切に使って、月の方位を調べている。	(20)		○	

※領域のAは「物質・エネルギー」、Bは「生命・地球」を示している。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

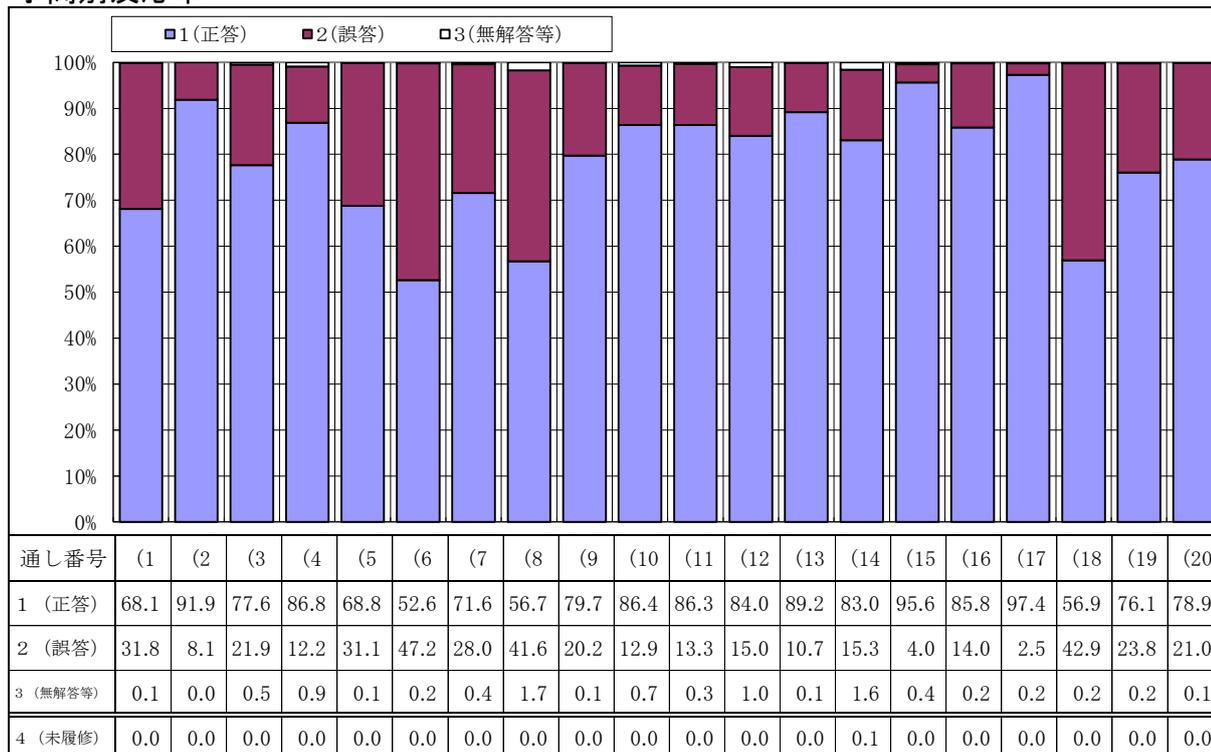
平均通過率 78.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	物の溶け方の規則性	68.1%	60.0%	
(2)	ろ過の操作方法	91.9%	85.0%	
(3)	電磁石の働きを調べるための条件設定	77.6%	70.0%	
(4)	身の回りにおける電磁石の特徴を利用した物	86.8%	70.0%	
(5)	振り子の規則性を調べる実験の計画	68.8%	75.0%	
(6)	振り子の1往復する時間の求め方	52.6%	60.0%	
(7)	振り子の規則性	71.6%	75.0%	
(8)	土地の傾きと流れる水の速さの関係	56.7%	65.0%	
(9)	人の発生の仕方	79.7%	70.0%	
(10)	母体内での人の養分の取り方	86.4%	85.0%	
(11)	物の燃焼と空気の変化	86.3%	75.0%	
(12)	物の燃焼の仕組み	84.0%	75.0%	
(13)	植物の体内の水の行方	89.2%	80.0%	
(14)	気体検知管の使い方	83.0%	70.0%	
(15)	呼吸によって取り入れる気体	95.6%	85.0%	
(16)	心臓の働きによる血液の循環	85.8%	85.0%	
(17)	でんぷんに対するヨウ素液の反応	97.4%	85.0%	
(18)	植物の成長と日光	56.9%	65.0%	
(19)	月の形の変化	76.1%	65.0%	
(20)	方位磁針の使い方	78.9%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 小学校 6年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (227校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	9	69	31	62	17		17	9	21	61	42	42	50	42	87	44	148	6	16	22	
90~100%	9	99	53	63	22	7	18	7	30	75	76	56	88	56	127	63	67	6	17	43	23
80~90%	44	47	59	63	46	11	56	16	71	53	62	70	64	64	11	82	10	19	67	69	98
70~80%	55	8	29	19	44	24	60	37	66	22	36	37	20	44	1	27	2	28	63	40	93
60~70%	67	3	20	14	47	39	48	41	26	9	8	14	5	14	1	10		42	47	24	11
50~60%	32	1	14	5	34	53	15	56	8	5	3	5		5		1		47	14	20	2
40~50%	8		12	1	12	50	7	30	3	2		1		1				40	3	7	
30~40%	2		5		3	32	4	25	2			2		1				30			
20~30%	1		2		1	11	1	5										8		1	
10~20%			2		1			1												1	
0~10%							1											1			

# 小学校6年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別		計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	2	1	3	2	4	6
±10% の範囲内	7	3	4	7	7	14
-10% より低い	0	0	0	0	0	0
計	9	4	7	9	11	20

## 2 考察

### (1) 全体について

20問全てが設定通過率の「±10%の範囲内」または「+10%より高い」状況であり、学習状況はおおむね良好である。

### (2) 成果

昨年度通過率の低かった問題について改善が見られる。特に(11については、昨年度の通過率を約27ポイント上回っており、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

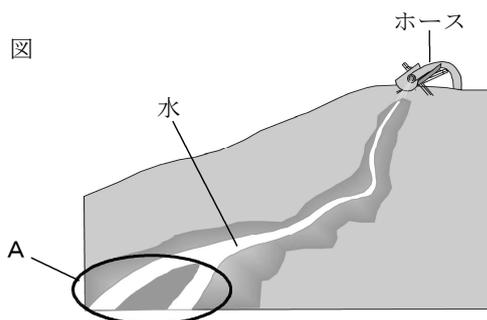
- ① (8、(18は、観察・実験の結果からの考察についての設問であり、他に比べて設定通過率が低い。特に(8については、指導の手立てを見直し、一層の定着を図る必要がある。
- ② (6のように、観察・実験で得られる数値データの信頼性を高めるために、誤差の概念を踏まえながら適切に処理する設問の通過率が比較的低い。明確な目的意識のもとで観察・実験を行うことを習慣化させる必要がある。

## 3 今後の指導

観察・実験の結果を基に考察し、科学的な言葉や概念を用いて説明する学習活動において、指導の手立てを工夫する。

### [参考 通し番号(8)]

図のように、土の坂をつくり、坂の上からホースで水を流したところ、坂のかたむきが小さいAの部分に土がたまりました。これは、流れる水のどんなはたらきが大きくなったからですか。Aの部分の水の流れの速さと関係づけて、の中に書きなさい。



- ・「土地の傾きによって、流れる水の働きはどう変わるのだろうか」などの問い掛けをして、児童に視点を明確にして話し合わせ、結果を予想させながら見通しをもった観察・実験ができるようにする。
- ・結果を図や表などを用いて適切に整理させ、土地の傾きと流れる水の速さに関係付けたりするなどして、土地の変化の要因に着目した考察をさせる。
- ・考察の時間を十分に確保し、結果を根拠にして考察させるとともに、科学的な言葉や概念を使って児童一人一人に表現させる活動を計画的に取り入れる。

平成25年度中学校学習状況調査 第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域	内容	評価規準	通し番号	観 点		
					思考表現	技能	知識理解
小学校 第6学年	B 生命・地球	(4)イ	・火山の噴火によってつくられた地層には、火山灰や穴をもつ石が含まれていることを理解している。	(1)			○
		(4)ア	・地層は各地点を連ねるように広がりをもって分布していることから、地層の様子を推測することができる。	(2)	○		
	A 物質・エネルギー	(4)ア	・手回し発電機を使って電気をつくり出すときのハンドルを回す回数と電気の量の関係について考察し表現している。	(3)	○		
		(4)ア	・実験結果から、発光ダイオードの方が豆電球より明かりをつけるために使う電力の量が少ないことを説明している。	(4)	○		
		(3)イ	・てこを傾ける働きが、支点から力点や作用点までの距離によって変わることを理解している。	(5)			○
		(3)ウ	・てこの規則性を身の回りの道具と関連付けて考察している。	(6)	○		
		(1)ア	・モデル図の気体の粒の個数の変化と、物が燃えるとき酸素が使われ二酸化炭素ができることを関係付けて理解している。	(7)			○
		(2)ア	・リトマス紙を用いて水溶液の性質を調べる技能を身に付けている。	(8)		○	
		(2)ウ	・鉄を塩酸に溶かした液から出てくる固体の物質ともとの鉄とを比較する方法を考察している。	(9)	○		
		(2)ウ	・水溶液には、金属を別の物質に変化させるものがあることを理解している。	(10)			○
中学校 第1学年	化学的 領域	(2)ア(イ)	・気体の性質と発生方法について理解している。	(11)			○
		(2)ア(イ)	・空気より軽い気体を適切に捕集する技能を身に付けている。	(12)		○	
		(2)ウ(イ)	・融点と沸点から、ある温度の物質の状態を推定している。	(13)	○		
		(2)ウ(イ)	・物質の沸点の違いを利用して物質を取り出す方法が、蒸留であることを理解している。	(14)			○
		(2)イ(ア)	・水溶液の濃さを質量パーセント濃度で表す方法を理解している。	(15)			○
	生物的 領域	(1)ア(ア)	・顕微鏡を適切に操作して、観察する技能を身に付けている。	(16)		○	
		(1)イ(イ)	・植物の葉の表面の様子や蒸散について理解している。	(17)			○
		(1)イ(イ)	・植物の葉の緑色を脱色して、日光とデンプンのでき方との関係を調べる技能を身に付けている。	(18)		○	
		(1)イ(イ)	・実験結果から、光合成に必要な条件について考察している。	(19)	○		
		(1)ウ(ア)	・植物の特徴を基にして分類の観点を考察し、観察の計画を立てている。	(20)	○		

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

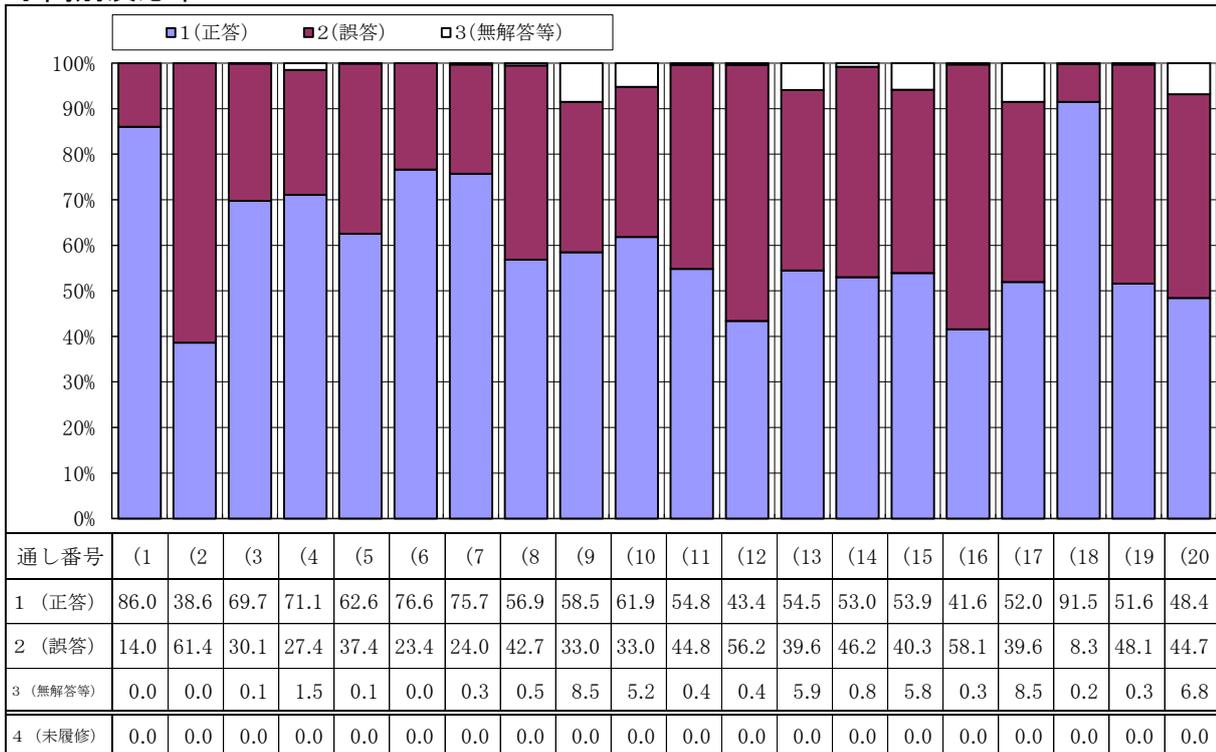
平均通過率 60.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地層の成因	86.0%	90.0%	
(2)	地層の広がり	38.6%	60.0%	
(3)	手回し発電機による発電	69.7%	75.0%	
(4)	発光ダイオードの利点	71.1%	80.0%	
(5)	てこの原理	62.6%	70.0%	
(6)	てこを使った道具	76.6%	75.0%	
(7)	物の燃焼と空気の変化	75.7%	75.0%	
(8)	うすい塩酸の性質	56.9%	85.0%	
(9)	物質を見分ける方法	58.5%	65.0%	
(10)	塩酸の働き	61.9%	70.0%	
(11)	気体の性質と発生方法	54.8%	60.0%	
(12)	空気より軽い気体の捕集方法	43.4%	65.0%	
(13)	物質の状態と温度	54.5%	60.0%	
(14)	蒸留についての理解	53.0%	65.0%	
(15)	質量パーセント濃度の理解	53.9%	60.0%	
(16)	顕微鏡の使い方	41.6%	70.0%	
(17)	蒸散についての理解	52.0%	60.0%	
(18)	葉の緑色の脱色方法	91.5%	90.0%	
(19)	光合成の条件	51.6%	60.0%	
(20)	被子植物の分類	48.4%	65.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	7					1	3		1	1			1	2			1	9			
90~100%	38		1	12	2	8	4		3	6	1			1	1			76	1		
80~90%	51		11	26	4	39	34	3	12	17	3		8	5	6	1	3	33	2	5	1
70~80%	22	1	43	29	21	50	49	12	16	21	12	7	22	11	10	3	10	2	12	7	12
60~70%	3	1	47	29	49	18	30	32	27	25	25	12	24	18	38	9	25	1	13	17	50
50~60%		10	18	19	32	4	1	49	24	27	29	20	27	37	26	24	30		44	29	49
40~50%		35	1	4	11	1		22	18	10	33	31	20	23	14	21	26		32	27	9
30~40%		52			2			1	17	10	12	29	11	16	13	37	20		15	24	
20~30%		15		2				1	3	4	2	16	6	6	9	20	2		2	11	
10~20%		4						1			3	4	2	1	3	5	4			1	
0~10%		3									1	2		1	1	1					

# 中学校 1 年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別				計
	科学的思考・観	技 能	知識・理解	頻・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	1	7	4	1	6	3	14
-10% より低い	2	3	1	0	1	3	2	6
計	8	4	8	4	2	9	5	20

## 2 考察

### (1) 全体について

平均通過率は昨年度より約6ポイント高くなっているものの、設定通過率を約10ポイント下回っている。大きく下回っている学習内容に係る問題を中心に指導の改善を図る必要がある。

### (2) 成果

昨年度の課題として出題した問題は、9問中7問が昨年度の通過率を上回っている。それらの問題の通過率の平均も昨年度の50.6から57.9となり、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ① 観察・実験の結果から分かることを、科学的な言葉や概念を用いて考えたり、説明したりする活動を日常的に設定するなど、指導の手立てを一層工夫する必要がある。
- ② 観察・実験の技能が十分に定着していない。正しい実験操作の手順やその意味について理解させるとともに、一人一人が体験できるような学習活動を充実させる必要がある。

## 3 今後の指導

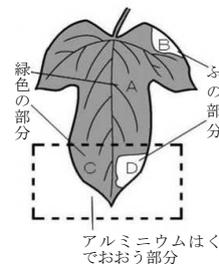
観察・実験の結果から分かることを、科学的な言葉や概念を用いて考えたり、説明したりするような言語活動を充実させる。

- ・ 観察・実験の結果をグループや学級全体で共有させるとともに、一人一人が考察したことを交流させ、事象に対する様々な視点での気づきを大切にする学習を展開する。
- ・ (19) の設問において、得られた情報を整理し、アサガオの葉のA～Dのそれぞれの部分における条件や環境の共通点や相違点に注目して考えさせる。それらの条件や環境と実験結果を関連付けて考察し、光合成の条件や要因について根拠をもたせて話し合わせることが大切である。

目的意識をもたせた観察・実験を行わせるとともに、機器等の操作を確実に習得することができるよう指導の手立てを工夫する。

### 【参考 通し番号(19)】

図のようなアサガオの葉に日光を当て、光合成のはたらきを調べました。ヨウ素液にひたしてA～Dの部分の色の変化を見たところ、Aの部分だけが青紫色に変化し、B、C、Dの部分は変化しませんでした。この実験から、光合成によってデンプンができたことがわかりました。このこと以外に、この実験から分かることは何ですか。次のア～エからすべて選んで記号を書きなさい。



- ア 光合成には光が必要である。
- イ 光合成には水が必要である。
- ウ 光合成には適度な温度が必要である。
- エ 光合成には葉緑体が必要である。

- ・ 課題に対する自分なりの予想を明確にもたせて観察・実験を進めるようにする。また、実験操作の意味や必要性を理解させて、機器等の操作が単なる作業にならないような学習を展開する。
- ・ いろいろな水溶液の液性について理解させ、水溶液の液性によってリトマス紙の色がどのように変化するかを実感を伴って捉えさせる活動を充実させる。
- ・ 気体を発生させて捕集する際、気体の性質と捕集方法の特徴を関連付けて考えさせ、それぞれに適した方法があることを理解させる。
- ・ 顕微鏡操作の正しい技能を習得するために、様々な種類のプレパラートを繰り返し観察させたり、一人一人に個別に操作させたりする活動を充実させる。

平成25年度中学校学習状況調査 第2学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 1 学 年	化学 的 領 域	(2)ウ (イ)	・物質の沸点の違いを利用して物質を取り出す方法が、蒸留であることを理解している。	(1)			○
		物 理 的 領 域	(1)ア (イ)	・凸レンズによる実像の位置や大きさについて理解している。	(2)		
	(1)ア (イ)		・凸レンズによる実像の向きを推定している。	(3)	○		
	(1)イ (ア)		・ばねに加わる重力を力の矢印で表す技能を身に付けている。	(4)		○	
	(1)イ (ア)		・ばねに加える力の大きさとばねののびの関係を見だし、力の大きさからばねののびを推定している。	(5)	○		
	地 学 的 領 域		(2)ア (ア)	・火山岩と深成岩の特徴や成因について理解している。	(6)		
		(2)ア (ア)	・火山噴出物の観察における基本操作を身に付けている。	(7)		○	
		(2)ア (イ)	・初期微動継続時間について理解し、地震計の記録を示したグラフから読み取っている。	(8)			○
		(2)ア (イ)	・地震計の記録を示したグラフから、地震が発生した時刻を推定している。	(9)	○		
		(2)ア (イ)	・地震の原因について、プレートの動きを図や言葉で説明している。	(10)	○		
第 2 学 年	化 学 的 領 域	(4)ウ (イ)	・金属の粉末を酸化する実験における基本操作を身に付けている。	(11)		○	
		(4)ウ (イ)	・物質の酸化による質量変化を示した表を基に、実験結果を適切にグラフに表している。	(12)		○	
		(4)ウ (イ)	・原子の質量について、化学変化において結び付く原子の割合を基に推定している。	(13)	○		
		(4)イ (イ)	・酸化銅を炭素で還元する実験における基本操作を身に付けている。	(14)		○	
		(4)イ (イ)	・酸化銅に炭素を混ぜて熱したときの変化を理解し、化学反応式で表している。	(15)			○
生 物 的 領 域	(3)イ (ア)	・ヨウ素－デンプン反応やベネジクト液による糖の検出方法を理解し、実験結果の記録の仕方を身に付けている。	(16)		○		
	(3)イ (ア)	・だ液の働きを確かめるための対照実験の方法について考えている。	(17)	○			
	(3)イ (ア)	・小腸から吸収された養分のゆくえについて理解している。	(18)			○	
	(3)イ (ア)	・メダカの呼吸と水草の光合成について理解している。	(19)			○	
	(3)ウ (ア)	・両生類の親と子の生活場所について、呼吸の仕方と関連付けて表現している。	(20)	○			

中学校 2年 理科 小問別通過率と設定通過率

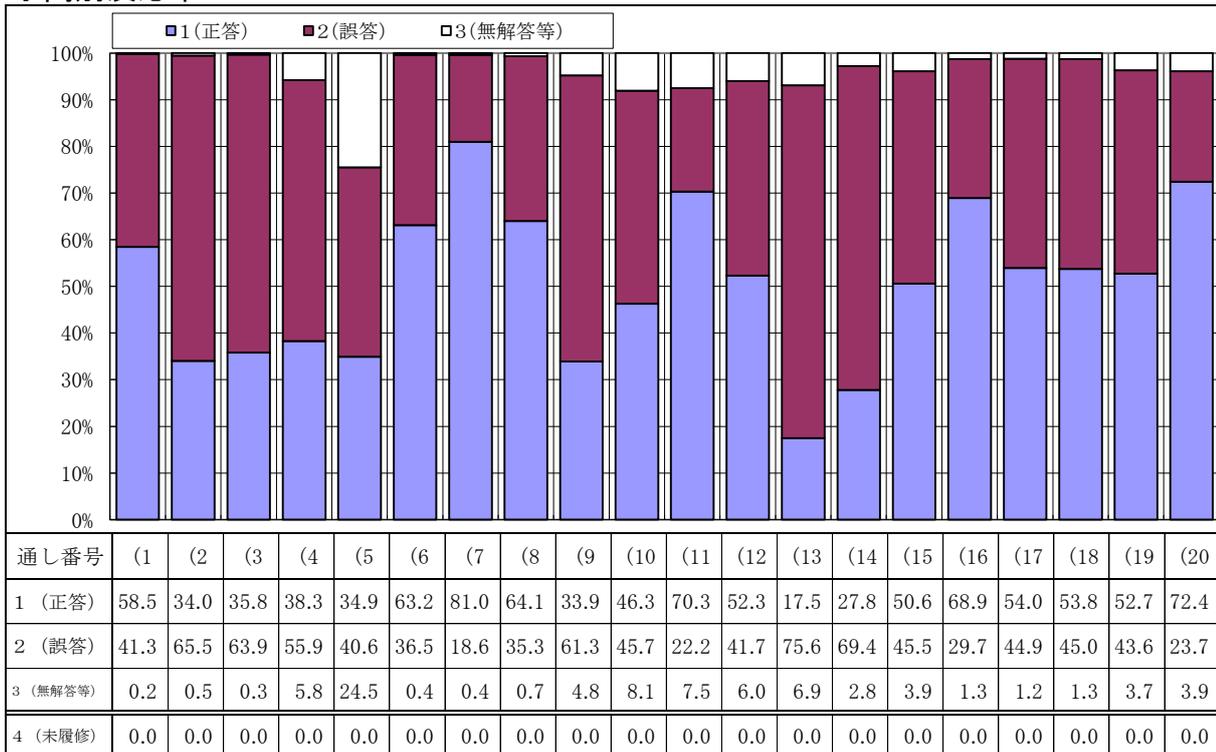
平均通過率 50.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0%	100%
(1)	蒸留についての理解	58.5%	65.0%		
(2)	凸レンズによる実像の位置と大きさ	34.0%	75.0%		
(3)	凸レンズによる実像の向き	35.8%	65.0%		
(4)	力の矢印の作図	38.3%	75.0%		
(5)	ばねののびと力の大きさ	34.9%	60.0%		
(6)	火成岩のつくりとでき方	63.2%	70.0%		
(7)	火山灰の観察の仕方	81.0%	90.0%		
(8)	初期微動継続時間の理解	64.1%	80.0%		
(9)	地震が発生した時刻の推定	33.9%	75.0%		
(10)	地震の原因とプレートの動きの関係	46.3%	60.0%		
(11)	金属の酸化における実験操作	70.3%	80.0%		
(12)	金属及び化合した酸素のグラフの作成	52.3%	60.0%		
(13)	化学変化と原子の質量	17.5%	60.0%		
(14)	還元における実験操作	27.8%	70.0%		
(15)	化学反応式の理解	50.6%	60.0%		
(16)	ベネジクト液の反応	68.9%	75.0%		
(17)	だ液の働きと対照実験	54.0%	60.0%		
(18)	養分の行方	53.8%	70.0%		
(19)	魚類の呼吸と水草の光合成	52.7%	75.0%		
(20)	両生類の呼吸と生息場所	72.4%	75.0%		

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 理科

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (123校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%						1	8	1		1	4					2				3	
90~100%	2			1		2	32	1		1	16	1				4	1	1		18	
80~90%	11			3		12	45	5		2	23	6		4	9	25	5	5	2	34	
70~80%	14			4		25	19	23		5	27	11		5	5	32	10	13	5	23	3
60~70%	36	4	2	8	5	31	11	56	4	13	27	22		5	23	31	26	20	30	24	12
50~60%	32	11	8	13	10	32	7	24	12	32	12	30	3	3	26	15	28	38	33	12	51
40~50%	19	20	25	21	16	14	1	11	19	31	5	31		14	26	8	32	28	34	8	48
30~40%	6	45	60	26	54	4		2	45	28	4	12	13	19	22	1	17	13	15		7
20~30%	3	36	26	31	28	1			34	8	3	6	26	14	10	2	4	3	3		2
10~20%		6	2	10	7				8	2	1	1	61	27	1	1		1			
0~10%		1		6	3	1			1		1	3	20	32	1	2		1	1	1	

# 中学校2年 理科 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	科学的思考・観	技 能	知識・理解	物理	化学	化学	地学	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	2	4	3	0	3	4	2	9
-10% より低い	5	2	4	4	3	1	3	11
計	7	6	7	4	6	5	5	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ① 平均通過率が設定通過率より約20ポイント低く、「-10%より低い」問題が6割を占めていることから、指導の一層の改善を図る必要がある。
- ② 「科学的な思考・表現」の観点の問題では、「-10%より低い」ものが7問中5問あり、習得した知識・技能を活用して思考させる指導の手立ての工夫が必要である。

### (2) 成果

昨年度の課題として出題した問題は、8問中6問が昨年の通過率を上回り、通過率の平均も昨年度の55.0から62.8となり、指導の改善が見られる。

### (3) 課題

- ① 目的意識をもって主体的に観察・実験に取り組み、考察すべきことを焦点化できるように、観察・実験前の言語活動を充実させる必要がある。
- ② 観察・実験の結果を、既習事項や生活体験と照らし合わせて考察する設問の通過率が低い。多様な考えを交流させる場面を日常的に設定するなど、指導の手立てを一層工夫する必要がある。

## 3 今後の指導

一人一人の生徒が観察・実験に関わり、主体的に考察できるようにするとともに、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図るための指導の手立てを工夫する。

- ・ 導入場面において、自然事象や日常生活との関連を図り、学習する内容について問題意識を引き出す活動を充実させる。
- ・ (2)の設問において、実像までの距離や大きさを選択させる際には、実験結果を表などに整理して生徒自らが規則性に気付くようにするとともに、凸レンズを通る光の道筋を作図する活動と関連させて実感を伴った理解を促し、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ることが大切である。

### [参考 通し番号(2)]

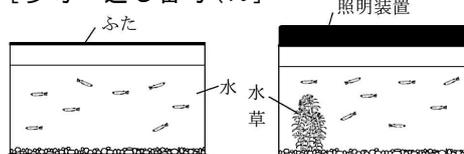


- Aの位置に光源があるとき、Bの位置にスクリーンを置くとはっきりした像がうつりました。凸レンズを動かさずに光源をA'の位置に動かしたとき、スクリーンにはっきりした像がうつるようにするには、スクリーンをa、bのどちらに動かせばよいですか。また、そのときスクリーンにうつる像の大きさは、Aの位置に光源があるときと比べてどうなりますか。

観察・実験の結果から分かることを、既習事項や生活体験と関連させて説明し合ったり、互いの考えを検討し合ったりするなどの言語活動を充実させる。

- ・ 観察・実験の結果を一人一人が考察したことを交流させ、事象について様々な視点での気づきを大切にする学習を展開する。
- ・ (19)の設問において、水草の役割を考察させる際には、メダカなどの飼育を実際に体験したり、動物と植物の働きを関連させて考えたりすることで水槽を小さな生態系として捉えさせるなど、科学的な見方や考え方を育成することが大切である。

### [参考 通し番号(19)]



- 夏美さんが、メダカを入れた水槽に水草を入れ、照明装置で光を当てたのは何のためですか。

## 4 結果と考察 (5) 英語

平成25年度中学校学習状況調査 第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解
第 1 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な聞き取り] ・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な聞き取り] ・まとまりのある英語を聞いて大切な部分を聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア (イ)	[正確な聞き取り] ・会話を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な聞き取り] ・質問を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8 (9 (10		○	
		ウ (エ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容を読んで、適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ (エ)	[言語についての知識・理解] ・場面や状況にふさわしい表現に関する知識を身に付けている。	(12 (13			○
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記] ・文法事項などの知識を活用して正しく書くことができる。	(14 (15 (16	○		
		エ (ウ)	[適切な筆記] ・読み取った内容に対して、質問を考えて書くことができる。	(17	○		
エ (イ)		[言語についての知識・理解] ・正しい語順や語法を用いて文を構成する知識を身に付けている。	(18 (19 (20			○	

中学校 1年 英語 小問別通過率と設定通過率

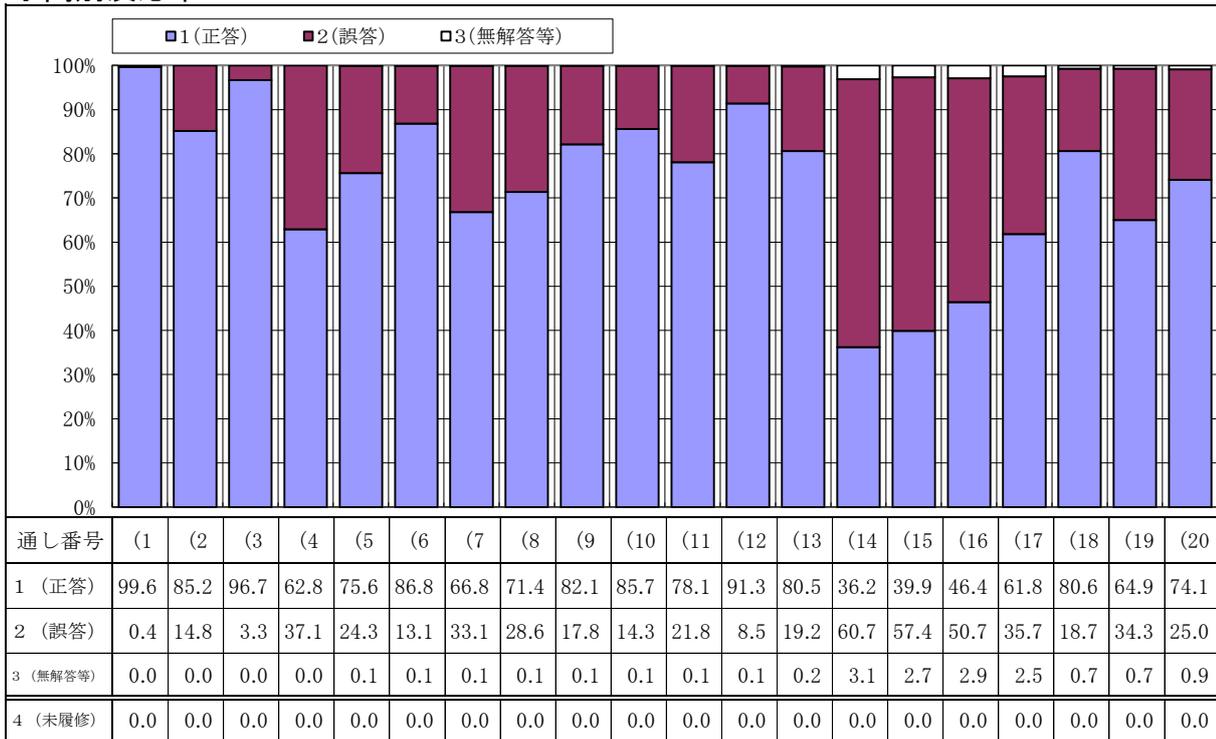
平均通過率 73.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% <span style="float: right;">100%</span>
(1)	(聞) 飼っているペットについての聞き取り	99.6%	90.0%	
(2)	(聞) 持っているマンガ本の数の聞き取り	85.2%	70.0%	
(3)	(聞) 勉強する曜日についての聞き取り	96.7%	75.0%	
(4)	(聞) 通学方法についての聞き取り	62.8%	80.0%	
(5)	(聞) 朝食メニューについての聞き取り	75.6%	70.0%	
(6)	(聞) 天候に関する質問への適切な応答	86.8%	75.0%	
(7)	(聞) 飲物に関する質問への適切な応答	66.8%	75.0%	
(8)	(読) カレンダーに関する会話文の読み取り	71.4%	70.0%	
(9)	(読) 宿泊施設のパンプレットの読み取り	82.1%	70.0%	
(10)	(読) Eメール文の読み取り	85.7%	75.0%	
(11)	(読) 買い物の仕方についての英文の読み取り	78.1%	70.0%	
(12)	(読) 適切な会話の構成	91.3%	70.0%	
(13)	(読) 適切な会話の構成	80.5%	70.0%	
(14)	(書) 主語と動詞 (三単現のs) の文	36.2%	60.0%	
(15)	(書) 主語と動詞 (be動詞) の文	39.9%	60.0%	
(16)	(書) 三人称の否定文	46.4%	60.0%	
(17)	(書) 手紙の内容に関する質問を含む返事	61.8%	60.0%	
(18)	(書) 一般動詞を含む文の文構造	80.6%	70.0%	
(19)	(書) 疑問詞を含む疑問文の文構造	64.9%	60.0%	
(20)	(書) be動詞を含む文の文構造	74.1%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 1年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (121校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	95	7	38	1	3	13		2	2	2	2	12	3					3	2	8	
90~100%	26	36	80	2	15	44		3	10	23	7	58	15				3	17	5	21	2
80~90%		59	3	5	37	41	9	17	64	78	35	47	45		3	2	8	52	25	34	14
70~80%		15		25	28	17	35	41	35	18	59	3	41	2	10	5	25	24	26	22	66
60~70%		4		39	25	4	44	42	9		16	1	11	4	7	8	33	12	26	12	38
50~60%				32	8	1	26	13	1		1		6	17	11	31	28	9	17	11	1
40~50%				13	3	1	5	2						17	26	36	18	4	9	5	
30~40%				4	1		2	1			1			41	24	24	4		6	2	
20~30%					1									24	14	12	1		3	5	
10~20%														13	18	3	1		1	1	
0~10%														3	8				1		

# 中学校 1 年 英語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10%より高い	0	5	3	3	4	1	8
±10%の範囲内	1	5	2	3	2	3	8
-10%より低い	3	1	0	1	0	3	4
計	4	11	5	7	6	7	20

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「知識・理解」の学習状況は良好である。
- ②「理解の能力」の学習状況はおおむね良好である。
- ③「表現の能力」の学習状況は、「正確な筆記」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①「読むこと」の学習状況は良好である。特に、パンフレットやEメールなど、短い文章から大切な部分を読み取る力が身に付いている。
- ②「聞くこと」の学習状況はおおむね良好である。特に、短い対話やスピーチから、曜日や数字、天気などの情報を正確に聞き取る力が身に付いている。

### (3) 課題

- ①「書くこと」において、文法に従って正確に書く力が十分身に付いていない。特に、疑問文に対する応答を、三人称単数現在形の文法に従って、主語と動詞を正しく書く問題の県平均通過率は36.2で設定通過率を大きく下回っている。昨年度の類似問題の通過率と比較しても改善が見られない。
- ②「書くこと」において、インタビューの結果を基に、まとまりのある英文を完成させる問題の県平均通過率は46.4で、設定通過率を10%以上下回っている。主語が三人称単数で時制が現在形の否定文の文法が十分定着していないだけでなく、得られた情報を発信に結び付ける力が不足している。

## 3 今後の指導

文法事項は言語活動と効果的に関連付けて定着を図る指導の工夫が必要である。

- ・三人称単数現在形の文法は、その意味や機能を理解させるために、友だちや家族、ALTなど、生徒にとって身近な人物を取り上げるなど場面設定に十分配慮する。
- ・主語が一人称や二人称のときと比較したり、疑問文・否定文と関連付けたりしながら、繰り返し指導して定着を図る。

習得した言語材料をコミュニケーションに活用させる指導の工夫が必要である。

- ・習得した文法事項は、対話文やまとまりのある英文の中に盛り込むなどして、実際にコミュニケーションが行われる形で活用を図る。
- ・「聞くこと」や「読むこと」を通して得た情報を「話すこと」や「書くこと」に結び付けた、4技能を統合的に活用する言語活動を充実させる。

※実際の指導例：(16)

自己紹介とその後のQ&Aを基に、ALTの紹介文を作成する活動において、得た情報を発信につなげられるよう、複数の技能を関連付けて指導する。

<p style="text-align: center;"><b>ALTの自己紹介</b></p> <p>新しいALTの自己紹介を聞く。</p> <div style="border: 2px solid blue; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>Hello, everyone. My name is Bill Smith. I'm from New York. I like baseball. I like Japanese food. Thank you.</p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>自己紹介についてのQ&amp;A</b></p> <p>もっと知りたいことを質問する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Q: Do you know Ichiro? A: Yes. He is popular. I like him very much. Q: Do you like basketball? A: Yes, I do. Q: What Japanese food do you like? A: I like <i>sukiyaki</i></p> </div>	<p style="text-align: center;"><b>ALTの紹介文作成</b></p> <p>自己紹介とその後のQ&amp;Aを基に、ALTの紹介文を書く。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <p>This is our New ALT Mr. Smith. He's from New York. He likes Japanese food. His favorite Japanese food is <i>sukiyaki</i>. He likes basketball and baseball. He loves Ichiro. Ichiro is popular in America.</p> </div>
--	--	---

平成25年度中学校学習状況調査 第2学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解	
第 2 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な 聞き取り]	・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることが できる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な 聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて大切な部分を 聞き取ることができる。	(2 (3 (4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な 聞き取り]	・質問を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ること ができる。	(8 (9		○	
		ウ (エ)	[適切な 読み取り]	・書かれた内容について大切な部分を読み取 り、適切に応じることができる。	(10 (11		○	
		ウ (ウ)	[正確な 読み取り]	・話の流れを理解し文章を的確に読み取るこ とができる。	(12 (13		○	
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記]	・文法事項などの知識を活用して正しく書く ことができる。	(14 (15	○		
		エ (オ)	[適切な筆記]	・自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく 伝わるように書くことができる。	(16 (17	○		
		エ (イ)	[言語について の知識・理解]	・正しい語順を用いて文を構成する知識を身 に付けている。	(18 (19 (20			○

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

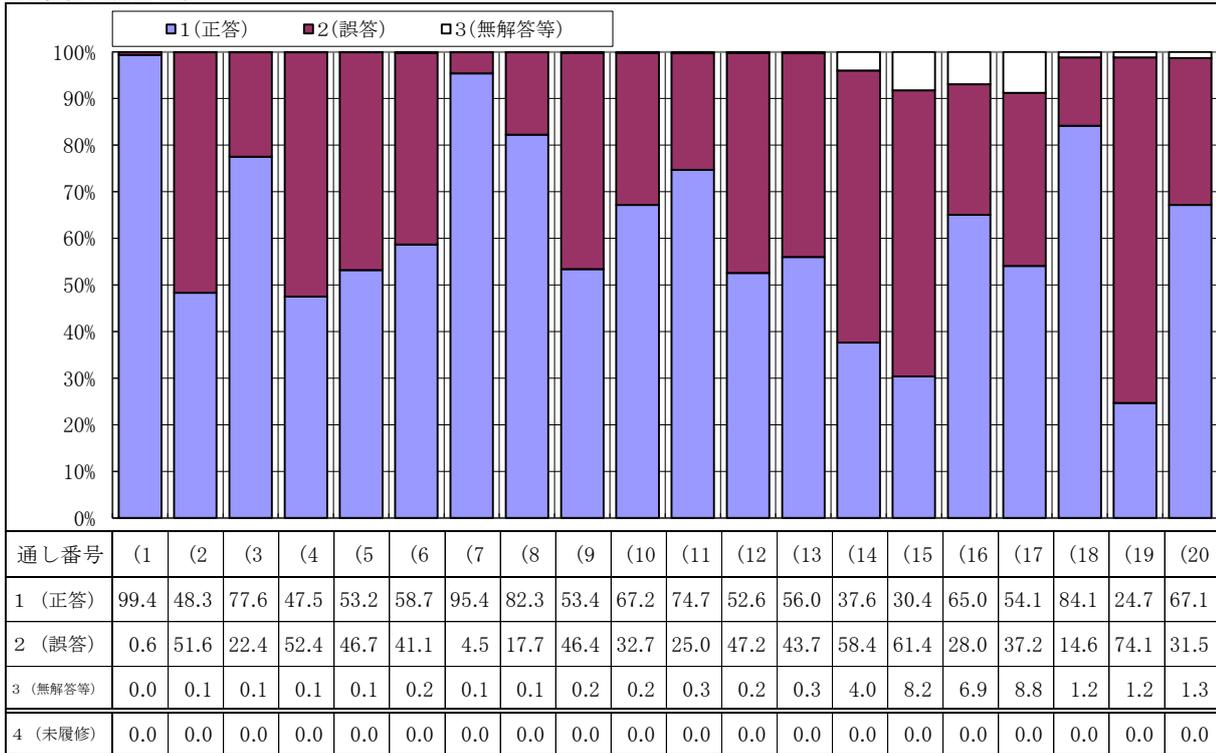
平均通過率 61.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 飼っているペットについての聞き取り	99.4%	90.0%	
(2)	(聞) 今晚の予定についての聞き取り	48.3%	65.0%	
(3)	(聞) 宿題をする時刻の聞き取り	77.6%	80.0%	
(4)	(聞) 英語の音楽を聞くことができなかった理由の聞き取り	47.5%	60.0%	
(5)	(聞) 週における野球の練習日数の聞き取り	53.2%	60.0%	
(6)	(聞) 先生の質問への適切な応答	58.7%	60.0%	
(7)	(聞) 意図をくみ取った適切な応答	95.4%	90.0%	
(8)	(読) 会話文と図表の読み取り	82.3%	80.0%	
(9)	(読) まとまりのある英文の読み取り	53.4%	60.0%	
(10)	(読) まとまりのある英文の読み取り	67.2%	75.0%	
(11)	(読) 会話文の読み取り	74.7%	75.0%	
(12)	(読) 適切な文章の構成	52.6%	60.0%	
(13)	(読) 適切な文章の構成	56.0%	60.0%	
(14)	(書) 主語と動詞 (三単現のs) の文	37.6%	70.0%	
(15)	(書) whyを用いた疑問文	30.4%	65.0%	
(16)	(書) 相手に断る理由を述べる表現	65.0%	70.0%	
(17)	(書) 英語15語以上のまとまりのある英作文	54.1%	60.0%	
(18)	(書) 過去進行形を用いた疑問文の構造	84.1%	85.0%	
(19)	(書) 不定詞の形容詞的用法の構造	24.7%	60.0%	
(20)	(書) that節 (省略) を用いた文の構造	67.1%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

# 中学校 2年 英語

## 小問別反応率



## 小問別通過率度数分布表 (123校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	89		1				24	5	1	1		1				1		7		4	
90~100%	34		2		1	2	87	10		1	9			1		6	4	37	1	5	
80~90%			40	1	4	11	11	68	2	6	26	2	2	1	1	16	6	42		11	2
70~80%		1	64	1	4	21	1	32	4	32	51	4	11	2	1	21	24	24	4	32	7
60~70%		8	14	13	24	25		8	23	52	30	22	30	4	2	32	21	11	5	29	60
50~60%		46	1	33	37	24			55	29	5	39	43	13	10	28	14	2	6	26	51
40~50%		52	1	43	35	26			28	2	1	39	28	25	14	11	24		8	13	3
30~40%		13		28	17	12			10		1	15	7	30	26	6	14		16	2	
20~30%		2		2	1	2						1	1	27	29	1	11		16	1	
10~20%		1		2									1	15	33	1	4		31		
0~10%														5	7		1		36		

# 中学校 2年 英語 調査結果の考察

## 1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10%より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	2	1 1	2	5	6	4	1 5
-10%より低い	2	2	1	2	0	3	5
計	4	1 3	3	7	6	7	2 0

## 2 考察

### (1) 全体について

- ①「表現の能力」の学習状況は、特に「書くこと」において課題が見られる。
- ②「理解の能力」の学習状況は、「適切な聞き取り」に課題が見られる
- ③「知識・理解」の学習状況は、「言語についての知識・理解」に課題が見られる。

### (2) 成果

- ①短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることや、相手の意図をくみ取って適切に応じることについての学習状況は良好である。
- ②経年比較しているほとんどの問題においては通過率の上昇が見られ、指導の改善が図られている。

### (3) 課題

- ①「書くこと」の中で、特に、文法事項などの知識を活用して正しく書くことや、正しい語順を用いて文を構成する知識が身に付いていない。
- ②「聞くこと」の中で、まとまりのある英語を聞いて大切な部分を聞き取る力が身に付いていない。特に、接続詞「but」が含まれている文を正確に聞き取ることに課題がある。

## 3 今後の指導

付けたい力の育成に向けて、言語活動を充実させ、言語材料の確実な定着を図る指導の工夫が必要である。

- ・英語を使って「どのようなことができるようになるか」を明確にし、単元や本時の目標の達成にふさわしい言語活動を適切に位置付ける。
- ・聞いたり読んだりして得た知識等について、自らの体験や考えなどと結び付けながら、話したり書いたりして発信するなど、4技能を総合的に育成する指導を充実させる。  
(例) ディスカッション、スピーチ、スキットなど
- ・文法事項について、言語の使用場面や言語の働きに配慮し、言語活動と効果的に関連付けるなど、活用させながら定着を図る。

まとまりのある英語を正確に聞き取ったり、文法事項などの知識を活用して正しく書いたりする力を付けるための指導の工夫が必要である。

- ・教科書本文の他に、スピーチやニュースなど、まとまりのある英語に触れる機会を設定し、内容や情報等について問答したり感想等を述べさせたりする。
- ・語順、文構造、文章構成などに留意させ、既習事項を活用して英文を書く機会を多く設定する。
- ・「不定詞」や「三単現のs」など定着に時間のかかる文法事項については、適切な用法を判断し正しい語順を用いて表現できる力を養うよう、関連のある文法事項をまとまりをもって整理し、繰り返し指導する。

### ※実際の指導例：(19)

言語を使用する具体的な場面や状況を設定し、思考、表現させる活動を通じて、言語材料の理解や定着を図る。

【スピーチ (私の夢)】

- ・ My dream is to become a writer. 
- ・ To read books is interesting for me.
- ・ I sometimes go to the City Library to enjoy reading.
- ・ My favorite writer is Soseki Natsume.
- ・ I want to be a writer like him.
- ・ To be a writer, I have a lot of things to learn.

【クイズ (What's this?)】

A: This is something to eat. 

It's a fruit and the color is red.

B: Is it a strawberry?

A: No. It's small and Yamagata is famous for it.

B: I see. Is it a cherry?

A: Yes. That's right.

\* 不定詞の3つの用法について、比較させながら、それらの特徴や違いの理解を図る。

\* use/ride/drinkなど、使用する動詞に幅をもたせ、言語活動の充実を図る。

5 平均通過率の度数分布グラフ

